

米に関するマンスリーレポート (令和2年12月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html

目次 (令和2年12月号)

I 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約の取組状況

農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和3年産)

契約1

(2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況(令和2年10月末現在)(速報)

契約2

Excel

2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

契約3

Excel

(累計、うるち米、令和2年10月末現在)(速報)

II 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階(全農、JA等の出荷業者)の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階(米卸等の販売業者の在庫量)を対象に調査し、その合計(出荷段階+販売段階)の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫1

Excel

(2) 産地別民間在庫の状況(前年同月差)

在庫4

Excel

(3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫5

Excel

III 米の価格情報

相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等間で、年間を通じて長期的な取引を行う「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等と年間玄米直接販売数量5,000トン以上の卸売業者を対象に、指標となる各産地の作付上位2～3銘柄を調査対象産地品種銘柄(令和2年産米:118産地品種銘柄)として、相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 年産別の相対取引価格

価格1

(2) 相対取引価格・数量(令和2年産米、産地品種銘柄別、令和2年10月分)(速報)

価格2

Excel

(3) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和元・2年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格4

Excel

2 スポット価格の状況(日本コメ市場株式会社)

価格6

日本コメ市場株式会社 HP <https://www.nihonkomeshiyo.co.jp/>

3 米の先物取引価格の推移

価格7

農林水産省(食料産業局)HP <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html>

4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年11月分)

価格8

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

IV 消費の動向

1 米の消費動向(米穀機構による調査)

消費1

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)

消費4

3 消費者物価指数の推移

消費6

4 小売物価統計の推移

消費7

総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

消費8

6 小売価格の推移(POSデータ)

消費9

V 輸出入の動向

- | | |
|--|-----|
| 1 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別) | 輸入1 |
| 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(令和2年度) | 輸入2 |
| 3 SBS輸入米の見積合わせ結果(令和2年度) | 輸入3 |
| 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果(令和2年度) | 輸入4 |
| 農林水産省(政策統括官)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | |
| 5 コメ・コメ加工品の輸出货量及び輸出金額について | 輸出1 |
| (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出2 |
| (2) 2019年の主な増加要因 | 輸出3 |
| (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出4 |
| (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出5 |
| (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6 |
| 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出7 |

VI 主食用米以外の情報

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 加工1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 加工1 |
| (3) 令和2年産 都道府県別の生産状況 | 加工2 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 加工3 |
| (2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 加工4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 加工5 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 酒造1 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 酒造1 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 酒造2 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 酒造2 |

VII 作柄概況

令和2年産水稲の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

作柄1

(参考)米取引関係者に対する事前契約の取組に関するアンケート調査結果・事例集

「米に関するマンスリーレポート」とは、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご利用願います。

I 米の契約・販売情報

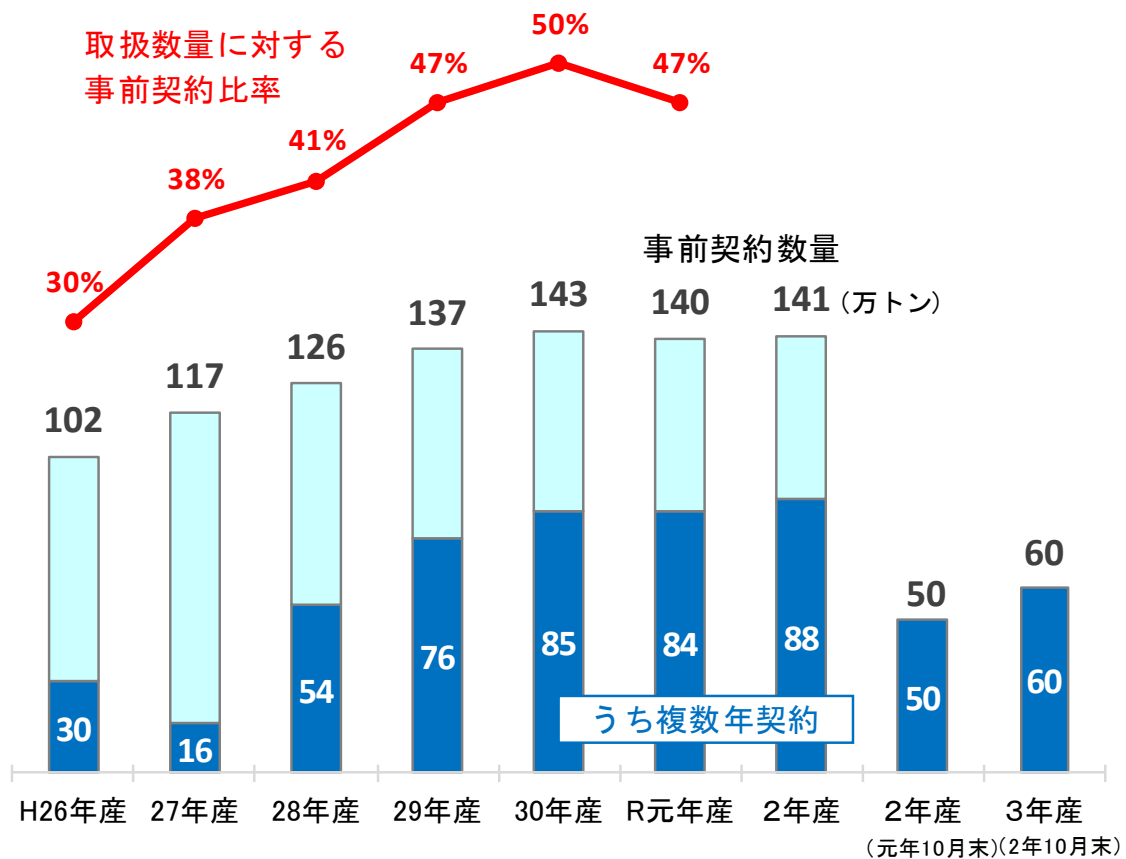
1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和3年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、年々増加。

【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：元年産以前は確定値、2・3年産は2年10月末時点の速報値。

注6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況（令和2年10月末現在）（速報）

- 令和2年産の10月末現在の事前契約数量は前年+1.1万トンの141.4万トンとなっている。

	元年産		2年産			(参考)	
	事前契約数量 ①	うち 複数年 契約	事前契約 数量 ②	うち 複数年 契約	前年差 ②-①	3年産 事前契約 数量	2年産 事前契約 数量 元年10月末現在
北海道	208.5	183.0	203.6	183.5	▲ 4.9	161.4	154.6
青森	56.7	19.5	66.8	28.8	+ 10.1	-	-
岩手	88.8	88.8	88.0	85.3	▲ 0.8	1.1	13.5
宮城	118.9	105.5	129.1	117.3	+ 10.2	125.6	81.5
秋田	189.5	100.8	206.9	138.2	+ 17.4	118.5	86.1
山形	81.7	31.6	49.3	33.0	▲ 32.4	-	13.9
福島	46.7	45.6	49.1	43.6	+ 2.4	21.6	2.7
茨城	16.3	1.0	29.6	-	+ 13.3	-	-
栃木	74.0	69.2	65.1	65.1	▲ 8.9	63.1	1.6
群馬	0.2	-	4.0	1.1	+ 3.8	-	-
埼玉	7.7	0.9	6.8	0.9	▲ 0.9	0.3	0.9
千葉	12.0	12.0	6.5	6.5	▲ 5.5	3.9	-
東京	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-
長野	35.1	32.5	33.4	31.3	▲ 1.7	23.7	25.6
静岡	1.7	-	1.6	-	▲ 0.1	-	-
新潟	167.2	104.7	154.3	103.5	▲ 12.9	80.8	102.6
富山	39.7	8.2	42.7	7.5	+ 3.0	-	-
石川	20.6	1.5	20.4	1.5	▲ 0.2	-	-
福井	9.1	9.1	8.1	8.1	▲ 1.0	-	-
岐阜	14.1	2.6	8.5	2.4	▲ 5.6	2.4	-
愛知	13.0	1.7	14.2	1.7	+ 1.2	1.7	1.7
三重	19.7	-	22.4	-	+ 2.7	-	-
滋賀	34.2	16.0	35.4	14.3	+ 1.2	-	9.9
京都	6.8	-	7.6	2.0	+ 0.8	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	13.0	-	13.0	-	± 0.0	-	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	4.1	-	3.5	-	▲ 0.6	-	-
島根	34.0	3.1	30.0	-	▲ 4.0	-	-
岡山	-	-	-	-	-	-	-
広島	14.0	-	26.6	-	+ 12.6	-	-
山口	22.4	0.6	18.6	0.6	▲ 3.8	-	0.6
徳島	2.2	-	2.2	-	± 0.0	-	-
香川	15.8	5.7	15.6	7.0	▲ 0.2	-	3.6
愛媛	3.6	-	4.3	-	+ 0.7	-	-
高知	2.1	-	1.8	-	▲ 0.3	-	-
福岡	26.1	0.8	33.3	0.2	+ 7.2	0.2	-
佐賀	-	-	-	-	-	-	-
長崎	-	-	7.2	-	+ 7.2	-	-
熊本	-	-	-	-	-	-	-
大分	3.3	-	3.9	-	+ 0.6	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,403	844	1,414	883	11	604	499

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6：農産物検査数量は、水稻うち玄米の検査数量である。

2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年10月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考: 前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	213.9	225.0	-	35.6	17%	115%	97%	87%
ななつぼし		107.2	111.3	-	15.4	14%	120%	99%	89%
ゆめぴりか		53.3	56.3	-	9.5	18%	113%	92%	90%
きらら397		24.6	26.0	-	1.1	4%	113%	103%	81%
青森	105	80.5	72.1	-	5.2	6%	108%	113%	88%
まっしぐら		54.5	52.5	-	1.9	3%	118%	142%	72%
つがるロマン		17.4	12.2	-	1.3	7%	85%	61%	90%
岩手	103	78.6	90.3	-	4.1	5%	91%	105%	86%
ひとめぼれ		57.6	66.1	-	2.8	5%	90%	104%	87%
あきたこまち		11.0	11.8	-	0.2	2%	94%	107%	106%
銀河のしずく		4.5	5.4	-	0.6	13%	123%	176%	89%
宮城	102	124.9	143.8	-	10.6	8%	110%	110%	137%
ひとめぼれ		91.6	115.1	-	6.5	7%	107%	106%	125%
つや姫		12.1	10.9	-	0.9	7%	125%	117%	123%
ササニシキ		6.5	7.4	-	0.8	12%	98%	123%	119%
秋田	105	214.7	210.6	-	13.8	6%	100%	107%	69%
あきたこまち		185.9	177.6	-	12.6	7%	100%	106%	68%
めんこいな		10.7	8.4	-	0.2	2%	100%	106%	84%
ひとめぼれ		5.8	17.1	-	0.5	9%	76%	112%	107%
山形	104	141.8	72.7	-	10.8	8%	102%	82%	91%
はえぬき		77.6	29.8	-	3.7	5%	100%	67%	95%
つや姫		27.5	19.7	-	3.7	13%	106%	94%	86%
ひとめぼれ		10.1	8.2	-	0.8	8%	92%	91%	70%
福島	102	111.4	61.5	-	5.8	5%	103%	116%	95%
コシヒカリ中通り		34.8	11.3	-	1.2	3%	106%	151%	110%
コシヒカリ会津		26.4	26.4	-	0.7	3%	95%	102%	38%
コシヒカリ浜通り		3.6	4.2	-	0.1	3%	116%	108%	120%
ひとめぼれ		22.0	9.0	-	1.0	5%	103%	101%	99%
天のつぶ		14.5	6.1	-	1.0	7%	114%	157%	146%
茨城	103	60.2	37.9	-	10.9	18%	109%	128%	112%
コシヒカリ		41.1	26.8	-	5.2	13%	102%	123%	111%
あきたこまち		11.5	9.7	-	4.9	43%	130%	146%	109%
あさひの夢		0.6	0.0	-	0.0	0%	65%
栃木	101	96.9	67.7	-	3.7	4%	103%	88%	74%
コシヒカリ		70.0	55.9	-	2.4	3%	100%	86%	70%
あさひの夢		6.6	3.0	-	0.4	6%	136%	81%	133%
とちぎの星		12.8	6.5	-	0.2	2%	123%	126%	57%
群馬	100	6.0	4.7	-	0.1	2%	175%	1611%	19%
あさひの夢		4.1	4.2	-	-	-	157%	1749%	...
ゆめまつり		1.0	0.0	-	0.0	0%	141%
埼玉	102	14.7	7.2	-	0.4	3%	168%	76%	36%
彩のかがやき		4.3	3.0	-	0.2	5%	222%	61%	51%
コシヒカリ		5.0	2.5	-	0.1	2%	173%	116%	24%
彩のきずな		4.4	1.7	-	0.1	2%	123%	78%	40%
千葉	99	58.5	24.0	-	15.8	27%	118%	58%	81%
コシヒカリ		25.3	12.6	-	6.6	26%	118%	57%	99%
ふさこがね		15.0	4.3	-	3.2	21%	121%	50%	75%
ふさおとめ		13.9	5.3	-	4.5	32%	108%	61%	65%
東京	98	-	-	-	-	-
神奈川	97	1.4	0.1	-	0.1	7%	104%	41%	41%
山梨	97	3.2	0.3	-	0.3	9%	83%	98%	98%
コシヒカリ		2.8	0.3	-	0.3	11%	86%	109%	109%
長野	99	44.4	35.8	-	3.5	8%	98%	105%	90%
コシヒカリ		35.2	28.8	-	2.5	7%	98%	108%	89%
あきたこまち		4.3	4.2	-	0.4	9%	88%	108%	96%
静岡	92	7.4	1.6	-	0.8	11%	97%	76%	66%
コシヒカリ		5.2	1.3	-	0.7	13%	96%	79%	77%
きぬむすめ		1.2	0.1	-	0.0	0%	100%	71%	19%
あいちのかおり		0.4	0.1	-	0.0	0%	97%	712%	29%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考: 前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	販売 比率 ③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	103	256.4	180.3	-	28.9	11%	99%	82%	82%
コシヒカリ一般		121.9	90.8	-	12.1	10%	99%	82%	76%
コシヒカリ魚沼		32.0	14.0	-	4.5	14%	105%	88%	90%
コシヒカリ佐渡		12.2	12.8	-	1.7	14%	101%	116%	75%
コシヒカリ岩船		11.7	9.0	-	1.3	11%	94%	95%	92%
こしいぶき		41.8	28.7	-	5.1	12%	98%	72%	92%
富山	103	84.0	56.1	-	7.9	9%	106%	142%	72%
コシヒカリ		60.8	42.3	-	5.6	9%	104%	145%	68%
てんたかく		8.1	5.2	-	1.2	15%	96%	112%	88%
石川	101	30.6	21.5	-	1.7	6%	124%	94%	97%
コシヒカリ		17.1	11.3	-	0.6	4%	126%	84%	78%
ゆめみづぼ		4.7	3.8	-	0.4	9%	109%	99%	130%
福井	99	52.1	19.2	-	3.0	6%	100%	87%	30%
コシヒカリ		22.0	6.2	-	1.1	5%	102%	102%	33%
ハナエチゼン		13.5	7.5	-	1.1	8%	81%	95%	21%
あきさかり		5.7	1.3	-	0.1	2%	126%	136%	65%
岐阜	96	7.8	12.0	-	1.9	24%	93%	72%	78%
ハツシモ		1.4	7.1	-	0.2	14%	104%	90%	72%
コシヒカリ		3.2	2.6	-	0.4	13%	94%	74%	66%
あきたこまち		0.2	0.1	-	-	-	77%	16%	...
愛知	96	18.3	27.3	-	3.2	17%	110%	103%	90%
あいちのかおり		5.9	16.1	-	0.5	8%	108%	101%	70%
コシヒカリ		9.2	8.2	-	1.7	18%	107%	104%	94%
大地の風		0.2	1.2	-	0.0	0%	195%	84%	47%
三重	96	22.0	23.2	-	3.4	15%	102%	107%	91%
コシヒカリ一般		11.6	14.0	-	1.9	16%	95%	108%	104%
コシヒカリ伊賀		5.6	4.8	-	0.9	16%	121%	110%	88%
キヌヒカリ		1.8	1.2	-	0.1	6%	106%	108%	150%
滋賀	98	33.1	39.3	-	6.7	20%	112%	100%	95%
コシヒカリ		11.4	15.4	-	3.0	26%	108%	98%	117%
キヌヒカリ		5.4	6.5	-	0.7	13%	110%	92%	100%
みずかがみ		7.2	7.3	-	2.0	28%	101%	100%	93%
京都	98	6.5	7.6	-	0.7	11%	110%	99%	66%
コシヒカリ		4.4	4.8	-	0.5	11%	112%	102%	75%
キヌヒカリ		1.2	1.7	-	0.1	8%	92%	94%	35%
ヒノヒカリ		0.3	1.1	-	-	-	127%	327%	...
大阪	94	-	-	-	-	-
兵庫	95	26.6	27.0	-	3.7	14%	69%	89%	87%
コシヒカリ		11.0	7.4	-	1.7	15%	114%	98%	90%
ヒノヒカリ		1.3	2.2	-	0.1	8%	36%	100%	147%
キヌヒカリ		3.7	1.7	-	0.3	8%	109%	100%	138%
奈良	94	4.4	0.2	-	0.2	5%	90%	40%	40%
ヒノヒカリ		3.0	0.1	-	0.1	3%	89%	26%	26%
和歌山	92	0.5	0.5	-	0.2	40%	57%	57%	108%
鳥取	100	14.9	6.0	-	1.7	11%	116%	82%	89%
コシヒカリ		3.8	2.0	-	0.2	5%	107%	82%	57%
きぬむすめ		5.1	1.6	-	0.6	12%	105%	85%	99%
ひとめぼれ		3.1	2.0	-	0.6	19%	107%	80%	76%
島根	99	23.2	30.3	-	3.0	13%	95%	88%	86%
きぬむすめ		10.4	12.1	-	1.4	13%	95%	82%	87%
コシヒカリ		8.1	12.9	-	0.7	9%	96%	97%	87%
つや姫		2.8	3.9	-	0.5	18%	96%	88%	109%
岡山	95	35.8	35.4	-	4.4	12%	726%	440%	370%
アケボノ		0.1	0.4	-	0.0	0%	52%	66%	56%
あきたこまち		3.7	2.9	-	0.4	11%
ヒノヒカリ		3.9	3.5	-	0.6	15%	489%	426%	163%
広島	94	27.3	29.1	-	2.8	10%	102%	87%	89%
コシヒカリ		11.7	13.7	-	1.6	14%	103%	85%	92%
あきさかり		6.6	6.1	-	0.4	6%	108%	88%	82%
あきろまん		2.1	2.7	-	0.1	5%	93%	88%	87%

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

単位：(千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	73	17.7	19.3	-	2.1	12%	65%	82%	71%
コシヒカリ		6.7	6.2	-	1.2	18%	81%	80%	83%
ひとめぼれ		5.1	4.3	-	0.6	12%	68%	77%	73%
ヒノヒカリ		2.4	3.5	-	0.1	4%	45%	80%	42%
徳島	100	6.1	3.0	-	1.1	18%	113%	102%	98%
コシヒカリ		1.8	2.1	-	0.7	39%	71%	98%	95%
キヌヒカリ		3.4	0.6	-	0.1	3%
香川	100	12.5	15.6	-	1.2	10%	108%	327%	85%
コシヒカリ		6.2	5.8	-	1.0	16%	100%	538%	88%
ヒノヒカリ		2.4	5.2	-	0.1	4%	105%	165%	105%
おいでまい		0.9	2.7	-	0.1	11%	89%	1302%	57%
愛媛	91	6.9	4.9	-	1.4	20%	115%	218%	87%
コシヒカリ		3.4	2.3	-	1.0	29%	110%	216%	98%
ヒノヒカリ		0.9	0.9	-	0.1	11%	102%	868%	75%
あきたこまち		0.7	0.5	-	0.2	29%	141%	173%	80%
高知	93	8.7	5.4	-	4.9	56%	95%	94%	85%
コシヒカリ		5.8	3.8	-	3.8	66%	92%	86%	86%
ヒノヒカリ		1.2	0.4	-	0.2	17%	122%	148%	86%
福岡	80	14.0	36.8	-	3.9	28%	104%	101%	102%
夢つくし		8.3	12.4	-	2.6	31%	107%	98%	112%
ヒノヒカリ		1.3	10.5	-	0.2	15%	103%	102%	58%
元気つくし		3.7	12.6	-	0.9	24%	96%	102%	82%
佐賀	82	18.1	4.6	-	2.7	15%	124%	129%	109%
夢しずく		7.7	1.8	-	1.0	13%	108%	128%	92%
さがびより		3.3	0.5	-	0.1	3%	326%
ヒノヒカリ		4.3	0.9	-	0.3	7%	119%	247%	211%
長崎	86	4.4	7.3	-	0.6	14%	98%	889%	84%
にこまる		1.0	2.0	-	0.1	10%	85%	1178%	44%
ヒノヒカリ		1.0	3.4	-	0.0	0%	99%	6307%	96%
コシヒカリ		1.0	0.8	-	0.4	40%	89%	219%	98%
熊本	89	13.0	2.9	-	2.9	22%	91%	79%	79%
ヒノヒカリ		4.6	0.4	-	0.4	9%	91%	64%	64%
森のくまさん		0.7	0.1	-	0.1	14%	108%	32%	32%
コシヒカリ		5.0	1.8	-	1.8	36%	93%	76%	76%
大分	77	4.1	5.3	-	0.7	17%	136%	101%	110%
ヒノヒカリ		1.8	3.2	-	0.1	6%	153%	103%	131%
ひとめぼれ		0.4	0.3	-	0.0	0%	119%	88%	42%
つや姫		1.3	1.4	-	0.2	15%	109%	92%	97%
宮崎	95	8.2	7.0	-	7.0	85%	91%	77%	94%
コシヒカリ		6.1	6.1	-	6.1	100%	93%	93%	93%
ヒノヒカリ		1.6	0.5	-	0.5	31%	81%	23%	99%
鹿児島	94	6.3	6.3	-	5.8	92%	100%	100%	93%
ヒノヒカリ		1.4	1.4	-	1.0	71%	155%	155%	106%
あきほなみ		0.1	0.1	-	0.1	100%	131%	131%	104%
コシヒカリ		3.2	3.2	-	3.2	100%	92%	92%	92%
沖縄	101	1.2	1.2	-	1.0	83%	92%	92%	96%
全国①	99	2,042	1,707	-	247	12%	105%	101%	89%
参考	前年同月(30年産)②	1,940	1,692	-	277	14%			
	前年同月差(①-②)	102	+15	-	▲30	▲2%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考：前年同月比」で、令和元年産又は令和2年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

(参考) 米取引関係者に対する事前契約の取組に関する
アンケート調査結果・事例集 (抜粋)

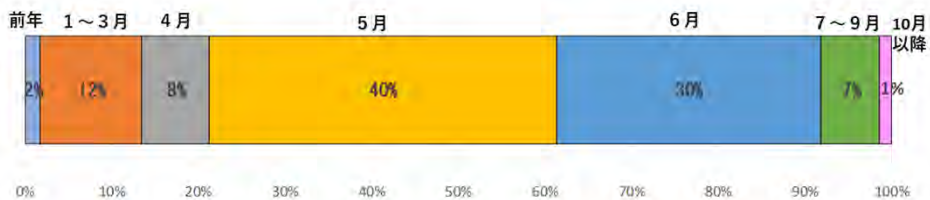
農林水産省においては、米取引関係者における事前契約の実態を改めて把握し、事前契約の拡大の検討に資するため、主食用米生産量20万トンの以上の上位11道県の各30生産者を対象に事前契約の取組に対するアンケートを実施し、その調査結果及び取組事例を取りまとめました。

アンケート調査結果 (抜粋)

(1) 事前契約の締結時期

取引先ごとの事前契約の締結時期をみると、集出荷業者のうち農協系統との取引では、5月締結の回答が最も多く、商系は6月締結とする回答が最も多い結果となった。一方、米卸との取引では、1～2月締結、実需者は6月以降の締結の回答が多い結果となった。

事前契約締結月 (全体)



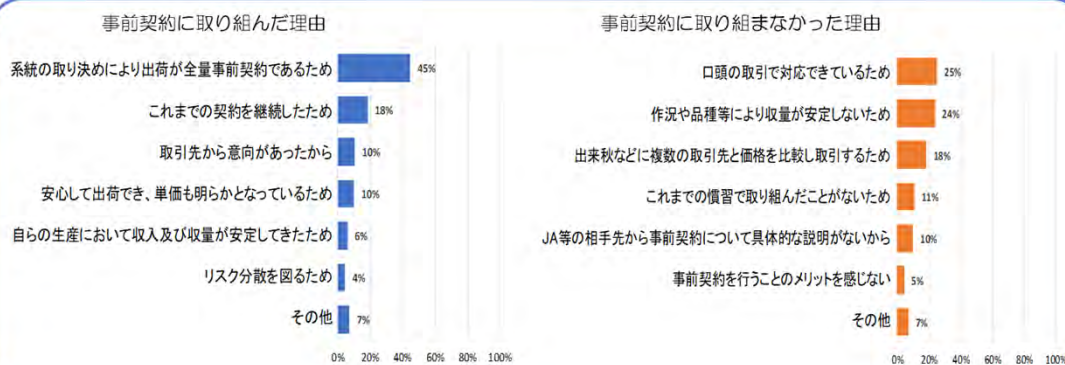
取引先別の事前契約締結月別の回答割合

取引先	締結月	前年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			集出荷業者	農協系統	16%		26%	37%	7.9%	49.2%	32.5%	2.6%		
	商系		4.8%		2.4%	7.1%	33.3%	42.9%	2.4%	2.4%	4.8%			
	米卸	3.4%	17.2%	17.2%	13.8%	6.9%	13.8%	10.3%	3.4%	10.3%	3.4%			
	実需者		16.7%			11.1%	5.6%	16.7%		11.1%	16.7%	11.1%		11.1%
	その他	50.0%		50.0%										

事前契約に取り組んでいる理由として、「システムの取り決めにより行っている」、「これまでの契約を継続」、「取引先からの意向があった」、「安心して出荷ができ販売単価も明らか」等の回答がみられた。

一方、事前契約に取り組まなかった理由として、「口頭の取引で対応できている」、「作況や品種等によって収量が安定しない」、「出来秋に複数の取引先と販売価格を比較して取引している」等の回答がみられた。

(1) 事前契約に取り組んだ理由と取り組まなかった理由 (全体)



Ⅱ 米の民間在庫情報

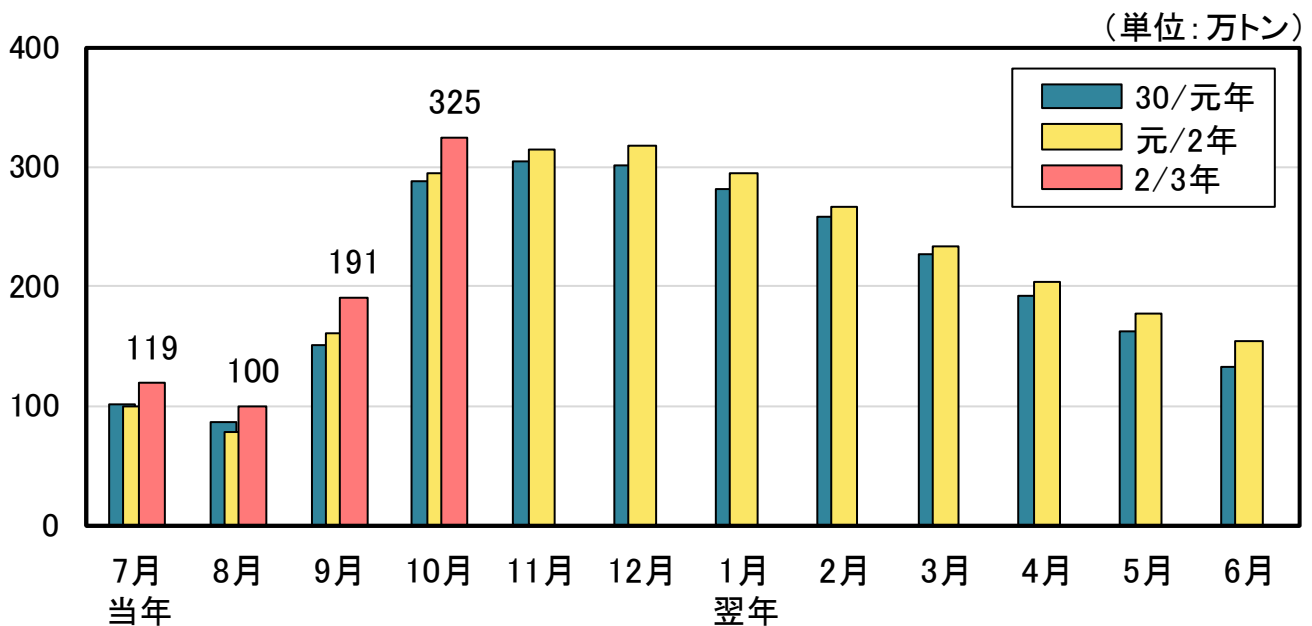
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和2年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+31万トンの325万トンとなっている。また、流通段階別で見ると出荷段階で対前年同月差+28万トン、販売段階で+3万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫4」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	(注7) 114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+14	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	100	191	325								
対前年差	+20	+21	+30	+31								
2年産米	0	12	124	269								
1年古米(元年産)	112	84	61	49								

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、2/3年であれば、令和2年7月～3年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない（元年産は、2年1月末在庫公表時点においてそれ以前の月末在庫にも遡及して整理。）。25年産以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
元/2年	84	70	152	266								
対前年差	+10	+15	+24	+28								
2年産米	0	9	109	239								
1年古米(元年産)	82	60	42	26								

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	38	59								
対前年差	+9	+7	+5	+3								
2年産米	0	3	15	30								
1年古米(元年産)	30	24	19	23								

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

在庫3

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月差）

単位：千玄米トン

	30/元年産	元/2年産			対前年 同月差 ②-①
	元年 10月 ①	2年 8月	2年 9月	2年 10月 ②	
北海道	266.2	84.6	141.8	354.2	+ 88.0
青森	134.2	61.1	82.7	160.3	+ 26.2
岩手	119.4	49.6	47.2	132.4	+ 13.0
宮城	158.8	68.9	91.6	187.4	+ 28.6
秋田	279.8	57.2	140.5	290.8	+ 11.0
山形	175.8	69.0	95.0	208.7	+ 32.9
福島	209.3	87.1	89.8	224.2	+ 14.9
茨城	127.3	45.8	125.9	143.3	+ 16.0
栃木	146.3	52.5	111.3	139.6	▲ 6.8
群馬	7.4	6.7	5.5	11.9	+ 4.4
埼玉	24.0	7.7	17.1	32.8	+ 8.8
千葉	96.7	49.2	104.9	98.5	+ 1.7
東京	0.0	0.0	0.0	0.0	+ 0.0
神奈川	1.9	0.5	0.6	2.3	+ 0.4
山梨	4.3	1.4	1.7	3.7	▲ 0.5
長野	61.1	20.8	30.3	65.3	+ 4.1
静岡	19.2	5.3	16.2	19.6	+ 0.5
新潟	309.4	53.6	237.1	341.8	+ 32.3
富山	91.5	19.9	79.2	103.9	+ 12.4
石川	63.7	11.6	54.3	72.2	+ 8.5
福井	75.9	19.4	47.9	71.6	▲ 4.3
岐阜	14.7	12.4	13.2	18.6	+ 3.9
愛知	21.1	11.0	16.0	25.9	+ 4.8
三重	44.6	15.1	34.2	37.7	▲ 6.8
滋賀	59.7	16.3	53.7	67.8	+ 8.1
京都	10.8	3.4	10.8	13.8	+ 3.0
大阪	0.6	0.4	0.4	0.5	▲ 0.1
兵庫	49.2	15.3	30.3	41.8	▲ 7.5
奈良	6.0	2.5	2.5	6.1	+ 0.1
和歌山	1.0	0.6	0.8	1.0	▲ 0.1
鳥取	21.6	6.1	10.5	24.1	+ 2.6
島根	25.3	4.5	17.3	24.5	▲ 0.8
岡山	33.5	18.3	25.0	34.9	+ 1.4
広島	37.8	8.4	23.7	38.1	+ 0.3
山口	31.1	8.6	15.5	21.2	▲ 9.8
徳島	12.4	10.8	17.3	16.5	+ 4.0
香川	12.8	5.7	7.1	13.8	+ 1.0
愛媛	9.4	3.7	5.8	9.5	+ 0.1
高知	9.0	8.0	7.7	8.4	▲ 0.7
福岡	33.0	9.6	18.2	29.0	▲ 4.0
佐賀	16.2	9.7	9.1	20.6	+ 4.3
長崎	5.6	2.3	2.5	6.0	+ 0.4
熊本	32.0	11.4	12.3	33.2	+ 1.2
大分	11.4	3.3	4.7	10.0	▲ 1.4
宮崎	9.1	6.7	3.2	10.5	+ 1.3
鹿児島	17.1	8.5	7.9	16.0	▲ 1.2
沖縄	0.4	0.4	0.3	0.2	▲ 0.2
全 国	2,940.0	1,000.0	1,910.0	3,250.0	+ 310.0

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 農産物検査数量は、水稲うるち玄米の検査数量である。

(3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
北海道	出荷＋販売段階	113.9	84.6	141.8	354.2			
	2年産米			85.0	303.0			
	1年古米（元年産）	109.0	80.6	53.4	48.4			
	出荷段階	86.4	60.6	112.6	278.5			
	2年産米			72.6	252.6			
	1年古米（元年産）	85.0	59.5	39.0	25.1			
	販売段階	27.6	23.9	29.2	75.6			
	2年産米			12.4	50.4			
	1年古米（元年産）	24.0	21.1	14.3	23.3			
	青森	出荷＋販売段階	76.0	61.1	82.7	160.3		
		2年産米			39.5	126.5		
		1年古米（元年産）	75.1	60.4	42.7	33.4		
出荷段階		54.4	42.5	67.1	137.3			
2年産米				38.7	119.8			
1年古米（元年産）		54.4	42.5	28.4	17.5			
販売段階		21.5	18.5	15.6	23.0			
2年産米				0.8	6.7			
1年古米（元年産）		20.7	17.9	14.2	15.8			
岩手		出荷＋販売段階	67.9	49.6	47.2	132.4		
		2年産米			11.3	97.8		
		1年古米（元年産）	66.3	48.3	34.7	33.7		
	出荷段階	49.2	37.5	38.5	110.3			
	2年産米			10.5	89.3			
	1年古米（元年産）	48.6	36.9	27.5	20.5			
	販売段階	18.6	12.1	8.6	22.1			
	2年産米			0.9	8.5			
	1年古米（元年産）	17.7	11.4	7.2	13.2			
	宮城	出荷＋販売段階	89.1	68.9	91.6	187.4		
		2年産米		0.0	41.0	141.6		
		1年古米（元年産）	87.2	67.3	49.2	44.6		
出荷段階		66.9	52.3	76.6	160.0			
2年産米				38.6	130.7			
1年古米（元年産）		66.7	52.1	37.9	29.2			
販売段階		22.3	16.6	15.0	27.4			
2年産米			0.0	2.5	10.9			
1年古米（元年産）		20.5	15.1	11.3	15.4			
秋田		出荷＋販売段階	83.6	57.2	140.5	290.8		
		2年産米			106.4	264.2		
		1年古米（元年産）	83.2	56.9	33.9	26.5		
	出荷段階	63.0	42.0	126.6	267.7			
	2年産米			103.1	252.1			
	1年古米（元年産）	62.9	41.9	23.5	15.5			
	販売段階	20.6	15.2	13.9	23.1			
	2年産米			3.3	12.1			
	1年古米（元年産）	20.3	15.0	10.4	10.9			

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
山形	出荷＋販売段階	85.4	69.0	95.0	208.7			
	2年産米		0.0	43.7	161.7			
	1年古米（元年産）	83.3	67.2	49.9	45.9			
	出荷段階	72.7	56.6	82.8	187.9			
	2年産米			43.0	154.3			
	1年古米（元年産）	72.0	56.0	39.2	33.3			
	販売段階	12.7	12.4	12.3	20.8			
	2年産米		0.0	0.7	7.4			
	1年古米（元年産）	11.2	11.2	10.7	12.7			
	福島	出荷＋販売段階	103.7	87.1	89.8	224.2		
		2年産米		0.0	20.0	156.2		
		1年古米（元年産）	101.9	85.7	69.0	67.4		
出荷段階		79.7	68.5	73.0	182.3			
2年産米			0.0	19.1	142.9			
1年古米（元年産）		79.0	68.0	53.8	39.3			
販売段階		23.9	18.7	16.8	41.9			
2年産米			0.0	1.0	13.3			
1年古米（元年産）		22.9	17.7	15.2	28.1			
茨城		出荷＋販売段階	36.0	45.8	125.9	143.3		
		2年産米		20.2	106.4	127.5		
		1年古米（元年産）	34.9	24.8	18.7	15.1		
	出荷段階	19.4	25.5	83.9	98.0			
	2年産米		13.0	76.2	92.7			
	1年古米（元年産）	19.2	12.4	7.6	5.2			
	販売段階	16.6	20.3	42.0	45.3			
	2年産米		7.1	30.1	34.8			
	1年古米（元年産）	15.6	12.4	11.1	9.8			
	栃木	出荷＋販売段階	65.3	52.5	111.3	139.6		
		2年産米		0.0	69.0	125.8		
		1年古米（元年産）	64.3	51.8	41.7	13.5		
出荷段階		40.4	32.9	91.2	114.2			
2年産米			0.0	63.5	112.5			
1年古米（元年産）		40.3	32.8	27.7	1.6			
販売段階		24.9	19.6	20.1	25.4			
2年産米				5.5	13.3			
1年古米（元年産）		24.0	19.0	14.0	11.9			
群馬		出荷＋販売段階	8.1	6.7	5.5	11.9		
		2年産米			0.4	8.0		
		1年古米（元年産）	8.0	6.6	5.0	3.8		
	出荷段階	5.9	5.0	4.2	10.0			
	2年産米			0.4	7.5			
	1年古米（元年産）	5.9	5.0	3.8	2.5			
	販売段階	2.2	1.7	1.3	1.8			
	2年産米			0.1	0.5			
	1年古米（元年産）	2.1	1.7	1.2	1.2			
	埼玉	出荷＋販売段階	10.4	7.7	17.1	32.8		
		2年産米		0.7	11.6	29.3		
		1年古米（元年産）	10.4	7.0	5.5	3.5		
出荷段階		7.4	4.7	12.1	25.6			
2年産米			0.3	9.6	24.2			
1年古米（元年産）		7.4	4.4	2.5	1.4			
販売段階		3.0	3.0	5.0	7.2			
2年産米			0.4	1.9	5.1			
1年古米（元年産）		3.0	2.6	3.0	2.1			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるち米及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(千葉から静岡)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	15.4	49.2	104.9	98.5		
	2年産米		40.0	97.9	93.2		
	1年古米(元年産)	15.2	9.1	6.9	5.2		
	出荷段階	4.0	38.2	89.5	84.9		
	2年産米		36.8	88.7	84.3		
	1年古米(元年産)	4.0	1.4	0.7	0.5		
	販売段階	11.4	11.0	15.4	13.6		
	2年産米		3.2	9.1	8.9		
	1年古米(元年産)	11.2	7.7	6.2	4.6		
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0		
	2年産米				0.0		
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0		
	出荷段階						
	2年産米						
	1年古米(元年産)						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0		
	2年産米				0.0		
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0		
神奈川	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.6	2.3		
	2年産米			0.3	2.1		
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.4	0.2		
	出荷段階	0.6	0.5	0.6	2.2		
	2年産米			0.3	2.1		
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.3	0.1		
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1		
	2年産米			0.0	0.0		
	1年古米(元年産)	0.1	0.1	0.1	0.0		
山梨	出荷+販売段階	2.0	1.4	1.7	3.7		
	2年産米		0.0	0.8	3.1		
	1年古米(元年産)	2.0	1.4	0.9	0.6		
	出荷段階	1.7	1.2	1.4	3.3		
	2年産米			0.8	2.9		
	1年古米(元年産)	1.7	1.2	0.6	0.4		
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.5		
	2年産米		0.0	0.0	0.2		
	1年古米(元年産)	0.3	0.3	0.3	0.2		
長野	出荷+販売段階	29.6	20.8	30.3	65.3		
	2年産米			15.4	49.7		
	1年古米(元年産)	29.0	20.4	14.5	15.3		
	出荷段階	20.6	15.3	25.3	53.8		
	2年産米			14.5	47.1		
	1年古米(元年産)	20.5	15.3	10.8	6.6		
	販売段階	9.0	5.5	4.9	11.5		
	2年産米			0.9	2.6		
	1年古米(元年産)	8.5	5.1	3.7	8.7		
静岡	出荷+販売段階	3.5	5.3	16.2	19.6		
	2年産米		3.0	14.7	18.8		
	1年古米(元年産)	3.5	2.3	1.5	0.8		
	出荷段階	1.2	2.1	9.9	12.9		
	2年産米		1.5	9.5	12.7		
	1年古米(元年産)	1.2	0.7	0.4	0.2		
	販売段階	2.4	3.2	6.3	6.7		
	2年産米		1.6	5.2	6.1		
	1年古米(元年産)	2.3	1.6	1.1	0.7		

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	84.7	53.6	237.1	341.8		
	2年産米		0.3	201.2	312.9		
	1年古米(元年産)	83.9	52.8	35.5	28.5		
	出荷段階	62.3	36.4	212.0	305.7		
	2年産米		0.1	187.7	289.9		
	1年古米(元年産)	62.1	36.2	24.3	15.8		
	販売段階	22.4	17.2	25.1	36.1		
	2年産米		0.1	13.5	23.1		
	1年古米(元年産)	21.8	16.7	11.2	12.7		
富山	出荷+販売段階	25.8	19.9	79.2	103.9		
	2年産米		1.1	65.8	96.5		
	1年古米(元年産)	25.5	18.6	13.2	7.2		
	出荷段階	16.8	12.9	69.2	91.7		
	2年産米		0.8	61.0	91.0		
	1年古米(元年産)	16.8	12.1	8.2	0.7		
	販売段階	9.0	7.0	10.0	12.2		
	2年産米		0.3	4.8	5.5		
	1年古米(元年産)	8.7	6.5	5.1	6.5		
石川	出荷+販売段階	16.6	11.6	54.3	72.2		
	2年産米		1.2	46.4	65.9		
	1年古米(元年産)	16.1	10.2	7.7	6.2		
	出荷段階	10.0	6.8	35.4	50.3		
	2年産米		0.5	30.7	46.7		
	1年古米(元年産)	9.7	6.2	4.6	3.5		
	販売段階	6.6	4.8	18.9	22.0		
	2年産米		0.7	15.7	19.2		
	1年古米(元年産)	6.4	4.0	3.1	2.7		
福井	出荷+販売段階	22.3	19.4	47.9	71.6		
	2年産米		3.4	35.8	61.9		
	1年古米(元年産)	22.0	15.8	11.9	9.4		
	出荷段階	15.3	12.4	33.6	52.7		
	2年産米		2.2	26.1	49.0		
	1年古米(元年産)	15.2	10.2	7.5	3.7		
	販売段階	7.0	7.0	14.3	18.8		
	2年産米		1.1	9.7	12.9		
	1年古米(元年産)	6.8	5.6	4.5	5.8		
岐阜	出荷+販売段階	14.3	12.4	13.2	18.6		
	2年産米		0.9	3.6	9.7		
	1年古米(元年産)	13.3	10.7	8.9	8.3		
	出荷段階	8.5	5.3	6.4	9.2		
	2年産米		0.6	2.6	7.2		
	1年古米(元年産)	8.5	4.7	3.8	2.0		
	販売段階	5.8	7.1	6.8	9.4		
	2年産米		0.3	1.0	2.5		
	1年古米(元年産)	4.9	6.0	5.2	6.3		
愛知	出荷+販売段階	12.3	11.0	16.0	25.9		
	2年産米		1.8	9.5	22.4		
	1年古米(元年産)	12.0	9.1	6.5	3.5		
	出荷段階	9.7	8.5	12.5	20.4		
	2年産米		1.3	7.7	18.4		
	1年古米(元年産)	9.7	7.2	4.8	2.1		
	販売段階	2.6	2.5	3.5	5.5		
	2年産米		0.5	1.7	4.0		
	1年古米(元年産)	2.4	1.9	1.7	1.4		

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

在庫6

(三重から奈良)

(和歌山から山口)

(単位:千玄トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
三重	出荷+販売段階	7.6	15.1	34.2	37.7		
	2年産米		10.3	30.7	35.2		
	1年古米(元年産)	6.7	3.8	2.7	2.4		
	出荷段階	5.6	11.6	29.7	32.9		
	2年産米		8.3	27.2	31.1		
	1年古米(元年産)	4.9	2.7	2.1	1.8		
	販売段階	2.0	3.4	4.4	4.9		
	2年産米		2.0	3.6	4.2		
	1年古米(元年産)	1.8	1.1	0.7	0.6		
滋賀	出荷+販売段階	19.1	16.3	53.7	67.8		
	2年産米		2.4	40.7	57.2		
	1年古米(元年産)	17.4	12.5	11.6	9.5		
	出荷段階	14.8	12.5	47.5	61.0		
	2年産米		2.1	38.8	54.1		
	1年古米(元年産)	13.4	9.2	7.5	5.9		
	販売段階	4.3	3.9	6.2	6.8		
	2年産米		0.3	1.9	3.1		
	1年古米(元年産)	4.0	3.4	4.1	3.6		
京都	出荷+販売段階	4.5	3.4	10.8	13.8		
	2年産米		0.0	8.4	12.3		
	1年古米(元年産)	4.5	3.3	2.4	1.5		
	出荷段階	3.6	2.5	9.6	12.3		
	2年産米		0.0	7.9	11.6		
	1年古米(元年産)	3.6	2.5	1.7	0.7		
	販売段階	0.9	0.9	1.2	1.5		
	2年産米			0.5	0.7		
	1年古米(元年産)	0.9	0.9	0.7	0.8		
大阪	出荷+販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5		
	2年産米			0.2	0.4		
	1年古米(元年産)	0.5	0.4	0.1	0.0		
	出荷段階	0.4	0.3	0.3	0.4		
	2年産米			0.2	0.4		
	1年古米(元年産)	0.4	0.3	0.1	0.0		
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.0		
	2年産米				0.0		
	1年古米(元年産)	0.1	0.1	0.1	0.0		
兵庫	出荷+販売段階	18.9	15.3	30.3	41.8		
	2年産米		0.0	18.4	34.3		
	1年古米(元年産)	18.7	15.1	11.8	7.3		
	出荷段階	16.1	13.2	27.3	36.7		
	2年産米			16.9	31.2		
	1年古米(元年産)	16.1	13.2	10.4	5.4		
	販売段階	2.9	2.1	3.1	5.1		
	2年産米		0.0	1.5	3.1		
	1年古米(元年産)	2.7	1.9	1.4	1.9		
奈良	出荷+販売段階	3.4	2.5	2.5	6.1		
	2年産米			0.9	5.1		
	1年古米(元年産)	3.2	2.4	1.5	0.9		
	出荷段階	2.2	1.6	1.1	4.2		
	2年産米			0.8	4.2		
	1年古米(元年産)	2.2	1.6	0.3	0.0		
	販売段階	1.2	0.8	1.4	1.9		
	2年産米			0.1	0.9		
	1年古米(元年産)	1.1	0.8	1.2	0.9		

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
和歌山	出荷+販売段階	0.6	0.6	0.8	1.0		
	2年産米		0.0	0.3	0.5		
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.5	0.4		
	出荷段階		0.0	0.3	0.3		
	2年産米		0.0	0.3	0.3		
	1年古米(元年産)						
	販売段階	0.6	0.6	0.5	0.6		
	2年産米			0.1	0.2		
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.5	0.4		
鳥取	出荷+販売段階	9.3	6.1	10.5	24.1		
	2年産米		0.0	6.5	20.9		
	1年古米(元年産)	9.2	6.0	3.9	3.2		
	出荷段階	6.6	4.4	8.8	21.0		
	2年産米		0.0	6.0	19.5		
	1年古米(元年産)	6.6	4.4	2.8	1.4		
	販売段階	2.8	1.7	1.7	3.2		
	2年産米			0.5	1.4		
	1年古米(元年産)	2.6	1.6	1.1	1.8		
島根	出荷+販売段階	6.7	4.5	17.3	24.5		
	2年産米		0.3	14.6	22.7		
	1年古米(元年産)	6.5	4.0	2.6	1.7		
	出荷段階	4.9	3.0	15.2	21.0		
	2年産米		0.3	13.4	20.2		
	1年古米(元年産)	4.9	2.7	1.8	0.8		
	販売段階	1.8	1.5	2.1	3.5		
	2年産米		0.0	1.2	2.4		
	1年古米(元年産)	1.6	1.4	0.9	0.9		
岡山	出荷+販売段階	23.1	18.3	25.0	34.9		
	2年産米		0.0	9.8	24.8		
	1年古米(元年産)	22.8	18.1	15.0	9.9		
	出荷段階	17.6	13.5	15.6	25.8		
	2年産米			8.5	22.1		
	1年古米(元年産)	17.5	13.4	7.1	3.6		
	販売段階	5.4	4.8	9.4	9.0		
	2年産米		0.0	1.3	2.7		
	1年古米(元年産)	5.3	4.7	8.0	6.3		
広島	出荷+販売段階	11.2	8.4	23.7	38.1		
	2年産米		0.1	18.0	34.3		
	1年古米(元年産)	10.6	7.8	5.3	3.4		
	出荷段階	7.3	4.9	19.0	30.5		
	2年産米		0.1	16.1	30.0		
	1年古米(元年産)	7.3	4.8	2.9	0.5		
	販売段階	3.9	3.5	4.7	7.7		
	2年産米		0.0	1.9	4.4		
	1年古米(元年産)	3.3	3.0	2.4	3.0		
山口	出荷+販売段階	11.0	8.6	15.5	21.2		
	2年産米		0.3	9.4	16.9		
	1年古米(元年産)	10.9	8.2	6.1	4.3		
	出荷段階	9.1	7.1	14.1	16.8		
	2年産米		0.2	9.0	16.0		
	1年古米(元年産)	9.1	6.9	5.1	0.8		
	販売段階	1.9	1.5	1.4	4.4		
	2年産米		0.1	0.4	0.9		
	1年古米(元年産)	1.8	1.4	0.9	3.4		

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
徳島	出荷+販売段階	3.0	10.8	17.3	16.5		
	2年産米		8.5	15.2	14.8		
	1年古米(元年産)	2.8	2.1	1.9	1.5		
	出荷段階	0.9	8.1	13.7	13.0		
	2年産米		7.4	13.3	12.7		
	1年古米(元年産)	0.9	0.7	0.4	0.3		
	販売段階	2.1	2.7	3.6	3.4		
	2年産米		1.1	1.9	2.1		
	1年古米(元年産)	1.8	1.4	1.5	1.3		
香川	出荷+販売段階	6.6	5.7	7.1	13.8		
	2年産米		0.6	3.3	11.9		
	1年古米(元年産)	6.4	4.9	3.6	1.8		
	出荷段階	5.7	4.5	5.1	12.0		
	2年産米		0.5	2.9	11.3		
	1年古米(元年産)	5.7	4.0	2.2	0.7		
	販売段階	0.9	1.2	2.0	1.8		
	2年産米		0.1	0.4	0.6		
	1年古米(元年産)	0.7	0.9	1.4	1.0		
愛媛	出荷+販売段階	2.7	3.7	5.8	9.5		
	2年産米		1.8	4.5	8.4		
	1年古米(元年産)	2.5	1.8	1.2	1.0		
	出荷段階	2.1	3.3	5.4	9.1		
	2年産米		1.8	4.3	8.2		
	1年古米(元年産)	2.0	1.4	1.0	0.9		
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.4		
	2年産米		0.1	0.1	0.2		
	1年古米(元年産)	0.5	0.3	0.2	0.1		
高知	出荷+販売段階	2.0	8.0	7.7	8.4		
	2年産米	0.1	6.4	6.4	7.3		
	1年古米(元年産)	1.6	1.2	1.0	0.8		
	出荷段階	0.2	3.1	3.0	3.6		
	2年産米	0.0	3.0	2.9	3.6		
	1年古米(元年産)	0.1	0.1	0.0	0.0		
	販売段階	1.9	4.9	4.7	4.8		
	2年産米	0.0	3.4	3.5	3.8		
	1年古米(元年産)	1.5	1.2	1.0	0.8		
福岡	出荷+販売段階	13.8	9.6	18.2	29.0		
	2年産米		0.6	12.9	25.6		
	1年古米(元年産)	13.4	8.7	5.1	3.2		
	出荷段階	10.7	7.0	12.6	21.1		
	2年産米		0.4	8.9	19.8		
	1年古米(元年産)	10.6	6.6	3.7	1.2		
	販売段階	3.1	2.6	5.5	7.9		
	2年産米		0.2	4.0	5.8		
	1年古米(元年産)	2.8	2.2	1.4	2.0		
佐賀	出荷+販売段階	10.6	9.7	9.1	20.6		
	2年産米		1.1	2.9	16.9		
	1年古米(元年産)	10.5	8.5	6.1	3.7		
	出荷段階	7.8	7.6	7.3	16.1		
	2年産米		1.0	2.7	16.1		
	1年古米(元年産)	7.8	6.5	4.7	0.0		
	販売段階	2.8	2.1	1.7	4.5		
	2年産米		0.1	0.2	0.8		
	1年古米(元年産)	2.7	2.0	1.5	3.7		

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
長崎	出荷+販売段階	2.4	2.3	2.5	6.0		
	2年産米		0.5	1.2	4.8		
	1年古米(元年産)	2.3	1.7	1.2	1.1		
	出荷段階	2.1	2.0	2.2	5.1		
	2年産米		0.4	1.1	4.6		
	1年古米(元年産)	2.1	1.6	1.1	0.5		
	販売段階	0.3	0.3	0.3	1.0		
	2年産米		0.1	0.1	0.3		
	1年古米(元年産)	0.2	0.2	0.1	0.6		
熊本	出荷+販売段階	14.1	11.4	12.3	33.2		
	2年産米		1.5	5.5	28.5		
	1年古米(元年産)	12.9	8.8	5.9	3.9		
	出荷段階	9.0	6.6	6.6	22.5		
	2年産米		0.6	3.2	20.6		
	1年古米(元年産)	8.9	5.9	3.4	1.9		
	販売段階	5.1	4.8	5.7	10.7		
	2年産米		0.9	2.3	8.0		
	1年古米(元年産)	4.0	2.9	2.5	2.1		
大分	出荷+販売段階	4.1	3.3	4.7	10.0		
	2年産米		0.4	2.8	8.8		
	1年古米(元年産)	4.0	2.8	1.8	1.2		
	出荷段階	2.6	2.0	3.0	6.1		
	2年産米		0.3	1.9	5.7		
	1年古米(元年産)	2.6	1.8	1.1	0.4		
	販売段階	1.5	1.3	1.7	4.0		
	2年産米		0.1	0.9	3.0		
	1年古米(元年産)	1.4	1.1	0.7	0.9		
宮崎	出荷+販売段階	3.6	6.7	3.2	10.5		
	2年産米	1.6	5.3	2.5	10.1		
	1年古米(元年産)	1.9	1.3	0.6	0.4		
	出荷段階	1.9	3.1	0.3	7.3		
	2年産米	0.8	2.5	0.2	7.3		
	1年古米(元年産)	1.1	0.6	0.1	0.0		
	販売段階	1.7	3.6	2.8	3.2		
	2年産米	0.9	2.8	2.2	2.8		
	1年古米(元年産)	0.8	0.7	0.5	0.4		
鹿児島	出荷+販売段階	6.9	8.5	7.9	16.0		
	2年産米	0.4	3.1	3.3	11.8		
	1年古米(元年産)	5.8	4.9	4.1	3.7		
	出荷段階	5.0	4.9	4.2	11.2		
	2年産米	0.0	0.6	0.7	8.2		
	1年古米(元年産)	4.4	3.7	2.9	2.5		
	販売段階	1.9	3.6	3.7	4.8		
	2年産米	0.4	2.4	2.6	3.6		
	1年古米(元年産)	1.5	1.1	1.1	1.1		
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4	0.3	0.2		
	2年産米	0.6	0.4	0.3	0.2		
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0		
	出荷段階	0.3	0.3	0.2	0.1		
	2年産米	0.3	0.3	0.2	0.1		
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0		
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.1		
	2年産米	0.2	0.1	0.1	0.1		
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0		

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

在庫8

Ⅲ 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

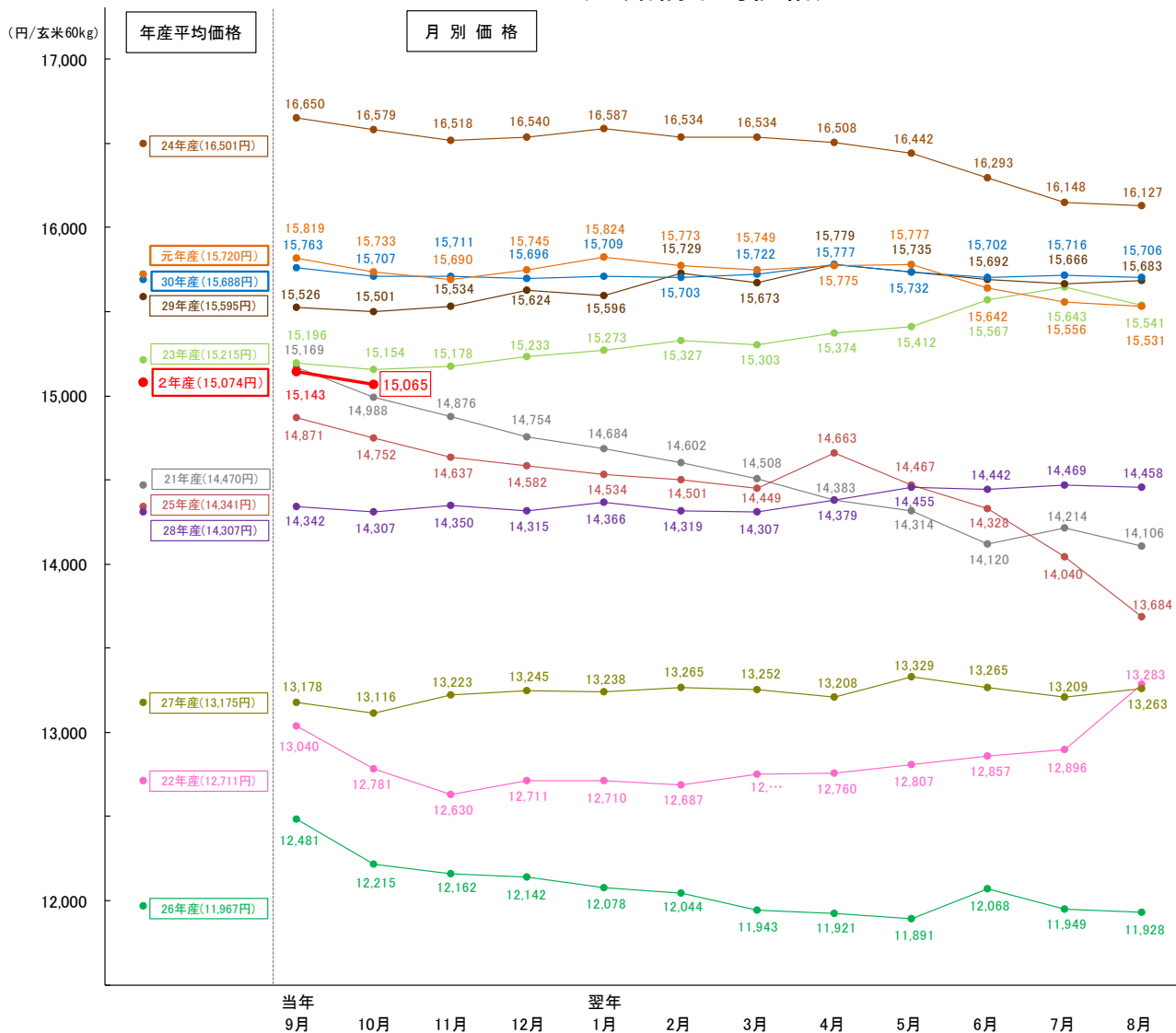
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

・令和2産米の令和2年10月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,065円/60kgとなり、前年同月より▲668円、出回りからの年産平均価格は前年産▲646円の15,074円となったところ。

※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移 (税込)
(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（元年産は翌年8月、2年産は10月）までの通年平均価格（30年産以前は確定値、元年産、2年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。

(2) 相対取引価格・数量（令和2年産米、産地品種銘柄別、令和2年10月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から三重まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	2年産米 令和2年10月		月別価格			年産平均価格			取引数量				取引数量 累計			
		価格 ①	数量 ②	2年産米 (2年9月)	対前月比	対前年 同月比	元年産米 (元年10月)	2年産米 出回り～ 2年10月	元年産米 出回り～ 2年8月	対前年 同月比	2年産米 (2年9月)	対前月比	対前年 同月比	元年産米 (元年10月)	2年産米 出回り～ 2年10月	元年産米 出回り～ 元年10月	対前年 同月比
				③	①/③	①/④	④	⑦	⑧	⑦/⑧	⑤	②/⑤	②/⑥	⑥	⑦	⑧	⑦/⑧
北海道	ななつぼし	15,176	14,507	14,971	101%	96%	15,790	15,106	15,872	95%	7,447	195%	64%	22,648	21,954	28,215	78%
北海道	ゆめぴりか	17,479	8,807	17,246	101%	102%	17,094	17,401	16,801	104%	4,444	198%	72%	12,229	13,251	15,578	85%
北海道	きらら397	15,114	2,559	14,674	103%	98%	15,419	15,076	15,437	98%	240	1066%	39%	6,497	2,799	6,654	42%
青森	まっくら	13,753	4,635	13,691	100%	95%	14,482	13,749	14,778	93%	308	1505%	67%	6,941	4,943	7,402	67%
青森	つがるロマン	14,205	1,782	14,195	100%	96%	14,870	14,203	15,072	94%	520	343%	75%	2,389	2,301	2,633	87%
岩手	ひとめぼれ	14,922	7,095	15,100	99%	97%	15,347	14,975	15,317	98%	3,007	236%	26%	27,777	10,102	30,373	33%
岩手	あきたこまち	15,003	433	-	-	98%	15,246	14,974	15,183	99%	-	-	8%	5,147	492	5,297	9%
岩手	銀河のしずく	15,362	1,106	15,733	98%	94%	16,381	15,488	16,223	95%	570	194%	67%	1,643	1,676	3,548	47%
宮城	ひとめぼれ	14,902	9,787	15,007	99%	96%	15,601	14,933	15,506	96%	4,069	241%	89%	10,936	13,856	12,746	109%
宮城	つや姫	15,372	4,184	15,171	101%	96%	15,948	15,320	15,860	97%	1,468	285%	94%	4,434	5,653	5,778	98%
宮城	ササニシキ	14,949	1,768	15,075	99%	94%	15,852	14,990	15,776	95%	843	210%	96%	1,835	2,612	2,568	102%
秋田	あきたこまち	15,035	13,478	15,132	99%	95%	15,851	15,062	15,810	95%	5,083	265%	63%	21,398	18,562	35,925	52%
秋田	めんこいな	13,897	1,506	-	-	96%	14,520	13,897	14,602	95%	-	-	111%	1,359	1,506	1,425	106%
秋田	ひとめぼれ	14,505	821	-	-	96%	15,132	14,506	15,138	96%	-	-	63%	1,297	887	1,309	68%
山形	はえぬき	14,515	4,251	14,336	101%	94%	15,466	14,481	15,368	94%	987	431%	42%	10,204	5,239	11,695	45%
山形	つや姫	18,572	7,698	18,504	100%	100%	18,520	18,565	18,589	100%	856	899%	118%	6,516	8,554	8,638	99%
山形	ひとめぼれ	15,857	901	16,060	99%	95%	16,674	15,918	16,285	98%	389	232%	13%	7,198	1,290	7,371	17%
福島	コシヒカリ(中通り)	13,505	2,183	-	-	89%	15,170	13,506	15,360	88%	-	-	61%	3,604	2,186	3,379	65%
福島	コシヒカリ(会津)	15,325	945	15,142	101%	95%	16,149	15,304	15,570	98%	125	756%	77%	1,229	1,070	1,241	86%
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	-	-	-	-	15,327	-	14,985	-	-	-	-	457	-	457	-
福島	ひとめぼれ	14,241	1,003	-	-	96%	14,806	14,247	14,924	95%	-	-	84%	1,196	1,095	1,243	88%
福島	天のつぶ	13,052	1,892	-	-	91%	14,407	13,052	14,461	90%	-	-	68%	2,798	1,892	2,710	70%
茨城	コシヒカリ	14,082	2,950	14,255	99%	89%	15,787	14,188	15,547	91%	4,603	64%	63%	4,697	7,559	9,576	79%
茨城	あきたこまち	13,920	1,534	13,682	102%	90%	15,489	13,796	15,471	89%	2,743	56%	56%	2,739	5,823	6,348	92%
茨城	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	13,588	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	14,556	2,360	14,647	99%	93%	15,596	14,596	15,601	94%	1,813	130%	63%	3,717	4,173	6,718	62%
栃木	あさひの夢	11,866	351	-	-	82%	14,406	11,869	14,830	80%	-	-	127%	276	365	278	131%
栃木	とちぎの星	13,509	258	-	-	92%	14,746	13,341	14,983	89%	-	-	24%	1,055	290	1,060	27%
群馬	あさひの夢	-	-	-	-	-	13,395	-	14,936	-	-	-	-	242	-	242	-
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	14,875	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	13,596	1,659	-	-	91%	14,916	13,596	14,904	91%	-	-	81%	2,049	1,659	2,050	81%
埼玉	彩のきずな	13,554	635	-	-	91%	14,976	13,554	14,918	91%	-	-	144%	441	635	441	144%
埼玉	コシヒカリ	-	-	15,070	-	-	15,129	15,083	15,162	99%	100	-	-	462	106	499	21%
千葉	コシヒカリ	14,350	3,071	14,512	99%	91%	15,754	14,454	15,716	92%	3,158	97%	19%	15,800	7,280	21,505	34%
千葉	ふさこがね	13,603	1,807	13,550	100%	92%	14,745	13,591	14,751	92%	1,284	141%	37%	4,854	3,579	7,870	45%
千葉	ふさおとめ	13,657	649	13,786	99%	92%	14,905	13,851	14,877	93%	1,807	36%	26%	2,531	4,263	8,231	52%
山梨	コシヒカリ	18,245	253	-	-	99%	18,398	18,257	18,325	100%	-	-	105%	241	256	241	106%
長野	コシヒカリ	15,774	2,568	15,678	101%	98%	16,146	15,717	15,996	98%	3,809	67%	53%	4,818	6,377	12,144	53%
長野	あきたこまち	14,986	295	14,975	100%	98%	15,305	14,978	15,211	98%	886	33%	83%	357	1,182	1,533	77%
静岡	コシヒカリ	15,419	217	15,430	100%	96%	16,099	15,510	16,207	96%	232	94%	75%	290	633	801	79%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	15,043	-	15,229	-	-	-	-	115	-	138	-
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	15,325	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,713	13,787	16,871	99%	96%	17,353	16,779	17,359	97%	10,018	138%	91%	15,192	23,806	28,049	85%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,733	2,625	20,595	101%	98%	21,085	20,666	20,962	99%	2,494	105%	149%	1,760	5,120	4,245	121%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	17,273	1,512	17,264	100%	96%	17,922	17,269	17,999	96%	1,440	105%	99%	1,528	2,953	3,752	79%
新潟	コシヒカリ(岩船)	17,276	841	17,292	100%	96%	17,917	17,287	17,979	96%	1,745	48%	137%	612	2,586	2,897	89%
新潟	こしいぶき	14,558	6,865	14,513	100%	97%	15,020	14,541	15,147	96%	4,067	169%	102%	6,705	10,931	11,408	96%
富山	コシヒカリ	15,638	8,469	15,956	98%	97%	16,179	15,753	15,998	98%	4,829	175%	172%	4,920	13,298	17,353	77%
富山	てんたかく	14,468	492	14,592	99%	97%	14,852	14,656	14,870	99%	1,004	49%	51%	966	2,226	2,564	87%
石川	コシヒカリ	15,819	1,098	15,619	101%	100%	15,875	15,721	15,892	99%	1,057	104%	168%	652	2,154	2,531	85%
石川	ゆめみづほ	14,567	110	14,188	103%	98%	14,805	14,397	14,700	98%	126	87%	92%	119	295	322	92%
福井	コシヒカリ	15,531	1,135	15,615	99%	96%	16,205	15,591	16,365	95%	2,768	41%	243%	468	3,902	3,400	115%
福井	ハナエチゼン	14,361	1,583	14,242	101%	95%	15,112	14,467	15,079	96%	606	261%	188%	844	5,650	5,302	107%
福井	あきさかり	14,271	786	14,607	98%	94%	15,211	14,335	15,198	94%	186	423%	497%	158	971	198	490%
岐阜	ハツシモ	14,795	1,047	-	-	96%	15,369	14,799	15,280	97%	-	-	124%	846	1,059	846	125%
岐阜	コシヒカリ	15,761	943	15,441	102%	95%	16,520	15,690	16,169	97%	270	349%	133%	711	1,213	1,421	85%
岐阜	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	14,692	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	あいちのかおり	-	-	15,120	-	-	14,725	14,713	14,789	99%	840	-	-	671	10,812	15,453	70%
愛知	コシヒカリ	-	-	15,660	-	-	-	15,652	15,542	101%	162	-	-	-	3,229	7,809	41%
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	14,872	14,977	99%	-	-	-	-	592	1,220	48%
三重	コシヒカリ(一般)	14,959	1,018	15,043	99%	96%	15,601	14,887	15,553	96%	455	224%	167%	611	4,104	2,838	145%
三重	コシヒカリ(伊賀)	15,406	551	15,239	101%	97%	15,887	15,328	15,947	96%	389	142%	115%	480	1,270	1,389	91%
三重	キヌヒカリ	14,089	136	14,051	100%	-	-	14,086	14,947	94%	100	136%	-	-	253	126	201%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米1トン）

産地	品種銘柄	2年産米 令和2年10月		月別価格						年産平均価格			取引数量				
		価格 ①	数量 ②	2年産米 (2年9月) ③	対前月比		元年産米 (元年10月) ④	2年産米 出回り～ 2年10月 ⑦	対前月比		2年産米 (2年9月) ⑤	対前月比		2年産米 出回り～ 2年10月 ⑦	対前月比		
					①/③	①/④			②/⑤	②/⑥		③/⑤	④/⑥		⑦/⑧		
滋賀	コシヒカリ	15,333	1,034	15,306	100%	96%	15,919	15,312	15,831	97%	3,644	28%	40%	2,606	4,678	6,915	68%
滋賀	キヌヒカリ	14,503	954	14,341	101%	96%	15,050	14,420	14,952	96%	1,009	95%	82%	1,170	1,962	2,456	80%
滋賀	みずかがみ	15,271	1,061	15,265	100%	96%	15,842	15,248	15,785	97%	1,266	84%	80%	1,330	3,171	4,167	76%
京都	コシヒカリ	16,118	742	16,074	100%	100%	16,168	16,085	16,203	99%	2,282	33%	73%	1,022	3,025	3,867	78%
京都	キヌヒカリ	15,293	502	15,082	101%	-	-	15,180	15,137	100%	577	87%	-	-	1,079	938	115%
京都	ヒノヒカリ	15,879	1,050	-	-	-	-	15,879	-	-	-	-	-	1,050	-	-	
兵庫	コシヒカリ	16,110	789	15,753	102%	100%	16,185	15,881	16,161	98%	1,406	56%	78%	1,015	2,195	2,449	90%
兵庫	ヒノヒカリ	14,095	138	-	-	-	-	14,095	14,879	95%	-	-	-	-	138	-	
兵庫	キヌヒカリ	14,075	425	-	-	96%	14,629	14,072	14,873	95%	-	-	163%	260	489	285	172%
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	15,842	-	15,743	-	-	-	-	298	-	298	-
鳥取	きぬむすめ	14,196	363	14,308	99%	98%	14,516	14,242	14,800	96%	252	144%	33%	1,105	615	1,345	46%
鳥取	コシヒカリ	-	-	14,729	-	-	15,130	14,706	15,493	95%	468	-	-	625	564	1,069	53%
鳥取	ひとめぼれ	14,058	248	14,329	98%	97%	14,445	14,279	14,701	97%	1,092	23%	46%	544	1,340	1,588	84%
鳥根	コシヒカリ	16,338	596	14,863	110%	-	-	15,058	15,565	97%	2,980	20%	-	-	4,161	5,742	72%
鳥根	きぬむすめ	14,807	1,367	14,318	102%	99%	14,763	14,405	14,565	99%	4,353	31%	363%	377	6,878	7,357	93%
鳥根	つや姫	15,443	415	15,124	102%	-	-	15,196	15,257	100%	1,801	23%	-	-	2,828	3,642	78%
岡山	アケボノ	-	-	-	-	-	-	-	14,878	-	-	-	-	-	-	-	
岡山	きぬむすめ	13,606	671	14,872	91%	-	-	13,777	-	-	105	639%	-	-	776	-	
岡山	あきたこまち	14,654	710	14,750	99%	95%	15,499	14,733	15,403	96%	655	108%	235%	302	1,437	756	190%
広島	コシヒカリ	15,045	1,382	15,063	100%	94%	15,983	15,058	15,494	97%	1,262	110%	111%	1,240	2,654	2,929	91%
広島	あきさかり	14,001	404	13,991	100%	94%	14,839	13,996	14,652	96%	463	87%	52%	778	868	1,177	74%
広島	あきろまん	14,046	319	-	-	94%	14,902	14,022	14,635	96%	-	-	77%	416	415	511	81%
山口	コシヒカリ	15,189	826	15,173	100%	98%	15,551	15,185	15,525	98%	925	89%	79%	1,051	1,783	1,818	98%
山口	ひとめぼれ	14,467	552	14,462	100%	99%	14,589	14,468	14,630	99%	421	131%	56%	986	984	1,500	66%
山口	ヒノヒカリ	14,346	481	-	-	99%	14,547	14,345	14,618	98%	-	-	67%	721	968	832	68%
徳島	コシヒカリ	14,904	120	-	-	95%	15,768	14,979	15,757	95%	-	-	50%	240	924	1,080	86%
徳島	あきさかり	-	-	14,580	-	-	-	14,580	-	-	240	-	-	-	240	-	
香川	コシヒカリ	15,284	306	15,268	100%	100%	15,279	15,277	15,279	100%	532	58%	66%	466	952	1,083	88%
香川	ヒノヒカリ	14,756	133	-	-	100%	14,823	14,756	14,766	100%	-	-	4%	3,000	133	3,127	4%
香川	おいでまい	15,379	117	-	-	100%	15,379	15,379	15,380	100%	-	-	57%	205	117	205	57%
愛媛	コシヒカリ	15,607	279	15,680	100%	100%	15,545	15,677	15,561	101%	456	61%	84%	332	1,014	1,026	99%
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,027	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛	あきたこまち	15,013	110	15,054	100%	101%	14,910	15,020	14,860	101%	107	103%	83%	132	249	302	82%
高知	コシヒカリ	-	-	15,152	-	-	-	15,081	14,920	101%	973	-	-	-	7,634	4,648	164%
高知	ヒノヒカリ	-	-	14,142	-	-	-	14,147	14,541	97%	390	-	-	-	416	277	150%
福岡	夢つくし	16,231	903	16,584	98%	100%	16,291	16,462	16,292	101%	1,494	60%	142%	637	3,304	2,812	117%
福岡	ヒノヒカリ	15,556	1,190	-	-	100%	15,523	15,556	15,413	101%	-	-	110%	1,085	1,190	1,085	110%
福岡	元気つくし	16,074	2,079	16,482	98%	99%	16,223	16,110	16,126	100%	199	1045%	112%	1,854	2,277	1,956	116%
佐賀	夢しずく	14,771	143	-	-	98%	15,133	14,771	14,937	99%	-	-	127%	113	143	139	103%
佐賀	さがびより	15,337	114	-	-	-	-	15,337	15,806	97%	-	-	-	-	114	-	
佐賀	ヒノヒカリ	14,158	207	-	-	-	-	14,158	-	-	-	-	-	-	207	-	
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	15,047	-	14,978	-	-	-	-	167	-	167	
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	15,305	-	-	-	-	-	-	-	
長崎	コシヒカリ	-	-	15,771	-	-	-	15,956	15,918	100%	194	-	-	-	375	382	98%
熊本	ヒノヒカリ	15,371	263	-	-	104%	14,770	15,371	15,373	100%	-	-	108%	244	263	244	108%
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	15,399	-	-	-	-	-	-	-	
熊本	コシヒカリ	16,381	302	15,729	104%	101%	16,153	16,043	15,997	100%	342	88%	188%	161	918	921	100%
大分	ヒノヒカリ	15,358	410	-	-	99%	15,517	15,358	15,662	98%	-	-	90%	454	410	454	90%
大分	ひとめぼれ	15,276	145	-	-	96%	15,850	15,267	15,898	96%	-	-	46%	312	173	333	52%
大分	つや姫	15,487	151	15,035	103%	96%	16,152	15,165	15,908	95%	420	36%	34%	445	595	749	79%
宮崎	コシヒカリ	15,265	5,366	-	-	-	-	15,265	15,946	96%	-	-	-	-	5,366	3,180	169%
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	15,725	-	15,860	-	-	-	-	111	-	111	
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	15,723	-	16,407	-	-	-	-	324	-	324	
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	16,909	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	16,353	16,670	98%	-	-	-	1,270	1,504	84%	
全銘柄平均価格、合計数量		15,065	181,203	15,143	99%	96%	15,733	15,074	15,720	96%	114,311	159%	67%	269,714	335,047	468,364	72%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加算平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡県（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（2年産、元年産はいずれも速報値）。

7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。

8 「一」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和2年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和元年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は元年産の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないものである。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社の取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.nihonkomeshijyo.co.jp/> 】

〔 ○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。 〕

【令和2年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和2年 8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
宮城ひとめぼれ	随時				12,600									
秋田あきたこまち	随時		12,972	12,931	12,991									
福島中通コシヒカリ	随時			12,272	12,464									
茨城コシヒカリ	随時			12,200										
栃木コシヒカリ	随時			12,353										

【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
青森まっしぐら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
宮城ひとめぼれ	随時									14,050			12,955	
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987	14,834	14,350	14,259	13,895	12,143	13,405	
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぶ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500									12,487	
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657			13,780				
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,794				16,726						13,996	
	取引会		16,755		16,650		16,747							

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：日本コメ市場（随時）の価格は、随時取引（取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引）の下期（16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期）の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

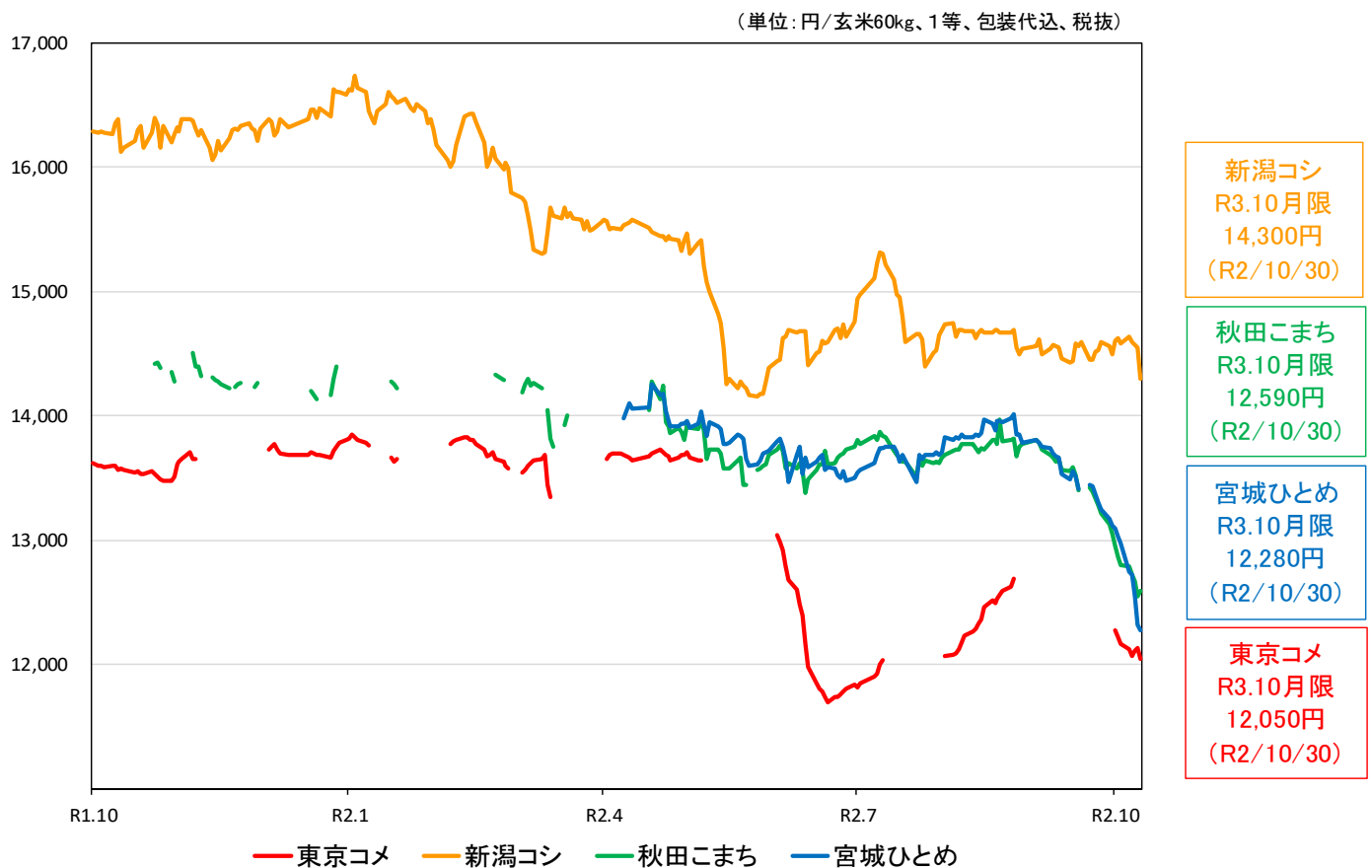
注2：日本コメ市場（取引会）の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格（取引数量により加重平均）であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

3 米の先物取引価格の推移

米の先物取引の情報については、農林水産省ホームページの「食料産業局」の分野別分類「商品先物取引」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html> 】

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、
東京コメが令和3年10月限12,050円（令和2年10月30日）、
新潟コシが令和3年10月限14,300円（令和2年10月30日）、
秋田こまちが令和3年10月限12,590円（令和2年10月30日）、
宮城ひとめが令和3年10月限12,280円（令和2年10月30日） となっている。

価格の推移（期先限月の終値）



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 令和元年10月21日から令和2年10月30日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまち、宮城ひとめは宮城県産ひとめぼれを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注5: 令和2年4月21日から、「秋田こまち17(既存の秋田こまちは小口化)」と「宮城ひとめ18」が新商品として追加。「秋田こまち17」を秋田こまち、「宮城ひとめ18」を宮城ひとめとして記載。

注6: 秋田こまちは、令和2年4月20日までが「秋田こまち(既存の秋田こまち)」、令和2年4月21日以降が「秋田こまち17」の価格の推移。

4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年11月分)

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

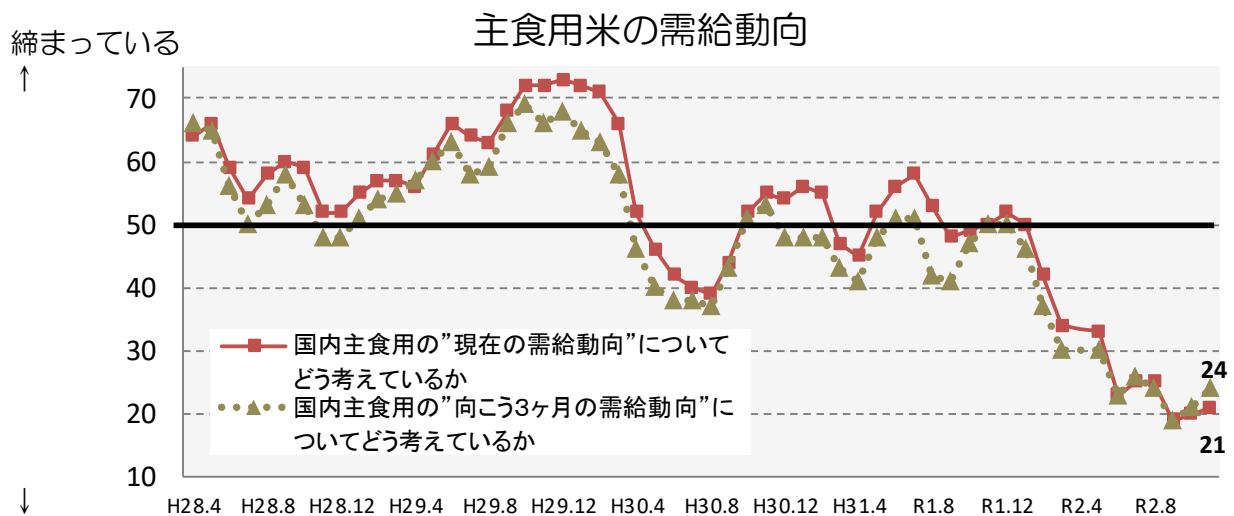
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和2年11月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比+1ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は+3ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比+1ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は+7ポイント。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I 前回からの増減 +1 (今月の数値 21)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前回からの増減 +3 (今月の数値 24)



↑

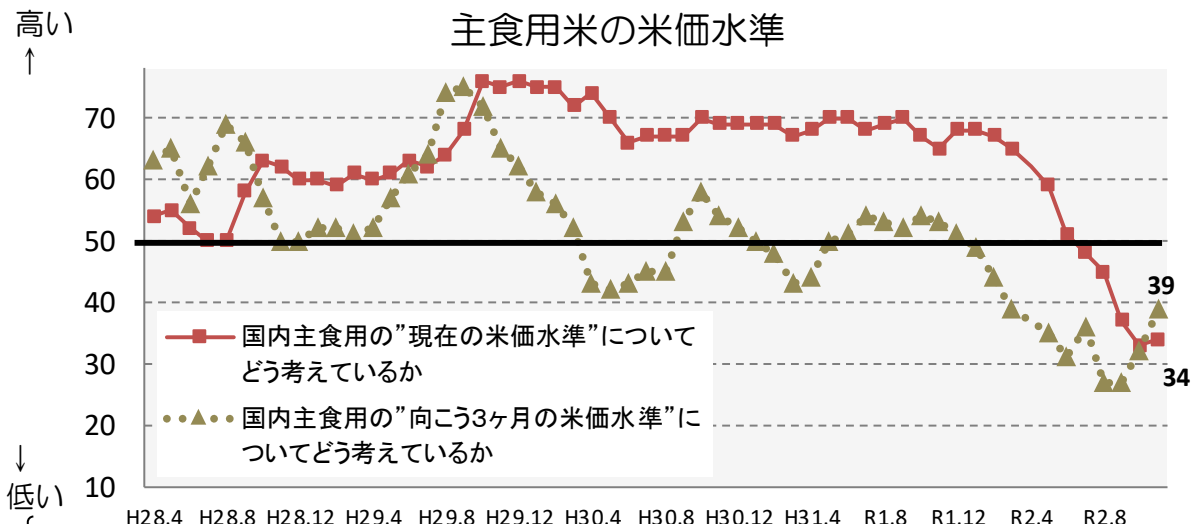
↓

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I 前回からの増減 +1 (今月の数値 34)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前回からの増減 +7 (今月の数値 39)



↑

↓

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

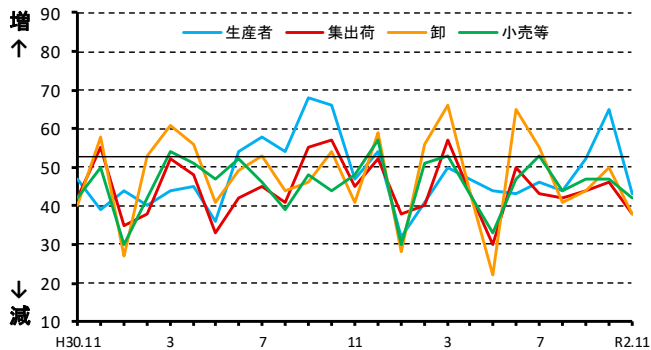
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲22	(今月の数値	43)
集出荷：前回からの増減	▲8	(今月の数値	38)
卸：前回からの増減	▲12	(今月の数値	38)
小売等：前回からの増減	▲5	(今月の数値	42)

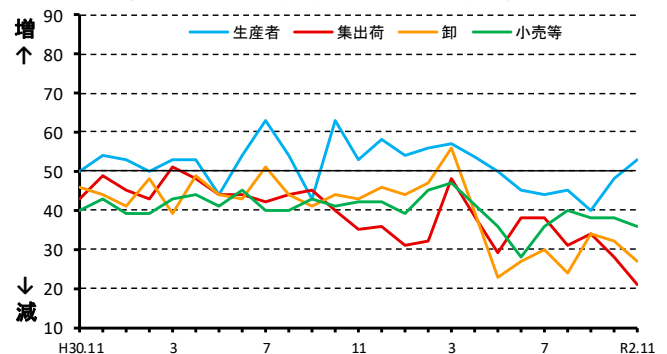
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+5	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	▲7	(今月の数値	21)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	27)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	36)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

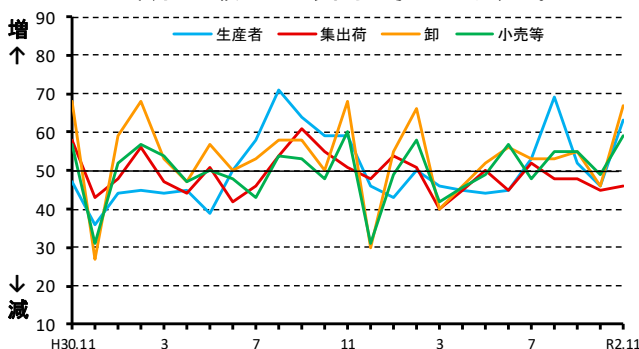
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+17	(今月の数値	63)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	46)
卸：前回からの増減	+21	(今月の数値	67)
小売等：前回からの増減	+10	(今月の数値	59)

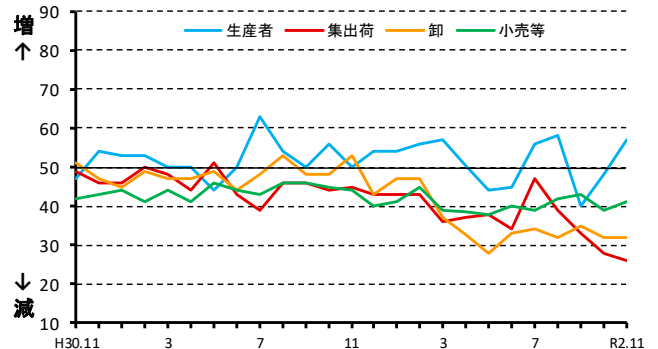
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+9	(今月の数値	57)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	26)
卸：前回からの増減	±0	(今月の数値	32)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	41)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

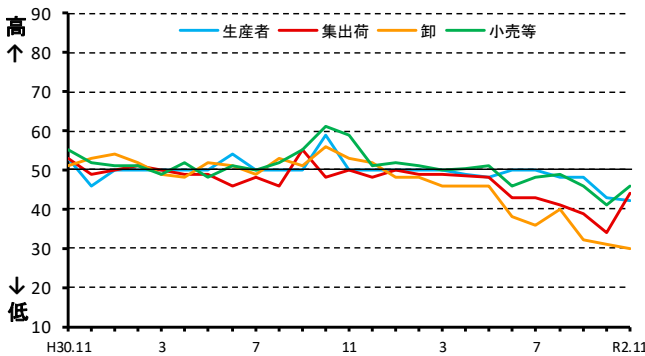
a. 先月との比較

生産者	： 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 2)
集出荷	： 前回からの増減	+10	(今月の数値	4 4)
卸	： 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	3 0)
小売等	： 前回からの増減	+ 5	(今月の数値	4 6)

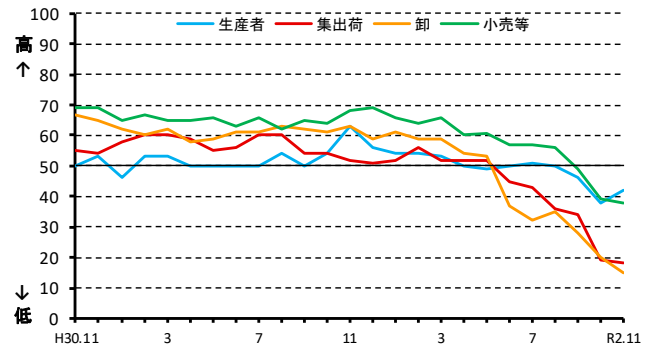
b. 前年同月との比較

生産者	： 前回からの増減	+ 4	(今月の数値	4 2)
集出荷	： 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	1 8)
卸	： 前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	1 5)
小売等	： 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	3 8)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

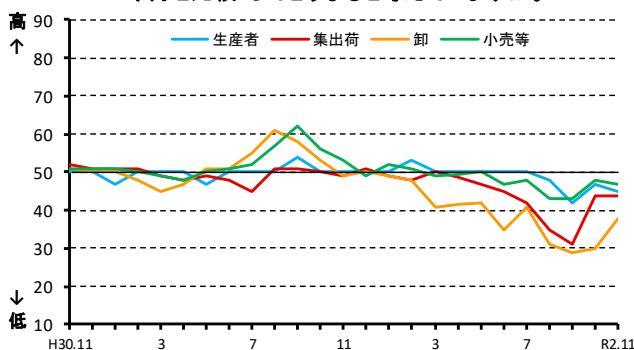
a. 今月との比較

生産者	： 前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	4 5)
集出荷	： 前回からの増減	± 0	(今月の数値	4 4)
卸	： 前回からの増減	+ 8	(今月の数値	3 8)
小売等	： 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 7)

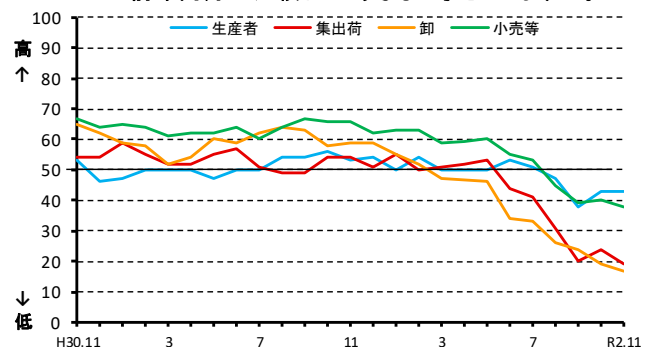
b. 前年同月との比較

生産者	： 前回からの増減	± 0	(今月の数値	4 3)
集出荷	： 前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	1 9)
卸	： 前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	1 7)
小売等	： 前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	3 8)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

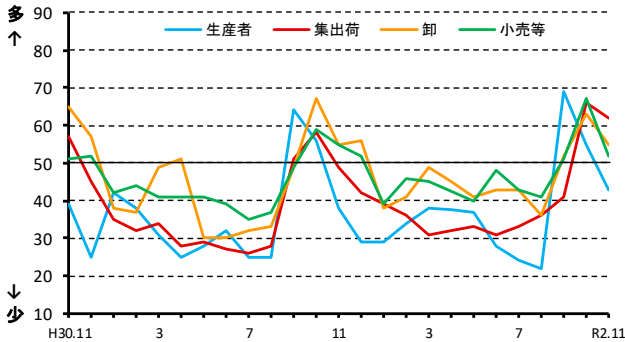
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲12	(今月の数値	43)
集出荷：前回からの増減	▲4	(今月の数値	62)
卸：前回からの増減	▲8	(今月の数値	55)
小売等：前回からの増減	▲15	(今月の数値	52)

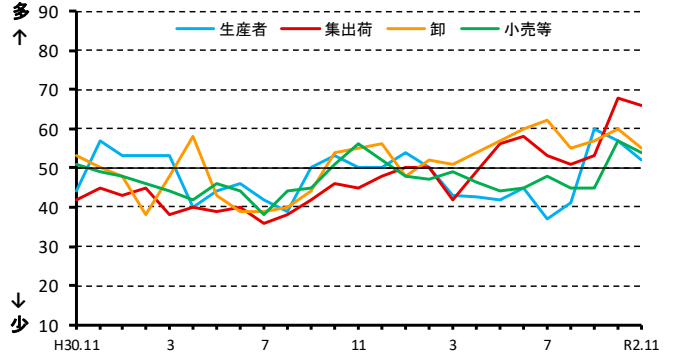
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲5	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	66)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	55)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	54)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

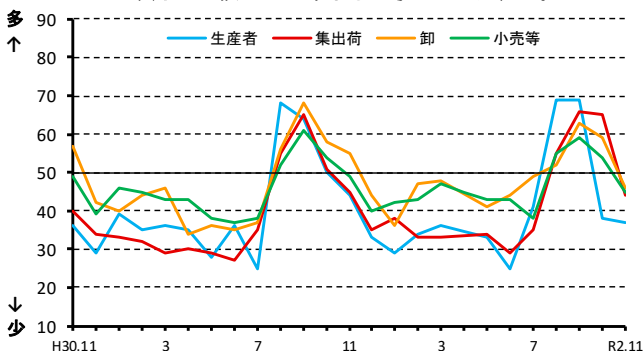
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲1	(今月の数値	37)
集出荷：前回からの増減	▲21	(今月の数値	44)
卸：前回からの増減	▲13	(今月の数値	46)
小売等：前回からの増減	▲9	(今月の数値	45)

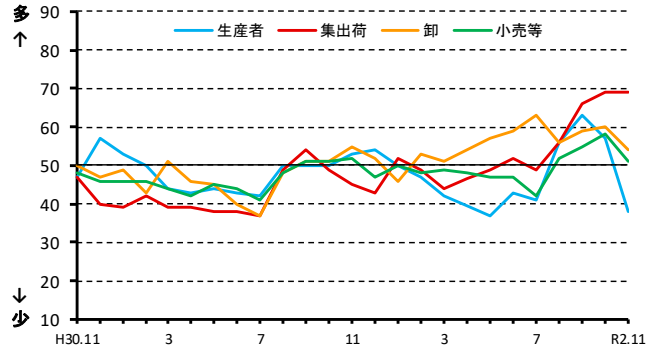
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲19	(今月の数値	38)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	69)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	54)
小売等：前回からの増減	▲7	(今月の数値	51)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他		作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.11	19%	11%	3%	50%	11%	5%	1%	R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%
H30.12	11%	13%	3%	57%	11%	4%	1%	R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%	R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%	R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%	R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%	R2.4	-	-	-	-	-	-	-
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%	R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%	R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%	R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%
R1.8	18%	14%	8%	48%	8%	4%	1%	R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%
R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%	R2.9	4%	40%	1%	38%	9%	7%	1%
R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%	R2.10	9%	37%	1%	39%	10%	4%	1%
								R2.11	5%	34%	2%	42%	10%	6%	1%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体

※米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、5月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

○有効回答数：138客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

集出荷業者／団体・・・・・・・・・・27

卸売業者（主に主食用米）・・・・31

小売業者／中食・外食業者・・・・47

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

IV 消費の動向

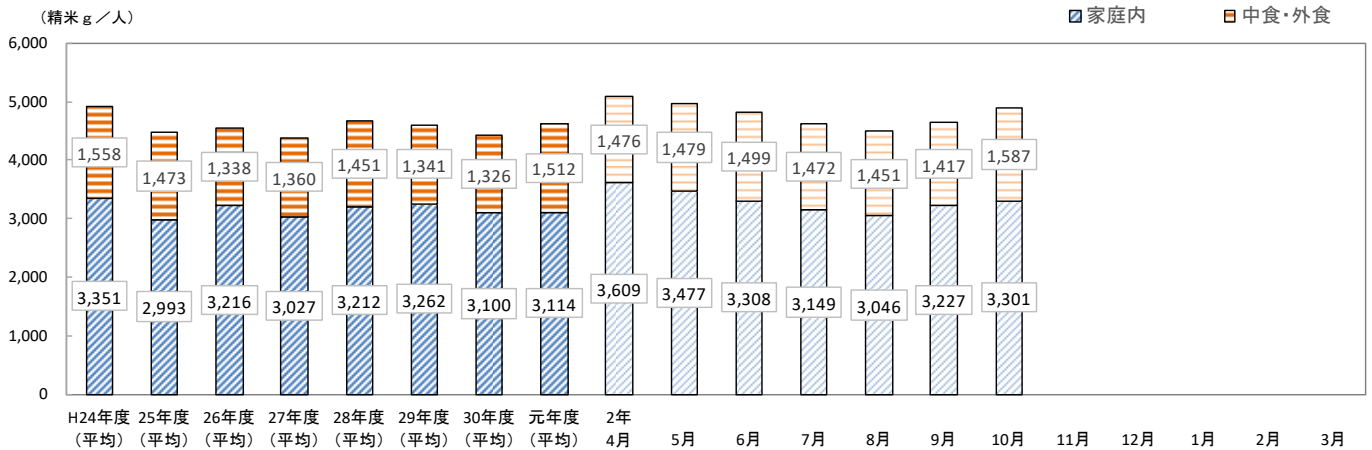
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
 【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和2年10月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月比±0.0%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比+0.5%、中食・外食では▲0.9%。

(1) 1人1ヵ月当たり精米消費量



(精米g/人、%)

	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計	家庭内	中・外食	中食	外食	合計	家庭内	中・外食	中食	外食	合計	家庭内	中・外食	中食	外食
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年 4月	5,085	3,609	1,476	1,095	382	100.0	71.0	29.0	21.5	7.5	3.3	11.6	▲12.7	11.8	▲46.2
5月	4,956	3,477	1,479	1,032	447	100.0	70.2	29.8	20.8	9.0	2.2	8.3	▲9.8	6.6	▲33.5
6月	4,807	3,308	1,499	969	531	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.9	0.5	11.9	▲14.9
7月	4,620	3,149	1,472	950	521	100.0	68.2	31.9	20.6	11.3	2.7	2.9	2.4	13.8	▲13.6
8月	4,496	3,046	1,451	935	515	100.0	67.7	32.3	20.8	11.5	6.5	9.5	0.7	13.7	▲16.8
9月	4,643	3,227	1,417	871	545	100.0	69.5	30.5	18.8	11.7	7.9	13.5	▲3.0	3.4	▲12.1
10月	4,888	3,301	1,587	992	595	100.0	67.5	32.5	20.3	12.2	0.0	0.5	▲0.9	3.3	▲7.2

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和2年10月分の有効調査世帯数は2,062世帯。

注2：平成24～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「インターネットショップ」が最も高く、次いで、「米穀専門店」、「産地直売所」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和2年10月の家庭内の月末在庫数量は、6.4kgとなっている。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6	
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6	
平成27年度	1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6	
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2	
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5	
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	
令和2年	4月	0.5	52.5	5.2	4.1	0.1	6.3	1.5	2.4	0.9	4.3	10.0	13.3	5.2
	5月	1.3	51.0	5.5	4.4	0.3	6.8	1.0	2.7	1.0	4.4	10.3	13.5	4.4
	6月	0.9	48.8	6.6	5.3	0.0	5.9	1.2	2.3	1.4	5.0	9.5	14.0	3.8
	7月	1.3	54.6	4.7	4.1	0.3	6.6	1.3	2.0	0.9	5.2	8.2	12.3	4.1
	8月	1.8	50.2	5.9	4.3	0.1	7.9	1.4	2.0	1.0	4.9	8.4	15.1	3.2
	9月	2.7	50.4	4.3	4.3	0.2	8.1	1.0	2.3	1.7	5.3	10.2	15.9	3.2
	10月	0.7	47.1	5.0	3.3	0.5	7.9	0.9	2.8	1.0	5.7	9.5	19.4	3.8

注：1 平成25～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 令和2年10月分の有効調査世帯数は1,286世帯。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年4月	※422	383	409	387	※506	445	385	456	※427	387	514	2,321
5月	521	413	360	341	※489	448	370	431	376	346	485	2,164
6月	※473	398	353	364	※1,500	475	420	447	401	353	486	2,049
7月	430	408	356	313	※312	419	435	552	※453	390	498	1,953
8月	501	396	380	386	※430	437	404	499	375	414	498	1,885
9月	517	395	396	381	※455	487	439	462	523	386	465	1,810
10月	※484	396	382	330	※460	403	※387	479	436	313	519	2,062

注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。

2 購入単価は消費税を除く本体価格である。

3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。

4 令和元年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4						6.4	3.2
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33						2.33	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

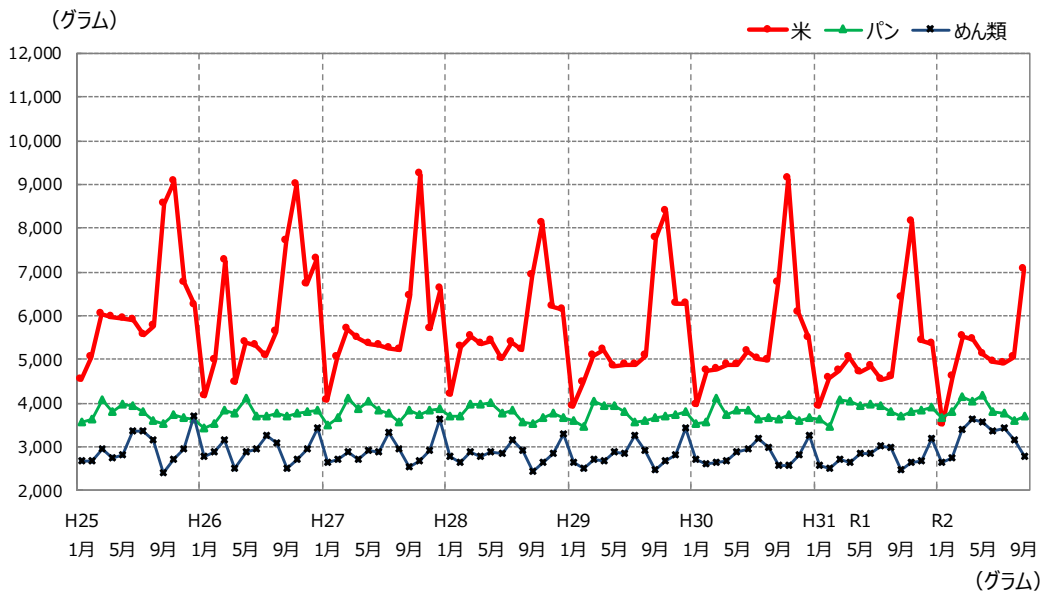
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和2年9月の米の購入数量は、対前年同月比+9.7%の7.0kg、パンは▲0.1%の3.7kg、めん類は+12.6%の2.8kg。

1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
9月	6,420	95.3%	3,693	101.3%	2,475	96.2%
10月	8,160	89.3%	3,806	102.3%	2,642	102.2%
11月	5,420	89.3%	3,830	106.3%	2,662	95.1%
12月	5,350	97.4%	3,892	106.5%	3,201	98.5%
令和2年 1月	3,520	90.0%	3,652	100.7%	2,629	102.0%
2月	4,600	100.9%	3,789	109.7%	2,751	109.5%
3月	5,540	116.9%	4,157	102.2%	3,382	124.3%
4月	5,440	108.2%	4,037	100.2%	3,637	138.0%
5月	5,110	108.5%	4,177	105.7%	3,578	124.9%
6月	4,940	102.1%	3,812	96.0%	3,351	117.7%
7月	4,900	107.9%	3,760	95.2%	3,416	113.7%
8月	5,060	110.2%	3,615	95.3%	3,167	106.2%
9月	7,040	109.7%	3,690	99.9%	2,786	112.6%

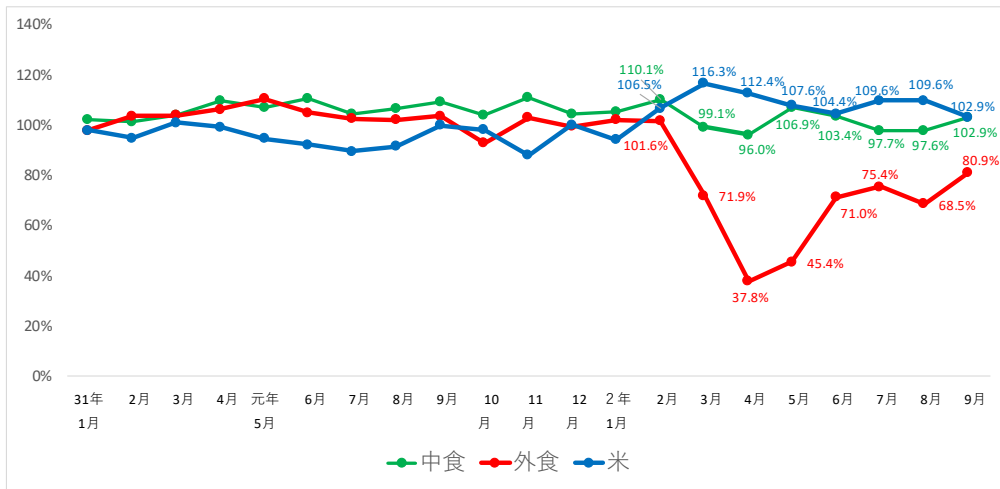
資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和2年は月間の購入数量・対前年同月比である。

注2：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和2年9月の中食の支出金額は、対前年同月比+2.9%、外食は▲19.1%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



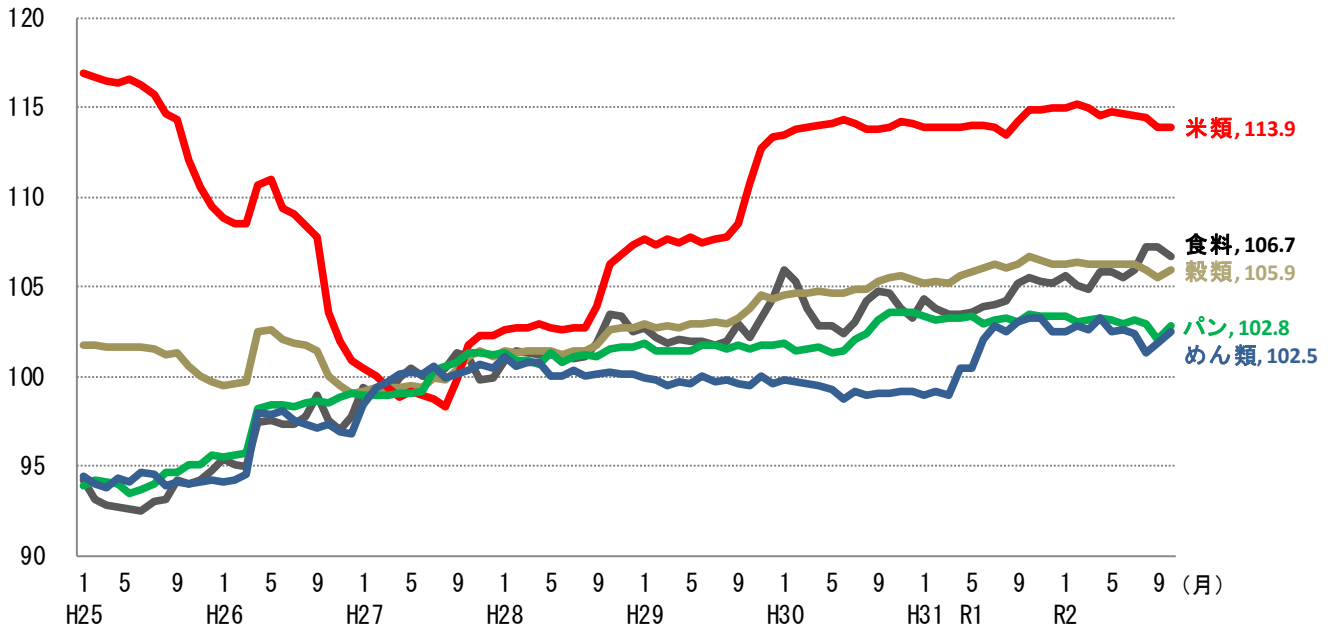
	穀類	中食				弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	麺類	他の穀類						
31年1月	99.8%	97.7%	102.7%	97.4%	97.9%	101.8%	100.2%	103.6%	99.4%	97.9%	103.8%
2月	101.2%	94.6%	106.9%	99.8%	99.7%	101.1%	101.0%	97.9%	108.8%	97.8%	104.4%
3月	104.4%	100.9%	105.7%	106.2%	105.6%	103.8%	102.2%	103.3%	106.9%	102.1%	105.9%
4月	104.0%	99.2%	109.1%	101.1%	105.0%	109.4%	112.6%	107.1%	109.7%	101.5%	111.4%
元年5月	101.5%	94.3%	106.3%	103.0%	99.4%	106.8%	109.2%	102.1%	111.1%	103.4%	108.9%
6月	99.8%	92.0%	105.8%	98.5%	106.5%	110.3%	111.9%	106.8%	109.7%	105.0%	114.5%
7月	100.4%	89.4%	111.1%	97.3%	101.2%	104.4%	106.2%	102.6%	107.3%	105.6%	102.6%
8月	101.0%	91.5%	108.1%	102.5%	96.2%	106.5%	104.1%	108.4%	107.0%	104.7%	107.8%
9月	99.7%	99.7%	101.1%	98.0%	97.6%	108.8%	109.9%	109.5%	111.3%	106.0%	107.5%
10月	102.5%	98.0%	102.2%	111.6%	109.0%	103.8%	97.4%	105.4%	105.7%	108.8%	107.1%
11月	98.5%	87.8%	103.8%	105.0%	102.3%	110.6%	104.4%	111.8%	113.6%	113.1%	114.6%
12月	101.3%	99.9%	101.0%	104.7%	100.0%	104.1%	103.8%	102.8%	109.5%	105.3%	104.0%
2年1月	98.8%	94.1%	99.3%	102.9%	100.2%	104.9%	102.0%	105.9%	116.7%	102.6%	104.2%
2月	107.0%	106.5%	102.9%	114.1%	113.8%	110.1%	113.0%	106.8%	112.4%	107.3%	111.7%
3月	110.6%	116.3%	96.5%	127.6%	124.8%	99.1%	90.1%	100.8%	87.7%	94.4%	113.9%
4月	111.5%	112.4%	93.7%	138.0%	143.4%	96.0%	94.2%	93.7%	76.3%	83.7%	112.5%
5月	110.4%	107.6%	98.9%	127.9%	140.8%	106.9%	116.5%	106.4%	82.0%	94.3%	111.2%
6月	104.2%	104.4%	96.1%	116.3%	110.4%	103.4%	104.1%	106.6%	90.4%	96.7%	107.1%
7月	103.9%	109.6%	96.4%	110.0%	104.1%	97.7%	97.6%	101.4%	86.6%	93.7%	100.4%
8月	104.5%	109.6%	95.1%	111.5%	119.2%	97.6%	99.4%	96.2%	89.2%	95.3%	101.1%
9月	104.0%	102.9%	98.7%	115.9%	103.0%	102.9%	98.5%	106.4%	95.5%	101.3%	107.9%

	外食	日本そば・うどん	中華そば	他の麺類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的
		外食	外食	外食	外食	外食	外食	外食	外食	外食	外食
31年1月	97.8%	99.4%	114.3%	114.7%	97.6%	96.2%	100.4%	89.6%	89.2%	106.0%	98.2%
2月	103.4%	109.6%	109.1%	116.7%	87.1%	98.2%	98.5%	83.1%	100.8%	112.1%	114.8%
3月	103.6%	110.0%	113.3%	104.9%	88.1%	99.5%	105.9%	88.9%	96.5%	130.8%	110.7%
4月	106.1%	103.5%	108.6%	122.0%	103.4%	101.5%	93.0%	99.9%	109.3%	123.0%	109.3%
元年5月	110.2%	118.4%	110.4%	128.4%	100.2%	113.9%	90.0%	98.3%	123.0%	112.9%	113.1%
6月	104.8%	112.0%	110.9%	112.9%	101.7%	105.1%	106.6%	95.9%	93.4%	121.6%	105.9%
7月	102.4%	103.3%	112.4%	125.8%	96.9%	106.7%	106.9%	93.6%	84.8%	106.2%	103.7%
8月	101.8%	108.0%	110.1%	123.5%	101.6%	96.8%	92.0%	93.3%	95.9%	102.3%	105.3%
9月	103.3%	119.0%	109.8%	121.6%	117.9%	96.8%	85.0%	92.4%	101.3%	115.0%	103.2%
10月	92.8%	91.4%	103.7%	94.3%	96.1%	95.6%	98.0%	80.5%	65.2%	114.3%	94.1%
11月	102.7%	102.3%	120.0%	120.8%	98.6%	100.2%	101.4%	95.0%	106.8%	109.8%	103.3%
12月	99.2%	101.4%	93.9%	105.6%	97.2%	96.1%	119.2%	87.9%	112.5%	96.2%	101.3%
2年1月	101.9%	112.3%	99.5%	88.1%	96.7%	100.6%	99.8%	93.2%	111.4%	102.3%	105.5%
2月	101.6%	107.3%	103.3%	104.6%	103.0%	102.1%	103.1%	104.1%	121.1%	110.8%	96.2%
3月	71.9%	74.6%	77.0%	68.7%	79.3%	75.0%	66.5%	62.1%	77.3%	97.5%	67.8%
4月	37.8%	29.4%	38.5%	26.3%	41.4%	37.3%	43.0%	26.3%	24.0%	121.0%	35.9%
5月	45.4%	34.0%	48.8%	36.2%	60.6%	45.8%	60.2%	37.3%	35.8%	141.4%	38.2%
6月	71.0%	68.9%	75.2%	60.7%	85.5%	72.8%	85.9%	67.7%	89.4%	97.5%	62.1%
7月	75.4%	79.0%	80.6%	59.4%	79.8%	83.7%	69.9%	65.0%	85.4%	101.3%	70.0%
8月	68.5%	64.9%	71.7%	56.7%	76.3%	71.6%	79.3%	66.8%	72.3%	111.2%	61.1%
9月	80.9%	79.4%	84.0%	73.2%	90.4%	92.2%	105.5%	75.5%	97.4%	108.9%	68.6%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年10月の米類の指数は対前年同月比 ▲0.8%の113.9ポイント。



(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成25年(平均)	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年(平均)	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年(平均)	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年(平均)	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年(平均)	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年(平均)	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年(平均)	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年 1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%
3月	104.9	1.4%	106.3	1.0%	114.9	0.9%	115.6	0.9%	103.1	▲0.1%	102.6	3.7%
4月	105.8	2.1%	106.3	0.7%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.2	0.0%	103.2	2.8%
5月	105.8	2.1%	106.3	0.5%	114.7	0.6%	115.3	0.5%	103.1	▲0.1%	102.5	2.0%
6月	105.5	1.5%	106.2	0.2%	114.6	0.5%	115.2	0.4%	102.9	▲0.1%	102.6	0.5%
7月	105.9	1.8%	106.3	0.1%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.1	0.0%	102.4	▲0.4%
8月	107.2	2.9%	105.9	▲0.1%	114.4	0.8%	115.0	0.6%	102.9	▲0.3%	101.3	▲1.2%
9月	107.2	1.9%	105.5	▲0.8%	113.9	▲0.3%	114.5	▲0.3%	102.1	▲0.9%	101.8	▲1.2%
10月	106.7	1.1%	105.9	▲0.7%	113.9	▲0.8%	114.4	▲1.0%	102.8	▲0.7%	102.5	▲0.7%

資料：総務省「消費者物価指数」平成27年基準、品目別価格指数（全国）

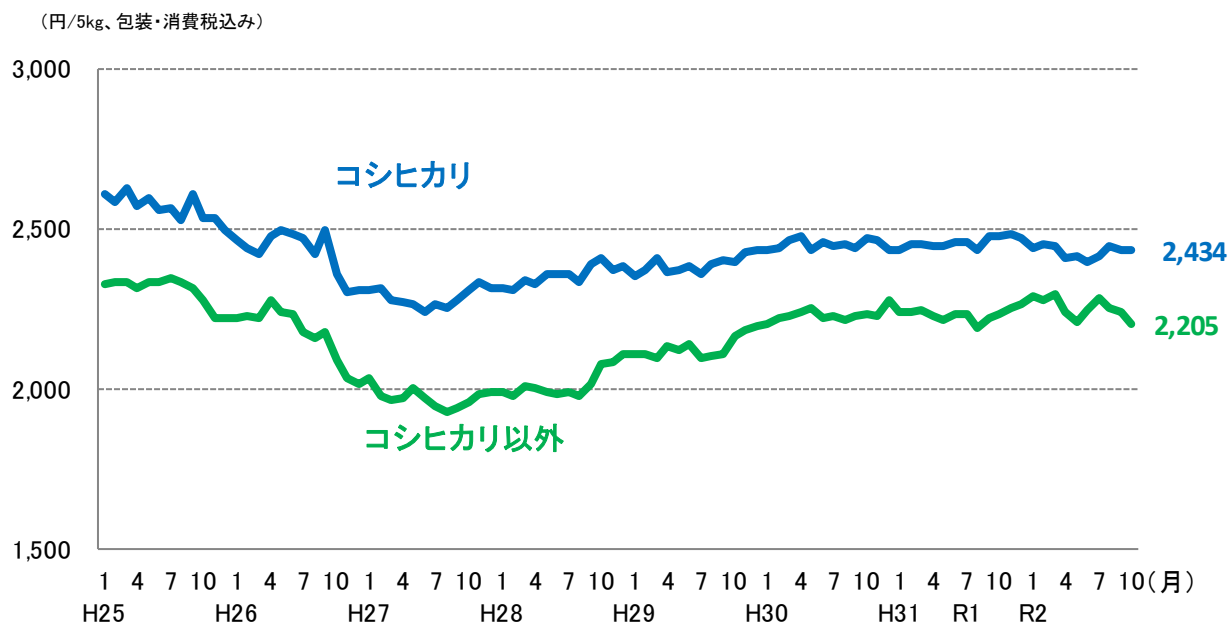
注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

注3：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和2年10月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲1.6%の2,434円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比▲1.3%の2,205円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417	2,448	2,431	2,434		
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%	0.7%	▲1.8%	▲1.6%		
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284	2,255	2,241	2,205		
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%	2.9%	0.8%	▲1.3%		

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

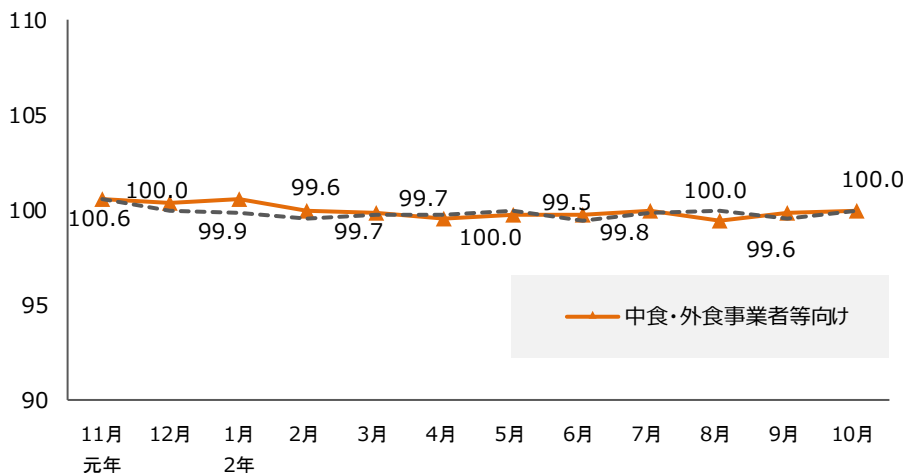
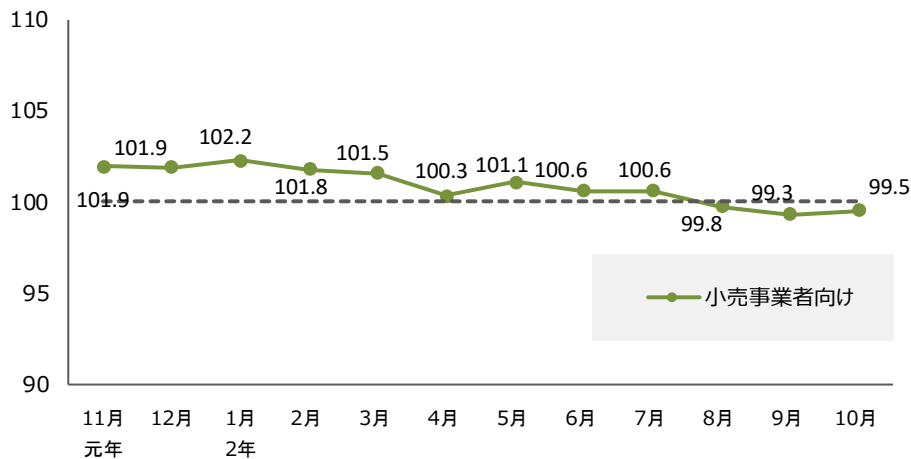
5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

- 令和2年10月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け103%、中食・外食事業者等向け92%で販売数量は98%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年10月の販売価格の値動きは、小売事業者向け99.5、中食・外食事業者等向け100.0。

1 販売数量の動向 (前年同月比)

	元年 11月	12月	1月	2年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
小売事業者向け	99%	99%	101%	110%	124%	110%	95%	104%	103%	105%	102%	103%
中食・外食事業者等向け	95%	97%	98%	99%	88%	75%	76%	89%	86%	85%	89%	92%
販売数量計	97%	98%	100%	105%	108%	94%	86%	97%	95%	95%	96%	98%

2 販売価格の動向 (前年同月の価格を基準にした値動き)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

6 小売価格の推移 (POSデータ)

うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位:円/5kg袋販売時換算(消費税込み)、トン

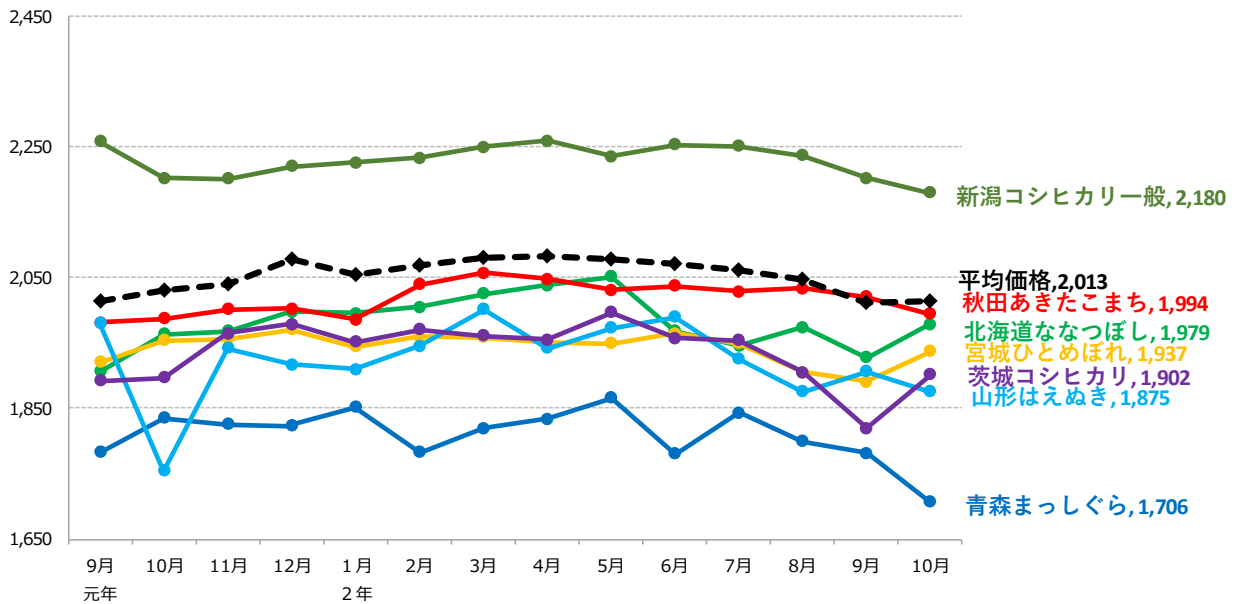
	販 売 価 格														販売数量		
	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月差	前年 同月差	2年 10月	元年11月 ~2年10月
北海道 ななつぼし	1,963	1,968	1,998	1,995	2,009	2,025	2,038	2,051	1,968	1,946	1,974	1,928	1,979	+ 51	+ 16	256	3,561
北海道 ゆめびりか	2,395	2,388	2,408	2,416	2,415	2,429	2,455	2,453	2,438	2,430	2,428	2,401	2,408	+ 7	+ 13	210	2,485
北海道 きらら397	1,898	1,920	1,952	1,911	1,958	1,968	1,922	1,929	1,935	1,917	1,916	1,898	1,866	▲ 32	▲ 32	29	570
北海道 ふっくりんこ	2,145	2,188	2,180	2,188	2,212	2,209	2,214	2,218	2,199	2,195	2,202	2,181	2,170	▲ 11	+ 25	36	484
青森 つがるロマン	1,845	1,857	1,926	1,934	1,912	1,920	1,870	1,906	1,910	1,914	1,895	1,893	1,851	▲ 42	+ 6	9	214
青森 まっしぐら	1,835	1,825	1,824	1,852	1,785	1,819	1,834	1,866	1,780	1,843	1,799	1,781	1,706	▲ 75	▲ 129	7	161
青森 青天の霹靂	2,222	2,250	2,291	2,302	2,324	2,334	2,327	2,315	2,277	2,321	2,292	2,240	2,214	▲ 27	▲ 8	12	153
岩手 ひとめぼれ	1,995	1,987	1,990	1,969	1,982	2,011	2,003	1,968	1,985	1,960	1,890	1,863	1,905	+ 41	▲ 90	97	1,227
岩手 あきたこまち	1,922	1,836	1,866	1,827	1,824	1,852	1,859	1,839	1,858	1,832	1,826	1,901	1,886	▲ 14	▲ 36	3	226
岩手 銀河のしずく	2,035	2,026	2,009	2,015	1,981	2,087	2,078	2,030	2,072	2,040	2,030	2,016	2,013	▲ 3	▲ 22	14	160
宮城 ひとめぼれ	1,954	1,956	1,971	1,944	1,960	1,959	1,952	1,949	1,964	1,949	1,905	1,891	1,937	+ 46	▲ 17	101	1,693
宮城 つや姫	2,099	2,080	2,088	2,052	2,064	2,082	2,078	2,068	2,059	2,059	1,962	1,973	1,874	▲ 99	▲ 225	17	284
秋田 あきたこまち	1,987	2,002	2,003	1,986	2,031	2,057	2,048	2,031	2,037	2,029	2,034	2,020	1,994	▲ 26	+ 7	169	2,278
秋田 ひとめぼれ	1,749	1,713	1,803	1,838	1,852	1,922	1,912	1,913	1,884	1,873	1,808	1,912	1,866	▲ 47	+ 117	8	329
山形 つや姫	2,449	2,423	2,459	2,482	2,529	2,445	2,550	2,499	2,521	2,547	2,554	2,450	2,457	+ 8	+ 8	50	756
山形 はえぬき	1,754	1,942	1,917	1,910	1,943	2,002	2,002	2,002	1,989	1,925	1,875	1,906	1,875	▲ 31	+ 121	18	372
山形 雪若丸	2,107	2,137	2,135	2,070	2,081	2,064	2,046	2,047	2,035	2,008	2,019	1,997	1,997	+ 0	▲ 110	23	212
茨城 コシヒカリ	1,897	1,965	1,979	1,952	1,973	1,961	1,955	1,997	1,958	1,954	1,905	1,819	1,902	+ 83	+ 5	16	244
茨城 あきたこまち	1,894	1,929	1,900	1,877	1,881	1,929	1,970	1,948	1,877	1,853	1,872	1,866	1,793	▲ 73	▲ 101	80	357
栃木 コシヒカリ	1,955	2,025	2,056	2,082	1,950	1,967	2,021	2,020	2,027	1,958	2,035	2,036	1,882	▲ 153	▲ 73	32	287
栃木 なすひかり	1,933	1,949	1,919	1,858	1,959	1,963	1,945	1,920	1,951	1,975	1,856	1,862	1,795	▲ 66	▲ 138	14	164
千葉 コシヒカリ	2,023	1,991	2,018	2,033	2,064	2,095	2,095	2,090	2,085	2,076	2,067	1,907	1,952	+ 45	▲ 71	30	392
千葉 ふさこがね	1,778	1,769	1,791	1,754	1,768	1,809	1,815	1,781	1,758	1,749	1,748	1,764	1,704	▲ 59	▲ 74	22	260
千葉 ふさおとめ	1,843	1,829	1,819	1,851	1,857	1,896	1,906	1,894	1,908	1,904	1,855	1,776	1,664	▲ 113	▲ 179	64	468
新潟 コシヒカリ 一般	2,202	2,201	2,220	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	▲ 23	▲ 22	180	2,111
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,791	2,772	2,698	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	▲ 72	▲ 135	39	464
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,232	2,218	2,300	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	▲ 99	+ 30	13	180
新潟 こしいぶき	1,845	1,794	1,796	1,813	1,822	1,865	1,855	1,868	1,887	1,859	1,836	1,859	1,775	▲ 85	▲ 70	63	556
新潟 新之助	2,477	2,501	2,488	2,422	2,493	2,507	2,496	2,538	2,356	2,388	2,474	2,328	2,278	▲ 50	▲ 199	17	148
富山 コシヒカリ	2,101	2,060	2,075	2,098	2,135	2,139	2,171	2,111	2,117	2,116	2,091	2,055	2,063	+ 8	▲ 38	89	1,207
石川 コシヒカリ	2,085	2,060	2,101	2,047	2,073	2,115	2,085	2,111	2,104	2,070	2,119	2,101	2,080	▲ 21	▲ 5	47	842
石川 ゆめみづほ	1,923	1,893	1,941	1,908	2,065	2,081	1,891	2,029	1,756	1,932	1,965	1,834	1,787	▲ 46	▲ 136	14	145
福井 コシヒカリ	2,010	2,045	2,111	2,085	2,017	2,218	2,104	2,101	2,139	2,019	2,099	2,041	1,998	▲ 43	▲ 12	27	265
福井 ハナエチゼン	1,931	1,941	1,935	1,928	1,957	1,957	1,949	1,959	1,972	1,941	1,858	1,897	1,884	▲ 13	▲ 47	17	188
山梨 コシヒカリ	2,293	2,320	2,398	2,299	2,336	2,298	2,342	2,332	2,317	2,312	2,297	2,283	2,289	+ 6	▲ 4	16	217
長野 コシヒカリ	1,915	1,925	1,933	1,948	1,965	1,998	2,016	2,032	1,974	1,953	1,925	1,978	1,922	▲ 55	+ 7	50	566
愛知 コシヒカリ	2,099	2,115	2,178	2,162	2,216	2,237	2,216	2,237	2,272	2,268	2,226	2,088	2,131	+ 43	+ 32	17	156
三重 コシヒカリ 一般	1,979	2,022	2,066	1,926	2,050	2,036	2,050	2,025	1,970	2,023	1,989	1,974	1,875	▲ 99	▲ 104	53	487
三重 コシヒカリ 伊賀	2,147	2,151	2,194	2,165	2,175	2,168	2,189	2,200	2,215	2,248	2,213	2,087	2,089	+ 2	▲ 58	14	266
島根 コシヒカリ	2,237	2,186	2,312	2,251	2,291	2,367	2,322	2,247	2,259	1,948	2,307	2,249	2,342	+ 93	+ 105	5	91
岡山 コシヒカリ	2,016	1,993	2,032	2,003	2,042	2,065	2,080	2,081	2,068	2,081	2,067	2,049	2,045	▲ 3	+ 29	12	129
愛媛 コシヒカリ	2,089	2,054	2,109	2,072	2,108	2,107	2,118	2,117	2,110	2,108	2,111	2,110	2,097	▲ 13	+ 8	13	150
福岡 元気つくし	2,090	2,164	2,193	2,190	2,297	2,262	2,246	2,241	2,257	2,215	2,240	2,226	2,217	▲ 9	+ 127	8	133
佐賀 さがびより	1,972	2,009	2,015	1,837	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	12
大分 ヒノヒカリ	1,858	1,877	1,912	1,897	1,896	1,934	2,004	2,004	2,010	1,984	2,010	1,941	1,968	+ 28	+ 110	7	171
宮崎 コシヒカリ	1,728	1,557	1,302	1,245	1,290	1,300	1,390	1,557	1,612	1,805	1,940	1,805	1,755	▲ 51	+ 27	7	189
宮崎 ヒノヒカリ	1,815	1,818	1,825	1,823	1,839	1,831	1,879	1,923	1,940	1,923	1,966	1,922	1,822	▲ 100	+ 7	21	239
全POS取引平均価格	2,031	2,039	2,079	2,054	2,065	2,080	2,082	2,078	2,070	2,061	2,048	2,012	2,013	+ 1	▲ 18		
全POS取引数量(t)	2,890	2,732	2,971	2,550	3,223	3,900	3,652	3,249	3,272	3,279	3,582	3,380	3,155	▲ 225	+ 265	3,155	38,943

資料: (株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1: (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2: POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3: POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4: 全POS取引平均価格は、POSデータを把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5: 価格に含む消費税は8%である。

- 令和2年10月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比+1円(+0.0%)、対前年同月比▲18円(▲0.9%)の2,013円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

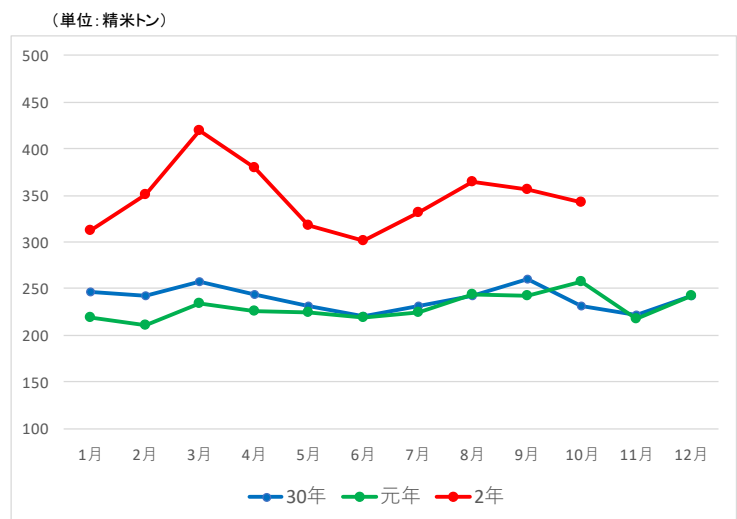
注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量(精米換算)】

	(単位:精米トン、%)			
	30年	元年 ①	2年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	246	219	313	143%
2月	243	211	351	166%
3月	257	234	420	179%
4月	244	226	380	168%
5月	232	225	318	141%
6月	221	219	302	138%
7月	231	225	331	147%
8月	243	244	365	150%
9月	260	242	356	147%
10月	232	257	342	133%
11月	222	217		
12月	242	243		



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

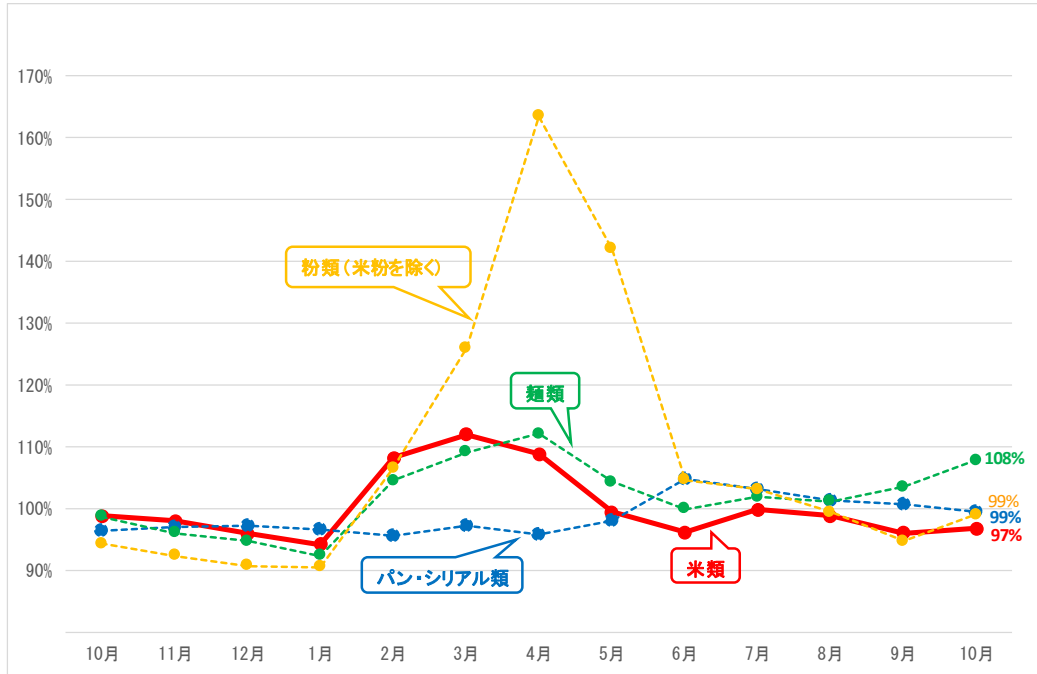
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】

新型コロナウイルスによる休校要請や外出自粛の要請を受け、米類の商品販売個数については、2月から4月の売上が大きく伸びた。

その後、4月下旬以降の販売個数は前年と同程度で推移している。



分類コード	分類名	主な分類基準	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
米類	米類		103%	100%	96%	94%	108%	112%	109%	99%	96%	100%	99%	96%	97%
	米	精米、玄米、もち米	94%	99%	97%	97%	113%	113%	103%	96%	92%	96%	100%	90%	102%
	包装餅	切り餅、板餅	99%	99%	95%	89%	106%	136%	165%	143%	113%	127%	113%	103%	107%
	米飯加工品	無菌パックの白飯、レトルトタイプ、おかゆ、赤飯	108%	100%	100%	94%	113%	118%	115%	96%	94%	100%	102%	101%	93%
	冷凍米飯加工品	チャーハン、ピラフ、焼きおにぎり	105%	100%	94%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	95%	95%
パン・シリアル類	パン・シリアル類		96%	97%	97%	97%	96%	97%	96%	98%	105%	103%	101%	101%	99%
	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	97%	98%	97%	97%	97%	99%	93%	94%	103%	103%	100%	98%	99%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	97%	97%	97%	97%	94%	95%	97%	99%	105%	103%	102%	103%	100%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	95%	96%	99%	92%	100%	103%	104%	106%	111%	105%	101%	99%	99%
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	94%	93%	103%	107%	83%	77%	73%	76%	88%	91%	122%	114%	105%
麺類	麺類		99%	96%	95%	92%	105%	109%	112%	104%	100%	102%	101%	103%	108%
	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	100%	92%	94%	90%	100%	122%	128%	110%	97%	112%	104%	103%	101%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	101%	94%	93%	90%	105%	105%	102%	93%	98%	103%	95%	105%	92%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば、焼きそば	96%	99%	96%	94%	105%	109%	120%	115%	103%	100%	106%	104%	103%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	100%	95%	95%	98%	121%	145%	161%	120%	96%	95%	102%	94%	94%
冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの種類	98%	99%	98%	98%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	105%	102%	104%	
粉類(米粉を除く)	粉類(米粉を除く)		94%	92%	91%	90%	107%	126%	163%	142%	105%	103%	99%	95%	99%
	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	92%	92%	89%	89%	108%	122%	169%	146%	96%	92%	93%	86%	94%
	パン粉	パン粉、生パン粉	90%	92%	92%	90%	102%	109%	120%	114%	97%	99%	99%	93%	103%
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	100%	93%	91%	92%	109%	141%	195%	164%	119%	116%	104%	103%	100%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	100%	91%	113%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	93%	95%	96%	92%	105%	108%	176%	212%	116%	115%	106%	87%	153%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	99%	101%	100%
	清酒		84%	93%	93%	91%	99%	95%	97%	102%	97%	101%	99%	86%	112%
	焼酎乙類		82%	92%	92%	93%	100%	98%	102%	106%	99%	99%	99%	86%	113%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

V 輸出入の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

1 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

(単位:千玄米トン)

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度 (11月末現在)	143	118	14	-	2	277	261	17

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
令和2年4～6月分 （長期契約）	19,913	平成2年4～7月分	1,934
4月分 （月別契約）	340	令和2年8～11月分	3,132
5月分 （月別契約）	606	令和2年12～令和3年3月分	
6月分 （月別契約）	738		
7～9月分 （長期契約）	18,410		
7月分 （月別契約）	186		
8月分 （月別契約）	273		
9月分 （月別契約）	672		
10～12月分 （長期契約）			
10月分 （月別契約）			
11月分 （月別契約）			
12月分 （月別契約）			
令和3年1～3月分 （長期契約）			
1月分 （月別契約）			
2月分 （月別契約）			
3月分 （月別契約）			
小計	41,138	小計	5,066
合計	46,204		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和2年9月25日)	一般米	878		80		80				402		1,440
	碎精米	1,780		320		200				200		2,500
	計	2,658		400		280				602		3,940
第2回 (令和2年10月28日)	一般米	1,582	40	336		360				751		3,069
	碎精米	1,950		400						150		2,500
	計	3,532	40	736		360				901		5,569
第3回 (令和2年11月25日)	一般米	3,282	160	524	54	320				635		4,975
	碎精米	2,000	100	250						150		2,500
	計	5,282	260	774	54	320				785		7,475
令和2年度計	一般米	5,742	200	940	54	760	0	0	0	1,788	0	9,484
	碎精米	5,730	100	970	0	200	0	0	0	500	0	7,500
	計	11,472	300	1,910	54	960	0	0	0	2,288	0	16,984
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	碎精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	碎精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	碎精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	碎精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	碎精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

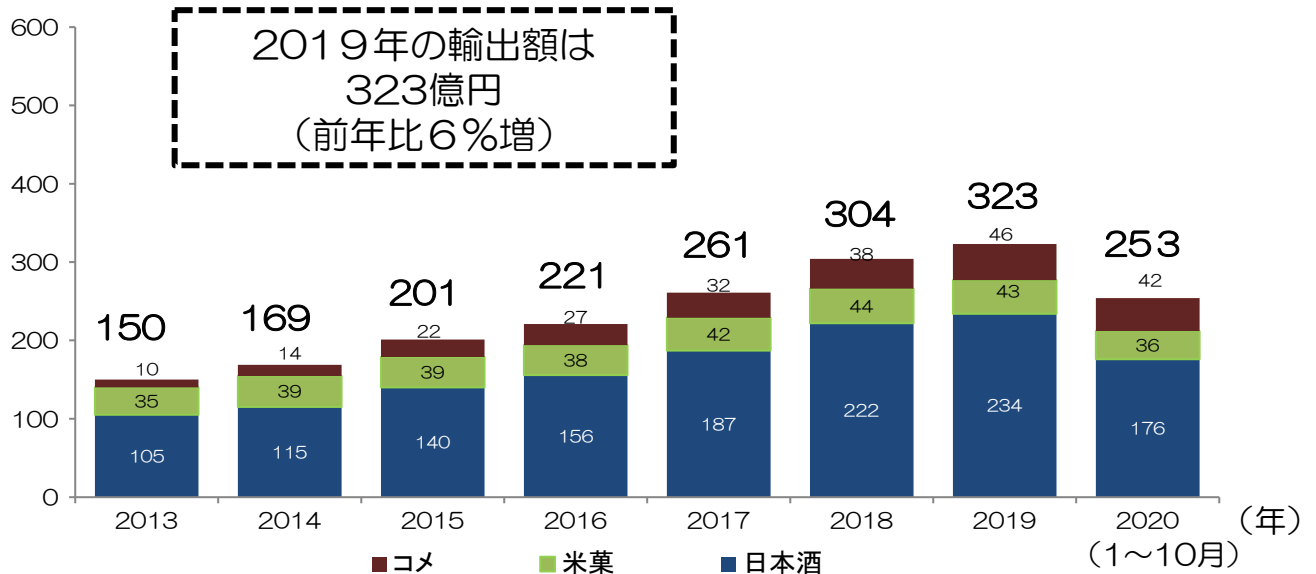
		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 (令和2年5月26日)	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 (令和2年7月28・29日)	一般米	40	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	40	
第3回 (令和2年9月29日)	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第4回 (令和2年11月27日)	一般米	555	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	555	
令和2年度計	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 (参考)	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 (参考)	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 2019年のコメ・コメ加工品の輸出額は323億円（前年比6%増）。
- うちコメの輸出は前年比23%増の46億円（数量では17,381トン、前年比26%増）。特に香港・シンガポール・米国・中国向けの輸出が大幅に増加。
- 2020年3月31日に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画において、2030年の農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円と設定。うちコメの輸出額は261億円が見込まれている。

(億円) コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品目名		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年1~10月		(参考) 主な輸出国
						数量	対前年同期比	
コメ・コメ加工品	数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	27,561トン	-1%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	221億円	261億円	304億円	323億円	253億円	-3%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	15,488トン	+16%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 中国
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	42億円	+19%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	3,355トン	+1%	アメリカ 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア
	原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	2,851トン	+1%	
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	36億円	+2%	
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	16,372 キロリットル	-22%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国 シンガポール
	原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	9,222トン	-22%	
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	176億円	-8%	

資料: 財務省「貿易統計」(政府による食料援助を除く。)
注: 数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

(1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2019年の商業用の米の輸出は、輸出数量が17,381トン（対前年比+26%）、輸出金額が約46億円（対前年比+23%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年1～10月の商業用の米の輸出は輸出数量が15,488トン（対前年同期比+16%）、輸出金額が約42億円（対前年同期比+19%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～10月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+18%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	15,488 (+16%)	4,174 (+19%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	5,631 (+30%)	1,468 (+34%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	2,949 (-2%)	625 (+1%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,571 (+2%)	445 (+7%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	1,433 (+57%)	437 (+43%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	769 (+24%)	244 (+7%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	888 (+42%)	275 (+47%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	469 (-6%)	122 (-1%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	335 (-6%)	97 (-7%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	103 (-26%)	31 (-28%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	135 (+18%)	49 (+15%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	129 (-28%)	32 (-27%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	231 (-1%)	38 (-4%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	112 (+22%)	46 (+29%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	159 (+45%)	48 (+24%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	90 (+15%)	39 (+16%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	182 (+69%)	42 (+83%)
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	67 (-18%)	23 (+8%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	34 (-33%)	16 (-24%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	—	—
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	32 (-3%)	19 (+28%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	169	77

(参考)EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	525 (-34%)	178 (-27%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

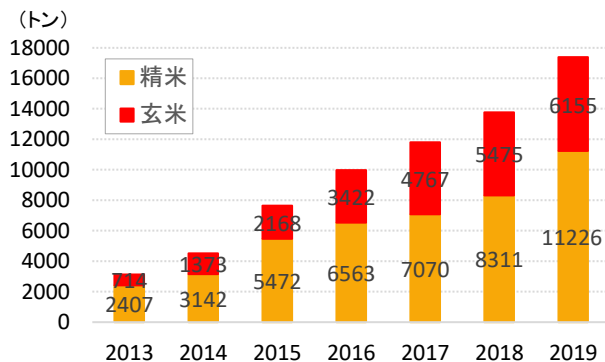
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

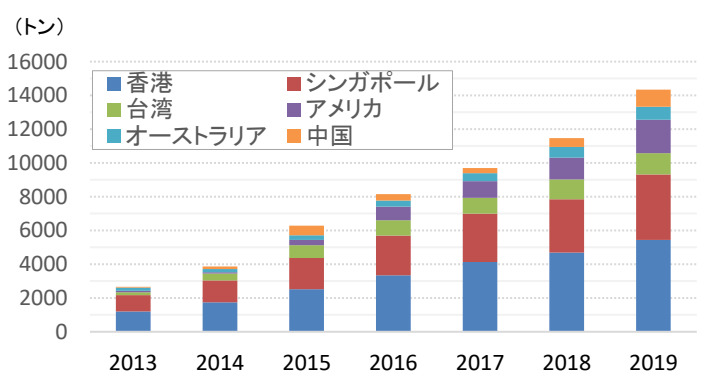
(2) 2019年の主な増加要因

- 全体として、日本食レストラン、寿司屋、おにぎり屋といった、日本産米を取り扱う
 外食・中食店向けの需要が好調。
- 香港、シンガポール、米国等においては、日本産米を玄米で輸出し、現地で精米して
 販売するビジネスが引き続き好調。
- 中国においては、日本食レストラン・現地系小売店の需要及びECサイト、中秋節・
 春節ギフト用の伸びにより、前年より著しく増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香港 📈 5,436トン（前年比+16%） 1,372百万円（前年比+18%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。また現地系も含めて日本食レストランチェーン向け等に安定的に輸出が増加している。更に、現地系スーパー等での販売や日本産米を用いたおにぎり屋の店舗数拡大等により、ミドルレンジ層の需要が広がっている。

シンガポール 📈 3,879トン（前年比+23%） 802百万円（前年比+15%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。高級店だけでなく、チェーン店の日本食レストラン等向け需要が増加している。玄米で輸出し現地で精米して販売するビジネスの伸びが顕著で、2015年に玄米輸出が精米輸出を上回り、2019年は玄米輸出の割合が6割以上を占める。

アメリカ 📈 1,980トン（前年比+54%） 543百万円（前年比+34%）

米国産米の価格が上昇、日本産米との価格差が縮まったことにより、日系スーパー及び高級日本食レストランを中心に取り扱い店舗が増加。日本産米の輸出は西海岸が中心であったが、近年は健康志向の高所得者層向けに東海岸への輸出も増加。

中国 📈 1,007トン（前年比+92%） 363百万円（前年比+72%）

日本食レストランでの取扱増加に加え、小売では日本産米アンテナショップの出店や現地系小売店での取扱が増加。また、主要販売経路であるECサイトでの販売が好調なことや、高級品として中秋節・春節向けギフト用の伸びが著しいこと等が寄与。展示会にて日本産米をPRしたことや、SNSを使用した情報発信も輸出増加に寄与。

ロシア 📈 174トン（前年比+45%） 64百万円（前年比+50%）

大手スーパーだけでなく、モスクワ市内の日本食レストランにも日本産米を導入される動きがある。

フィンランド 📈 183トン（前年比+289%） 40百万円（前年比+263%）

大手スーパーの持ち帰り寿司に日本産米が導入。

(3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2019年の米菓の輸出は、輸出数量が4,033トン（対前年比±0%）、輸出金額が約43億円（対前年比-3%）と、数量及び金額共に前年から減少。
2020年1～10月の米菓の輸出は、輸出数量が3,355トン（対前年同期比+1%）、輸出金額が約36億円（対前年同期比+2%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～10月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,679 (-8%)	3,869 (-2%)	3,567 (-3%)	3,808 (-2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	3,355 (+1%)	3,559 (+2%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	908 (-0%)	912 (-1%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	776 (+17%)	823 (+18%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	498 (+6%)	580 (+5%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	174 (+9%)	193 (+5%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	260 (+9%)	168 (+13%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	67 (+8%)	115 (-5%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	49 (-56%)	56 (-62%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	67 (+21%)	148 (+33%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	94 (-5%)	82 (-5%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	71 (+31%)	92 (+27%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	52 (-8%)	55 (-6%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	29 (+5%)	34 (+1%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	44 (+41%)	47 (+47%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	22 (-35%)	23 (-35%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	80 (-46%)	20 (-51%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	15 (-20%)	25 (-13%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	22 (-5%)	21 (-5%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	14 (-9%)	18 (-11%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	17 (+6%)	22 (+7%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	7 (-54%)	11 (-52%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	90	113
(参考)EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	163 (-36%)	116 (-31%)

資料：財務省「貿易統計」

注：()内は対前年同期増減率である。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

2019年の日本酒の輸出は輸出数量が24,928キロリットル(対前年比-3%)、輸出金額が約23億円(対前年比+5%)と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。2020年1~10月の日本酒の輸出は、輸出数量が16,372キロリットル(対前年同期比-22%)、輸出金額が約176億円(対前年同期比-8%)。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~10月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	16,372 (-22%)	17,586 (-8%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	3,987 (-27%)	3,787 (-33%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	3,366 (-20%)	4,097 (+5%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	2,051 (+26%)	4,538 (+40%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	1,132 (-60%)	734 (-44%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	1,730 (+2%)	1,019 (-0%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	501 (+3%)	753 (+13%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	484 (-14%)	380 (-15%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	392 (-1%)	363 (+3%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	172 (-39%)	134 (-44%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	188 (-36%)	171 (-46%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	182 (-12%)	178 (-24%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	397 (-27%)	180 (-25%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	335 (-20%)	175 (-16%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	231 (+19%)	201 (+5%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	33 (-0%)	75 (-44%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	235 (+7%)	141 (+16%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	202 (-33%)	71 (-37%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	111 (-45%)	59 (-39%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	70 (-35%)	44 (-26%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	19 (-67%)	15 (-77%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	554	471
(参考)EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	1,201 (-30%)	759 (-36%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

2019年の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,018トン(対前年比+10%)、輸出金額が約5億円(対前年比+8%)と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年1~10月の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,010トン(対前年同期比+24%)、輸出金額が約5億円(対前年同期比+34%)。

	2017年		2018年		2019年		2020年 (1~10月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,010 (+24%)	548 (+34%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	369 (+6%)	140 (+5%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	49 (-32%)	58 (-14%)
香港	35	25	79	51	130	77	207 (+109%)	137 (+138%)
台湾	33	28	58	36	105	56	120 (+69%)	71 (+88%)
中国	8	6	20	14	96	42	62 (-27%)	38 (+8%)
タイ	29	14	40	17	63	27	70 (+27%)	31 (+35%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	39 (+177%)	20 (+66%)
韓国	67	33	149	72	31	17	19 (-36%)	10 (-38%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	8 (+18%)	4 (+48%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3 (+4%)	3 (-24%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	9 (+68%)	6 (+52%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	5 (-15%)	2 (-34%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	4 (-0%)	4 (+19%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2 (-43%)	2 (-18%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	6 (+74%)	4 (+85%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	19 (+757%)	9 (+509%)
フランス	1	1	3	2	3	2	5 (+177%)	2 (+56%)
ドイツ	0	1	-	-	0	1	0 (+0%)	1 (-0%)
カンボジア	4	3	1	1	2	1	0	0
マレーシア	-	-	-	-	1	1	8	4
その他	12	4	12	5	2	2	5	2
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	14 (+3%)	9 (-5%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食品のうち米のものを集計。

(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

〈主な取組（令和元年度）〉

○米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

★重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

〈主な取組（令和元年度）〉

○北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

〈主な取組（令和元年度）〉

○中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。



VI 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	198,382	49,471	247,853	97,543	150,309

資料: 農林水産省「加工用米生産量」

注:1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、2年産は計画数量。

注:2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注:3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計(実績値)と一致しない。

注:4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン, ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	441,610	6,346	33,361	70,883	374,906	42,791	6,089	33,343	-	-	-	-	96	-

資料: 農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20年産～令和2年産)」

注1: 平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2: 令和2年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

注3: 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4: 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5: 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6: 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和2年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	247,853	198,382	49,471	441,610	374,906	33,343	33,361	207,000	896,462
北海道	32,041	23,409	8,633	14,204	10,387	3,539	278	2,162	48,407
青森	5,106	4,644	462	27,402	25,888	1,485	29	27,259	59,767
岩手	6,060	4,868	1,192	20,765	19,035	1,328	402	3,488	30,312
宮城	3,825	3,203	622	30,466	26,201	3,500	766	11,600	45,891
秋田	45,367	28,208	17,159	12,948	8,736	1,666	2,545	21,314	79,628
山形	23,403	22,029	1,374	21,425	19,134	1,521	770	21,291	66,120
福島	2,334	2,301	34	25,716	25,449	242	25	27,050	55,101
茨城	7,151	7,010	141	44,880	41,381	3,303	195	1,103	53,134
栃木	10,381	10,366	15	49,159	44,500	598	4,061	7,602	67,142
群馬	6,598	6,598		6,429	4,752	67	1,610	555	13,582
埼玉	620	615	5	10,540	5,888	163	4,489	463	11,623
千葉	7,974	4,386	3,588	21,630	21,166	67	397	3,985	33,589
東京									
神奈川				48	48				48
新潟	28,119	18,287	9,832	25,815	10,220	6,199	9,396	25,149	79,084
富山	5,435	4,432	1,003	9,187	7,072	1,458	657	12,197	26,820
石川	2,194	1,815	379	5,053	2,768	1,586	699	6,811	14,058
福井	2,318	1,992	326	7,882	5,545	1,466	872	4,076	14,276
山梨	373	371	1	142	98		44		515
長野	4,070	3,813	258	2,292	1,431	721	140	1,389	7,752
岐阜	4,585	4,585		11,207	10,718	340	149	326	16,118
静岡	720	720		5,306	5,294	6	6	20	6,045
愛知	3,068	2,877	191	7,061	6,505	130	425	846	10,975
三重	899	861	38	8,795	7,905	412	477		9,694
滋賀	4,064	3,719	345	6,792	5,631	1,019	142	1,342	12,198
京都	2,504	2,497	7	618	479	103	37		3,123
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,796	3,538	258	2,088	1,528	344	216		5,884
奈良	110	110		296	140	2	154		406
和歌山				15	12		4		15
鳥取	86	86		2,710	2,683	24	3	400	3,196
島根	1,687	1,583	104	3,600	3,544	12	44	130	5,417
岡山	2,065	1,977	88	6,724	5,679	593	451	566	9,355
広島	1,926	1,875	51	2,549	1,568	320	661	20	4,495
山口	4,711	4,663	48	5,250	4,513	623	114		9,962
徳島	83	83		2,877	2,606	216	54	550	3,510
香川	191	191		708	644	31	33		899
愛媛	380	380		1,130	1,122		8		1,510
高知	338	338		3,876	3,805		71	10	4,225
福岡	1,080	834	245	10,692	9,253	47	1,392	114	11,886
佐賀	2,047	195	1,851	3,249	3,092	33	125	220	5,516
長崎	47	47		586	542	10	33	10	643
熊本	3,926	2,780	1,146	7,169	5,915	87	1,167	120	11,215
大分	771	771		6,970	6,910		60	94	7,836
宮崎	8,241	8,241		2,163	2,003	78	83		10,404
鹿児島	7,123	7,050	72	3,136	3,083	5	48		10,259
沖縄	31	31		2			2		32

資料：農林水産省「令和2年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「令和2年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」（令和2年産）

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分24,738トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
						(1~9月)	対前年同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	305,376	105%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	19,705	108%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	147,763	112%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	131,378	99%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	2,903	89%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	299	73%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	3,328	90%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	163,378	101%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	68,872	103%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	94,506	99%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	340,676	99%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	290,223	98%
麦みそ	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	12,018	109%
豆みそ	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	17,515	95%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	20,920	103%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	68,691	102%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	31,348	97%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	5,966	89%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	3,569	103%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,106	96%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	793	91%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	904	96%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	1,951	116%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	23,054	114%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	40,639	108%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	265,031	86%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	87,712	81%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	11,257	82%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	25,291	83%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	34,883	84%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	16,282	73%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	177,318	88%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	288,495	94%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	124,110	95%
麦焼酎	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	119,177	96%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	22,211	90%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成30米穀年度における使用量は、焼酎、包装もちの出荷量の減少等により、前年から微減の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に特定米穀及び輸入米粉調製品の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	6					11
味噌用		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)		2		3	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1	2		1	1		4
合計	18	21	3	16	16	3	77

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	2	3				1	7
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	6		1	1	5	19

注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用されるふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）

米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計

加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11 (8)	9		4			24 (8)
	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
合計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1					1	3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26							1
	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
合計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19

注1: 清酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により国内外の日本酒出荷量が大幅に減少。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~10月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	303	88%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	100	83%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	13	83%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	29	85%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	40	86%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	19	75%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	203	90%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~10月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	16	78%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	4	73%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	3	80%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	1	40%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	102%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	126%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	4	81%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産は、特定名称酒も減少に転じたこと等から約23万トン（対前年比▲5%）に減少しており、今後の動向に注視が必要。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	対前年比 30/29年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	95%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	102%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	85%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、国内外の日本酒出荷量が急減しており、大幅な供給過剰が見込まれる状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移 (トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	
											対30年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,722	100.9%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,631	102.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,588	92.4%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	101.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	107.7%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	33,096	104.7%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：元年産は、令和2年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 令和2年7月に実施した需要量調査によると、酒造好適米の需要量は、令和2年産が73～74千トン程度、令和3年産が70～72千トン程度と大幅な減少が見込まれる。

（参考）令和2年度 酒造好適米等の需要量調査の概要

- 日本酒の酒造メーカー（1,421社）を対象として、令和2年7月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。730社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約79～80%と推計される。

酒造好適米等の需要量調査結果 (トン)

	30年産	元年産		2年産		3年産	
		対30年産比	対30年産比	対30年産比	対30年産比		
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	70,032	65,690	93.8%	58,255	83.2%	56,393	80.5%
山田錦	27,778	24,888	89.6%	23,354	84.1%	22,394	80.6%
五百万石	15,937	14,610	91.7%	11,202	70.3%	11,178	70.1%
美山錦	4,318	3,922	90.8%	3,373	78.1%	3,267	75.7%
雄町	1,467	1,444	98.4%	1,240	84.5%	1,234	84.1%
その他	20,532	20,826	101.4%	19,086	93.0%	18,320	89.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	87～89千トン	82～84千トン		73～74千トン		70～72千トン	

資料：「令和2年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和2年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約79～80%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

VII 作柄概況

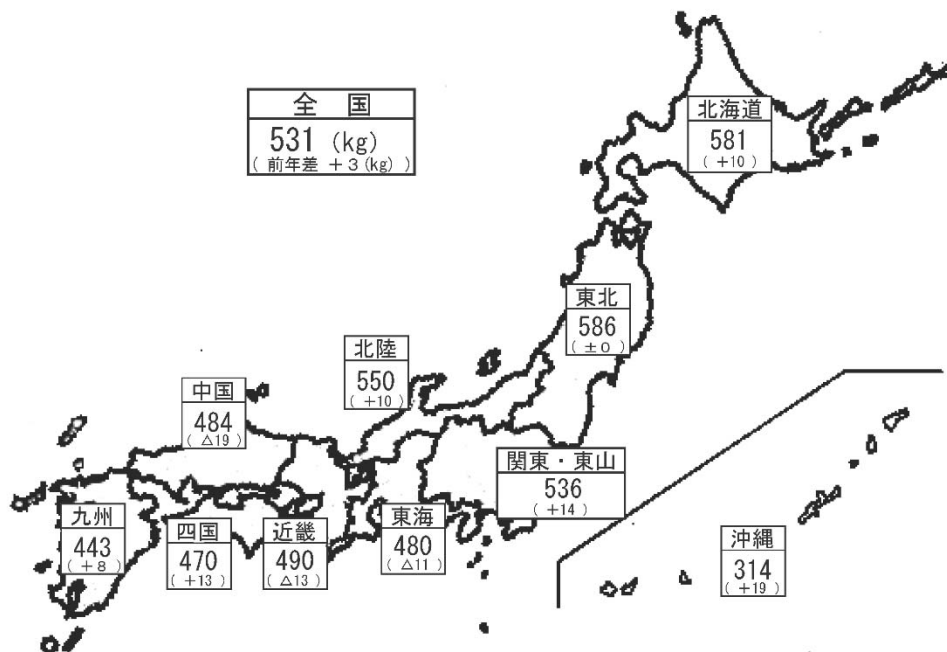
令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

— 予想収穫量(主食用)は722万9,000tの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和2年産水稻の作付面積（子実用）は146万2,000haで、前年産に比べ7,000ha減少した。うち主食用作付面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり予想収量は531kgで、前年産に比べ3kgの増加が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は776万7,000tで、前年産に比べ5,000tの増加が見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は722万9,000tで、前年産に比べ3万2,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は99となる見込み。

全国農業地域別10a当たり予想収量(10月15日現在)



- 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

○ 令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)の本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

ふるい目幅別重量分布状況の推移(全国)

年 産	計	単位:%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ~1.80	1.80 ~1.85	1.85 ~1.90	1.90 ~2.00	2.00mm 以 上
平成27年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2 (概数値)	100.0	0.8	1.4	1.9	2.8	14.3	78.8
平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5

注:平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移(全国)

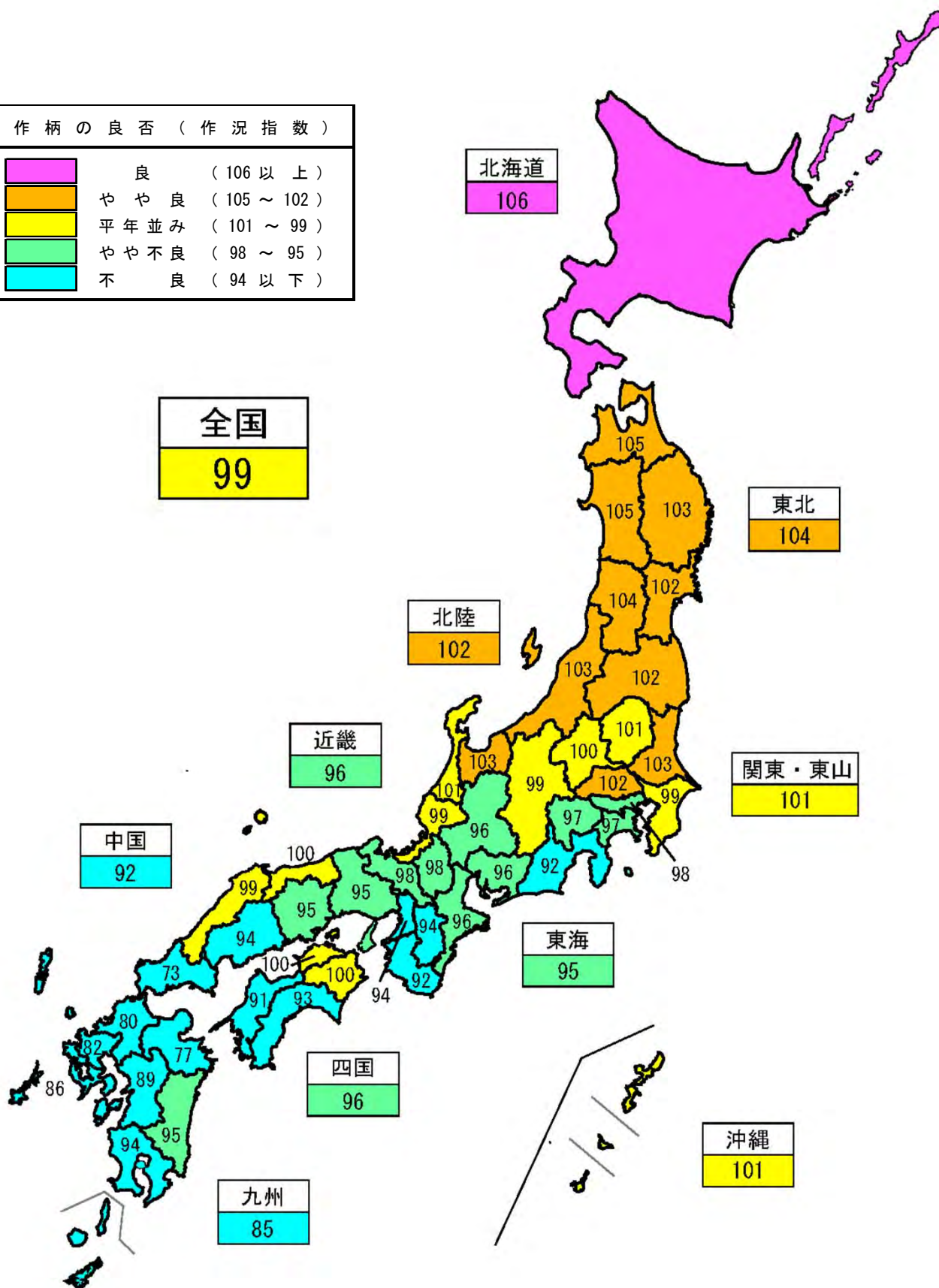
年 産	単位	単位:%						
		1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
平成27年産	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2 (概数値)	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	418
	収穫量	t	7,767,000	7,705,000	7,596,000	7,449,000	7,231,000	6,120,000
	対前年比	%	100	100	100	100	100	101

注:1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

全国農業地域・都道府県別作況指数(10月15日現在)

作柄の良否 (作況指数)	
	良 (106以上)
	やや良 (105～102)
	平年並み (101～99)
	やや不良 (98～95)
	不良 (94以下)



注: 1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

令和2年産水稲の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

全 国 農 業 地 域	作付面積(子実用)			10a当たり予想収量		予想収穫量(子実用)			参 考		
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
		対 差	対 比				対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,462,000	△ 7,000	100	531	3	7,767,000	5,000	100	1,366,000	7,229,000	99
北 海 道	102,300	△ 700	99	581	10	594,400	6,300	101	95,300	553,700	106
東 北	381,500	△ 500	100	586	0	2,236,000	△ 3,000	100	342,000	2,000,000	104
北 陸	206,400	△ 100	100	550	10	1,135,000	20,000	102	185,900	1,021,000	102
関東・東山	269,600	△ 1,500	99	536	14	1,444,000	30,000	102	255,800	1,370,000	101
東 海	92,500	△ 600	99	480	△ 11	444,000	△ 13,100	97	89,800	431,500	95
近 畿	101,300	△ 1,300	99	490	△ 13	496,500	△ 19,900	96	97,700	478,500	96
中 国	101,200	△ 900	99	484	△ 19	489,700	△ 23,500	95	98,200	475,700	92
四 国	47,400	△ 900	98	470	13	222,800	2,100	101	46,900	219,900	96
九 州	158,600	△ 1,400	99	443	8	702,100	5,700	101	153,200	676,800	85
沖 縄	650	△ 27	96	314	19	2,040	40	102	630	1,980	101

- 注: 1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 4 予想収穫量(子実用)及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。
 6 作況指数は、10a当たり平均収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

全 国 都道府県	作付面積 (子実用)			10 a 当たり 予想収量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も大きい 割合の目幅 ③	10 a 当たり 予想収量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,462,000	△ 7,000	100	531	...	508	512	99
北 海 道 (2)	102,300	△ 700	99	581	1.90	557	524	106
青 森 (3)	45,200	200	100	628	1.90	600	570	105
岩 手 (4)	50,400	△ 100	100	553	1.90	527	514	103
宮 城 (5)	68,300	△ 100	100	552	1.90	527	515	102
秋 田 (6)	87,600	△ 200	100	602	1.90	566	541	105
山 形 (7)	64,700	200	100	622	1.90	592	568	104
福 島 (8)	65,300	△ 500	99	562	1.85	544	533	102
茨 城 (9)	67,800	△ 500	99	531	1.85	519	505	103
栃 木 (10)	59,200	0	100	538	1.85	520	515	101
群 馬 (11)	15,500	0	100	496	1.80	481	482	100
埼 玉 (12)	31,900	△ 100	100	496	1.80	487	477	102
千 葉 (13)	55,400	△ 600	99	537	1.80	528	534	99
東 京 (14)	124	△ 5	96	400	1.80	394	403	98
神 奈 川 (15)	2,990	△ 50	98	474	1.80	464	477	97
新 潟 (16)	119,500	300	100	558	1.85	542	527	103
富 山 (17)	37,100	△ 100	100	556	1.90	535	519	103
石 川 (18)	24,800	△ 200	99	530	1.85	515	509	101
福 井 (19)	25,100	0	100	518	1.90	482	486	99
山 梨 (20)	4,880	△ 10	100	529	1.80	517	532	97
長 野 (21)	31,800	△ 200	99	606	1.85	590	598	99
岐 阜 (22)	22,500	0	100	470	1.80	459	476	96
静 岡 (23)	15,500	△ 200	99	478	1.80	469	511	92
愛 知 (24)	27,400	△ 100	100	490	1.85	469	491	96
三 重 (25)	27,100	△ 200	99	479	1.85	458	479	96
滋 賀 (26)	31,100	△ 600	98	509	1.90	475	483	98
京 都 (27)	14,300	△ 100	99	501	1.85	484	494	98
大 阪 (28)	4,700	△ 150	97	472	1.80	448	479	94
兵 庫 (29)	36,500	△ 300	99	477	1.85	455	477	95
奈 良 (30)	8,480	△ 10	100	488	1.80	468	500	94
和 歌 山 (31)	6,250	△ 110	98	462	1.80	446	486	92
鳥 取 (32)	12,900	200	102	512	1.85	497	495	100
島 根 (33)	17,100	△ 200	99	511	1.90	476	483	99
岡 山 (34)	29,800	△ 300	99	505	1.85	475	501	95
広 島 (35)	22,600	△ 100	100	499	1.85	475	508	94
山 口 (36)	18,900	△ 400	98	386	1.85	350	481	73
徳 島 (37)	11,000	△ 300	97	476	1.80	464	462	100
早期栽培 (38)	4,260	△ 80	98	453	1.80	443	453	98
普通栽培 (39)	6,710	△ 230	97	492	1.80	478	467	102
香 川 (40)	11,700	△ 300	98	496	1.80	480	478	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 200	99	474	1.85	429	469	91
高 知 (42)	11,300	△ 100	99	433	1.80	417	447	93
早期栽培 (43)	6,380	△ 60	99	454	1.80	442	472	94
普通栽培 (44)	4,950	△ 30	99	407	1.80	387	415	93
福 岡 (45)	34,900	△ 100	100	416	1.85	365	459	80
佐 賀 (46)	23,900	△ 200	99	450	1.85	400	488	82
長 崎 (47)	11,100	△ 300	97	422	1.80	397	464	86
熊 本 (48)	33,300	0	100	470	1.85	429	480	89
大 分 (49)	20,200	△ 400	98	403	1.80	369	477	77
宮 崎 (50)	16,000	△ 100	99	475	1.80	457	482	95
早期栽培 (51)	6,140	△ 160	97	469	1.80	459	470	98
普通栽培 (52)	9,870	90	101	479	1.80	457	490	93
鹿 児 島 (53)	19,300	△ 200	99	459	1.80	440	470	94
早期栽培 (54)	4,450	80	102	443	1.80	431	443	97
普通栽培 (55)	14,900	△ 300	98	463	1.80	442	478	92
沖 縄 (56)	650	△ 27	96	314	1.80	303	299	101
第一期稲 (57)	479	△ 27	95	367	1.80	359	351	102
第二期稲 (58)	171	0	100	...	1.80	...	146	...

- 注: 1 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
 2 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 3 (参考)農家等が使用しているふるい目幅で選別の④10a当たり予想収量、⑤10a当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

予想収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑦=①×②	前年産との比較		主 食 用 作 付 面 積 ⑧	予 想 収 穫 量 (主 食 用) ⑨=⑧×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,767,000	5,000	100	1,366,000	7,229,000	(1)
594,400	6,300	101	95,300	553,700	(2)
283,900	1,700	101	38,300	240,500	(3)
278,700	△ 1,100	100	48,200	266,500	(4)
377,000	100	100	64,500	356,000	(5)
527,400	600	100	75,300	453,300	(6)
402,400	△ 2,000	100	56,500	351,400	(7)
367,000	△ 1,500	100	59,200	332,700	(8)
360,000	15,800	105	65,500	347,800	(9)
318,500	7,100	102	54,900	295,400	(10)
76,900	1,600	102	13,600	67,500	(11)
158,200	4,000	103	30,600	151,800	(12)
297,500	8,500	103	52,500	281,900	(13)
496	△ 23	96	124	496	(14)
14,200	△ 100	99	2,990	14,200	(15)
666,800	20,700	103	106,700	595,400	(16)
206,300	600	100	33,200	184,600	(17)
131,400	△ 1,600	99	22,600	119,800	(18)
130,000	△ 500	100	23,300	120,700	(19)
25,800	△ 700	97	4,800	25,400	(20)
192,700	△ 5,700	97	30,700	186,000	(21)
105,800	△ 2,700	98	21,400	100,600	(22)
74,100	△ 7,100	91	15,400	73,600	(23)
134,300	△ 2,900	98	26,400	129,400	(24)
129,800	△ 400	100	26,700	127,900	(25)
158,300	△ 3,100	98	29,700	151,200	(26)
71,600	△ 1,100	98	13,800	69,100	(27)
22,200	△ 2,100	91	4,700	22,200	(28)
174,100	△ 8,800	95	34,800	166,000	(29)
41,400	△ 2,300	95	8,430	41,100	(30)
28,900	△ 2,500	92	6,250	28,900	(31)
66,000	700	101	12,800	65,500	(32)
87,400	△ 100	100	16,800	85,800	(33)
150,500	△ 5,100	97	28,900	145,900	(34)
112,800	△ 500	100	22,000	109,800	(35)
73,000	△ 18,500	80	17,800	68,700	(36)
52,400	0	100	10,700	50,900	(37)
19,300	△ 500	97	(38)
33,000	400	101	(39)
58,000	1,500	103	11,600	57,500	(40)
63,500	△ 400	99	13,300	63,000	(41)
48,900	1,000	102	11,200	48,500	(42)
29,000	△ 300	99	(43)
20,100	1,400	107	(44)
145,200	△ 13,700	91	34,400	143,100	(45)
107,600	35,800	150	23,400	105,300	(46)
46,800	△ 5,100	90	11,000	46,400	(47)
156,500	△ 4,300	97	32,300	151,800	(48)
81,400	△ 8,200	91	20,000	80,600	(49)
76,000	1,100	101	14,300	67,900	(50)
28,800	△ 100	100	(51)
47,300	1,400	103	(52)
88,600	100	100	17,800	81,700	(53)
19,700	600	103	(54)
69,000	△ 600	99	(55)
2,040	40	102	630	1,980	(56)
1,760	90	105	(57)
...	(58)

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における早期・普通期別等の主食用作付面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「...」で示している。

5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「...」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり年平均収量の加重平均を用いた。

2 事前契約の内容について

(2) 契約数量に関する規定

事前契約に取り組んでいる生産者のうち「契約書等に取引数量を規定している」と回答した割合は、全体の約8割となっており、契約書に取引数量を定めているものが一般的であるが、以下のような内容により取引数量を具体的に定めていない事例も見られた。

- ・ 取引数量を定めず面積ベース（出来秋の収穫量ベース）で契約
- ・ 取引数量は出来秋に別途取り決め
- ・ 契約初年度等に取引数量を定め、毎年口頭でその年の取引数量、価格を決定

(3) 契約期間中に取引数量を変更する場合の措置

事前契約に取り組んでいる生産者のうち「期間中に取引数量を変更する場合の規定が明記されている」と回答した割合は、全体の約5割となっており、農協系統の比率が高く、米卸で低い結果となった。また、一般的には契約期間中の取引数量の変更規定を定めているが、これまでの慣例等により期間中の数量変動を許容している例も見られる。

- (例) アローワンスタイプ
- ・ 「一定幅のアローワンス±●%」を設定し、数量を超えた米穀については、出荷契約数量内の米穀と違う取扱いとする。
- 別途協議タイプ
- ・ 売渡数量・価格について著しい作況の変動等があった場合は、協議の上、売渡数量・価格を変更することができるものとする。

(4) 規定が遵守されなかった場合の措置

事前契約に取り組んでいる生産者のうち「契約書等で取り決めた取引数量が当事者間で遵守されている」と回答した割合は、全体の約8割となっており、特に農協系統の比率が高い。契約取り決め事項は当事者間で概ね遵守されているが、天候・不作等により遵守されていない例もある。

また、遵守されなかった場合のペナルティを契約書に規定している例も2割程度あるが、作況を理由にペナルティを課さないなど、今回のアンケート対象において違約金等が発生したという例はなかった。

2 事前契約の内容について

(1) 取引先別の事前契約における取引数量に関する事項の記載割合

事項	取引先	出荷業者		米卸	実需者	その他	合計
		農協系統	商系				
事前契約を実施している生産者のうち「契約書等に取引数量を規定している」と回答した生産者の割合		91.5%	73.5%	54.5%	57.7%	33.3%	80.8%
事前契約を実施している生産者のうち「契約書等に契約期間中に取引数量を変更する場合の規定が明記されている」と回答した生産者の割合		63.8%	40.8%	30.3%	26.9%	33.3%	53.0%

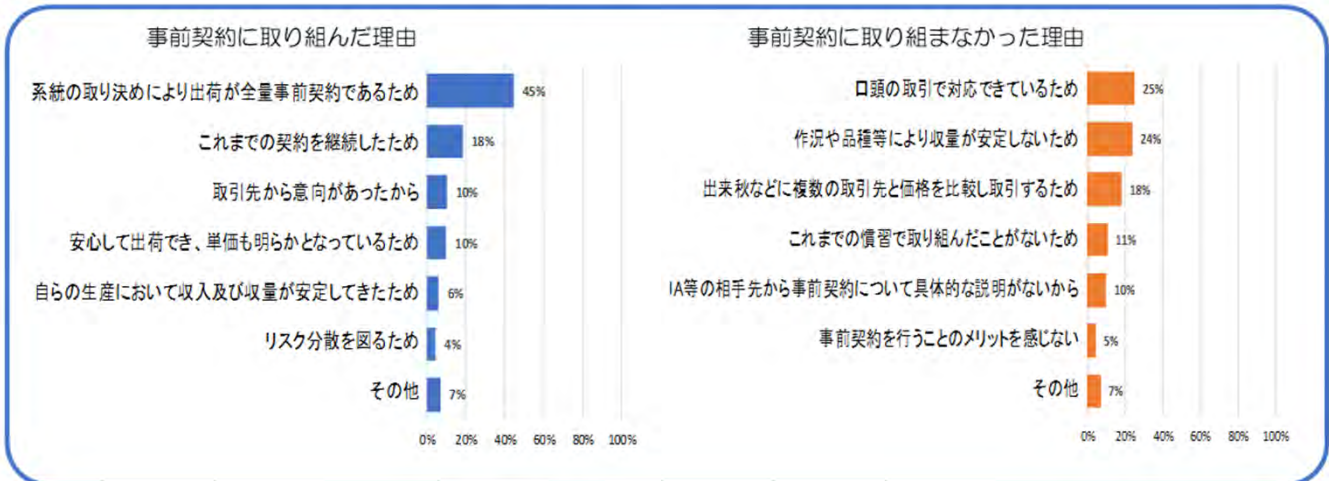
(2) 取引先別の事前契約における事項の遵守・適用状況の記載割合

事項	取引先	出荷業者		米卸	実需者	その他	合計
		農協系統	商系				
事前契約を実施している生産者のうち「契約書等により取り決められた規定が当事者間で遵守されている」と回答した生産者の割合		84.9%	63.3%	57.6%	53.8%	33.3%	75.1%
事前契約を実施している生産者のうち「契約書等により取り決められた規定が遵守されなかった場合に違約金の支払いなど違約事項が適用されている」と回答した生産者の割合		23.6%	10.2%	3.0%	7.7%	0.0%	17.6%

事前契約に取り組んでいる理由として、「系統の取り決めにより行っている」、「これまでの契約を継続」「取引先からの意向があった」「安心して出荷ができ販売単価も明らか」等の回答がみられた。

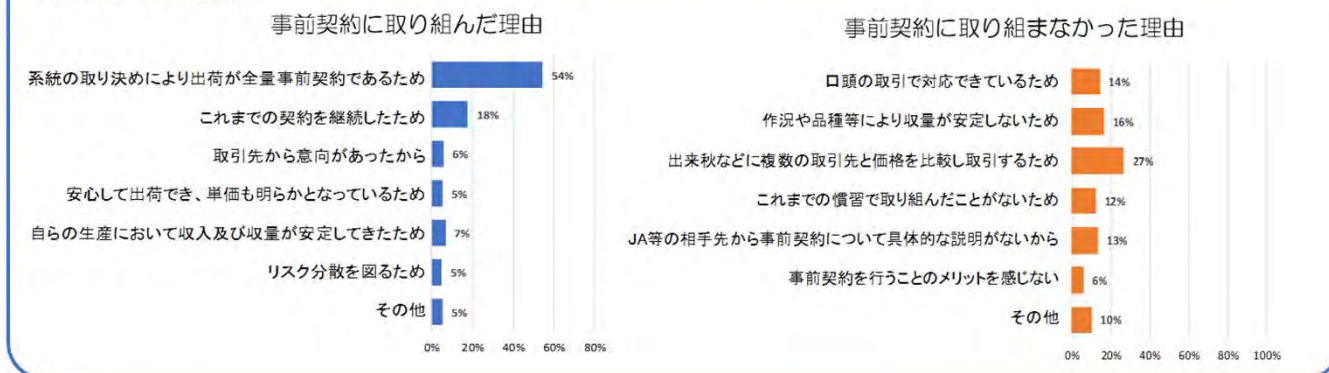
一方、事前契約に取り組まなかった理由として、「口頭の取引で対応できている」、「作況や品種等によって収量が安定しない」、「出来秋に複数の取引先と販売価格を比較して取引している」等の回答みられた。

(1) 事前契約に取り組んだ理由と取り組まなかった理由（全体）

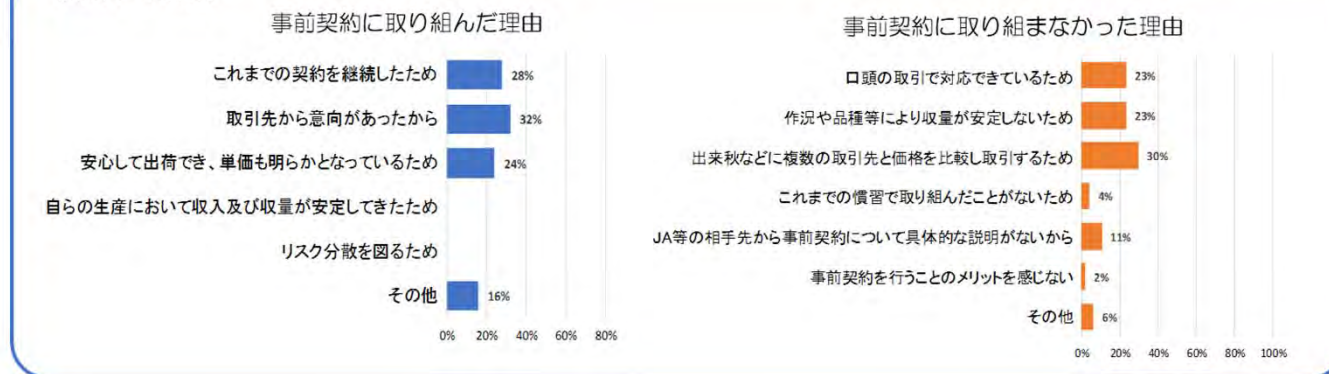


(2) 事前契約に取り組んだ理由と取り組まなかった理由（取引先別）①

【出荷業者との取引】



【米卸との取引】



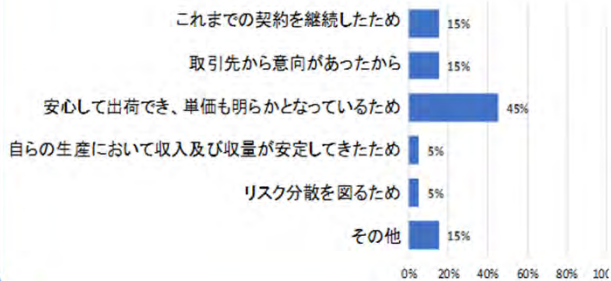
3

事前契約への認識

(2) 事前契約に取り組んだ理由と取り組まなかった理由（取引先別）②

【実需者との取引】

事前契約に取り組んだ理由

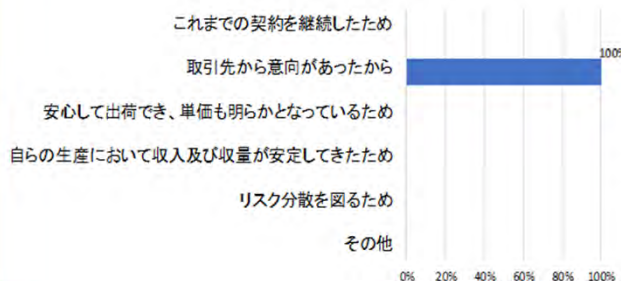


事前契約に取り組まなかった理由

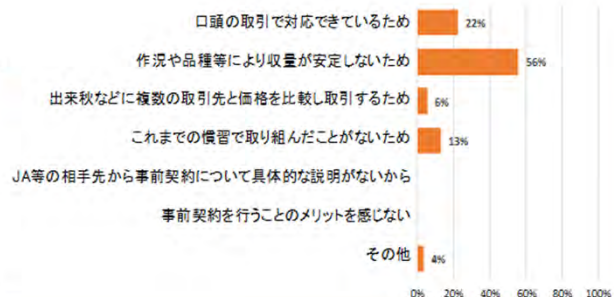


【その他との取引】

事前契約に取り組んだ理由



事前契約に取り組まなかった理由



4

今後の事前契約への取組について

事前契約に対しては、事前契約取引を増やしたいとの前向きな意見もあるが、作況の変動などから契約どおり出荷できない不安感やリスクにより事前契約に対し後向きな意見が見られた。また、系統集荷業者との取引者では、事前契約か否か「分からない」、「知らない」といった意見が見られ、生産者は、出荷契約は認識しているものの、その先の売り先との事前契約については、認識が薄い。

(1) 事前契約に対する前向きな意見

- 系統を信用しているので、現状の系統事前契約を続けたい
- 製造業で考えれば、需要のある商品を生産するのは当然のことであるため、事前契約に取り組むべき
- 出荷先を確保せずに生産するのであれば、事前契約に取り組んだ方が良い
- 生産過剰により米価は下落すると考えているため、事前契約の取引を増やしたい

(2) 事前契約に対する後向きな意見

- 事前契約したいが、天候による不作等により契約数量を出荷できるか不安
- 価格次第
- 事前契約により契約先に優位性が生じ、農業者が弱い立場になる場合もある
- 取引数量のみの事前契約では、その年の相場で価格が決定されるため収入減少など不安定な取引となる
- 事前契約は必要と感じているが、米以外の作物を生産しているため、米の契約まで手が回らない
- 契約相手（売り先）を生産者が探すのは兼業農家では厳しいため、集荷業者任せとなっている
- 事前契約により価格の安定が図られるが、作付品種の変更など自由度が失われる
- 事前契約について分からない（知らない）
- 大規模生産者には事前契約が必要であるが、小規模ではウェイトも少なく必要を感じない
- 事前契約を増やしたいが、これ以上労働力を増やせない
- 農協から契約書が届くので契約しているが、事前契約に特段の意識はない
- 現状の契約では採算ベースに乗らない
- 出来秋の価格状況で取引したい
- 事前契約により販売先や価格を縛ることで、需給状況によってはリスクとなると感じている

事例集（7事例）

経営メリットを生産者等に周知する
取組の一環として事例集を作成

出荷契約に当たりあらかじめ実需者のニーズを調査

JA全農にいがた（新潟県）

概要

- ・JA全農にいがたは、需要に応じた生産・販売がなされるよう、前年秋頃に、あらかじめ実需者から需要量を調査。
- ・調査した需要量に基づき、JA全農にいがたは各JAに、各JAは生産者に出荷依頼を行い、これらを踏まえJA全農にいがたと各JA間、各JA間と生産者で、出荷契約を締結。
- ・JA全農にいがたに対し、JAから出荷契約数量を超えて売渡委託された場合は、超えた数量を区分し概算金に格差を設定。

出荷依頼・契約の現状

出荷依頼・契約の流れ（主な事例）



- ① JA全農にいがたは、翌年産の需要量を秋頃から実需者に対して調査
 - ② ①に基づき、各JAに出荷依頼
 - ③ 各JAは、②等を踏まえて農家に出荷依頼
 - ④、⑤ 両者間で協議の上、出荷契約を締結
- ※JA全農にいがたは、JAが出荷契約数量を超えて売渡委託をしてきた場合は、超えた分を区分し支払う概算金に格差等を設定

（注：上記は主な事例であり、JAと農家間の出荷契約は必ずしも上記によらない場合がある。）

取組の経緯

JAグループ新潟は、平成30年産からの米政策改革を踏まえ、需要に応じた生産・販売を推進するため、平成29年8月に「新潟米基本戦略」を決定し、より実需者ニーズに基づく出荷契約体制を構築。

経営メリット・意義

【JA全農にいがた、JA、農家】

- ・主食用米の全体需要が減少する中、実需者からのニーズに応じた出荷契約が図られ、過剰作付け等による売れ残りのリスクを軽減
- ・JAから、あらかじめ需要に基づいた主食用米の出荷契約の提案がなされるため、需要動向を踏まえた上で、米粉用や新市場開拓用米等への作付の検討が可能。

今後の展開（将来の目標）

今後、JA・農家との間での実需者ニーズに基づいた出荷契約の重要性についての理解を広げ、更なる需要に応じた生産・販売の推進を図るとともに、実需者への安定供給を図る。

大手外食事業者等との5年間の固定価格による長期契約取引を締結

愛知県経済連（愛知県）

事前契約概要

ファミリーレストラン、回転すしなどの大手外食チェーンや企業の社員食堂等のニーズを把握し、生産者・実需者双方の取引条件（数量、価格）を整備し、カレーや丼もの、寿司などの用途に適した「あいちのかおり」を、平成30年産米から5年間の固定価格による長期契約取引を開始。

事前契約の現状



【5年間の長期契約数量推移】

年産	30年産	元年産	2年産
あいちのかおり 取扱数量(t)	1,530	1,698	1,698
生産者数(人数)	142	149	149

※2年産については、予定数量

取組の経緯

30年産からの米政策の見直しを契機に、生産者にとって経営安定のメリットとなるとして、経済連において、実需者サイドの取引条件（需要量・調達価格）と、生産者サイドの取引条件（供給量・出荷価格）を整備し、30年産から中食・外食事業者等の実需者との5年間長期契約取引を開始。

経営メリット・意義

【生産者】

- 安定した取引先の確保
- 相場変動リスクの回避
- 事前に収入単価が見越せた上での稲作経営が可能となり、将来に渡って経営の見通しを立てやすくなる

【実需者】

- 長期に渡る固定価格での取引によって、原料調達の安定化やコストを平準化させることによる経営の安定化が図られる。

今後の展開（将来の目標）

双方の取組意向に応じた銘柄や数量に取り組んでいく考え。
また、契約終了の段階で、取引価格や契約年数の検証を行い、契約の継続や取引数量の増加に繋げていくこととしている。

大手コンビニエンスストア向けにチルド弁当用として複数年契約を締結

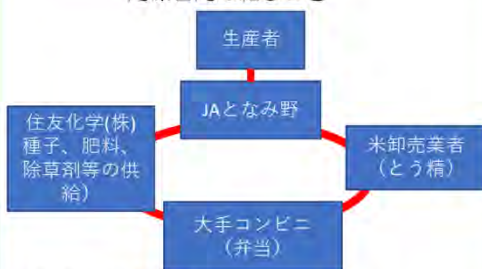
JAとなみ野（富山県）

事前契約概要

- 大手コンビニエンスストア向けに弁当用として、3年間の複数年契約（R2～4）を締結。
- 経時劣化に強い低アミロース品種「つくばSD2号」を、種子のpatentを有する住友化学(株)から、肥料、除草剤とセットで提供を受けることにより、経営の合理化、低コスト化を実現。

事前契約の現状

関係者間の結びつき



○「つくばSD2号」

- 短稈・多収性の低アミロース品種
 - 低アミロースで、炊飯米の粘りが強く冷めても硬くならず良食味
- ※住友化学(株)資料より

○JAとなみ野における生産状況

平成29年産：180ha
令和2年産：240ha

取組の経緯

- コンビニエンスストアに需要のある経時劣化に強い品種特性を持った「つくばSD2」の生産・供給の拡大を進めていた住友化学(株)と、需要に応じた安定的な生産の推進を進めていたJAとなみ野の利害関係が一致し、平成29年産米から、同社と複数年契約（3年）を締結。

経営メリット・意義

【生産者】

- 長期契約により、経営の安定化を実現
- 住友化学(株)から、種子、肥料、除草剤をセットで提供を受けることにより、経営の合理化、低コスト化を実現
- 毎年、一般品種の中では比較的高価格で契約

【実需者】

- 用途にあった経時劣化に強い品種特性の米を、安定的・継続的に調達が可能

今後の展開（将来の目標）

実需側の要望もあり、将来的には、300haの作付規模まで拡大を予定。
コロナ禍による需要変動に備え、柔軟な契約の見直し、価格設定等の模索。

加工用米晩生品種「とよめき」による冷凍食品メーカーとの事前契約を拡大

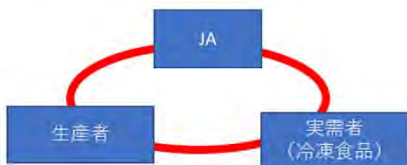
JAなめがたしおさい（茨城県）

事前契約概要

実需者である冷凍食品メーカーや業務用ユーザーのニーズにより、多収性品種「とよめき」の作付を推進し、事前契約を数量契約により締結。また、JAと生産者の間においては、実需者との契約数量に基づき、契約栽培を実施。

事前契約の現状

関係者間の結びつき
【実需者と生産者一体となったチーム（生産者64名）】



【JAなめがたしおさい集荷数量推移】

	単位:トン		
年産	30年産	元年産	2年産
総取扱数量	7,039	6,644	7,062
とよめきの取扱数量	603	(+17) 620	(+160) 780
生産者数(人数)	33	36	64

※2年産については、予定数量

取組の経緯

実需者は、製品出荷量の増加に伴い加工適性にあつた国産原料米の安定的な調達が必要との意向から、JA、生産者及び実需者との三者契約を締結。



T-1グランプリ表彰式
※1位の賞品は、肥料10袋

経営メリット・意義

- 【生産者】
- ・ 地域がまとまって収量増加や加工用米に取組むことで、追肥や農薬散布にドローンを活用することが可能となり、10a当たりの所得向上・安定生産が図られ、低コストが実現
 - ・ 加工用適性品種の開発を契機とした実需者との交流により、自らが生産した米が商品になることの喜びや需要に応じた米作りが推進され、水稻農家の収入アップや農協の販売高に繋がった
 - ・ 実需者との交流により求められる米の品質及び生産意欲が向上
 - ・ T-1グランプリ（収量コンテスト）による生産者の競争意識が向上
- 【実需者】
- ・ 加工原材料米及び業務用米の安定供給と米の品質が平準化
 - ・ 生産者との交流により水田の多面的機能の理解が促進

今後の展開（将来の目標）

- ・ 令和元年産「とよめき」の事前契約数量・生産者数 620ト、36人→令和3年産 1,000ト、100人
- ・ 「とよめき」での取組を定着させ、管内のコシヒカリ、あきたこまち等での取組を拡大予定

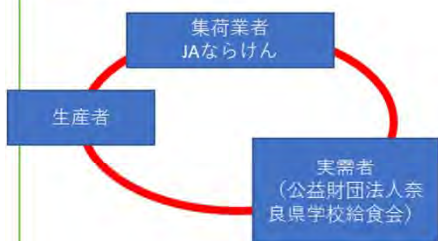
県主要奨励品種「ヒノヒカリ」と地元産食材の一体的な学校給食への提供

JAならけん（奈良県）

契約概要

奈良県の作付推進する奨励品種「ヒノヒカリ」を県内約300校の小中学校、特別支援学校の米飯給食用として公益財団法人奈良県学校給食会と毎年一定数量の事前契約を継続的に実施。

事前契約の現状



【JAならけん集荷数量推移】

年産	30年産	元年産	2年産
総取扱数量(t)	8,300	8,800	9,000
学校給食向けの取扱数量(t)	1,000	980	1,000
生産者数(人数)	6,400	6,300	6,400

※2年産については、予定数量

取組の経緯

- ・ 地場産米を使用した地産地消への取組や児童及び生徒に対する奈良県産農産物への理解等の促進を目的に、生産者、JA、（公財）奈良県学校給食会が連携。



経営メリット・意義

- 【集荷業者】
- ・ 米穀・地元産食材の継続的で安定的な販路の確保
 - ・ 食材提供による地域教育への貢献が生産者の意欲の向上を促進
- 【実需者】
- ・ 良食味・高品質な県奨励品種「ヒノヒカリ」と地元産食材の確保
 - ・ JAの持つ集荷力を背景とした地元産食材を含めた一体的な安定供給の確保
 - ・ 学校給食を通じた小中学生への「食育」推進と地域農業への関心を高める効果

今後の展開（将来の目標）

実需との話し合いにより令和3年産以降も継続的な事前契約数量を拡大するとともに、県内産野菜や果物の計画的な生産・出荷及び消費の拡大を図る。

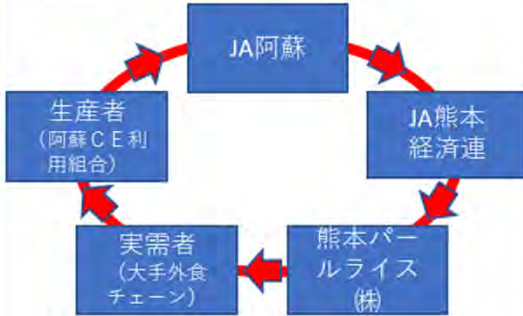
多収米品種「やまだわら」による大手外食チェーンとの契約

JA阿蘇（熊本県）

事前契約概要

農業所得の向上、乾燥調製施設の効率的利用の観点及び実需者のニーズにより、多収米品種「やまだわら」の作付を推進し、JA熊本経済連及び熊本パルライス（株）と連携を行い、平成30年産米から大手外食チェーン店と契約を開始。

事前契約の現状



【やまだわら取扱数量推移】

年産	30年産	元年産	2年産
作付面積(ha)	61	86	85
総取扱数量(t)	371	382	420
生産者数(人数)	46	53	57

※2年産については、予定数量

取組の経緯

・業務用米の需要の拡大に伴い、買取販売を拡大することにより、生産者手取りの確保と早期精算の実現に向けた取組として実施。

経営メリット・意義

- 【生産者】
 - ・多収米品種であり、地域がまとまって取り組むことにより、低コスト化及び安定した収量の確保。
- 【集荷業者】
 - ・乾燥調製施設の効率的利用。
- 【卸業者】
 - ・実需者のニーズに応えた販売拡大。
- 【実需者】
 - ・用途に適した品質の米を安定的かつ継続的に確保（炊飯米は、粒離れが良く、酢飯やおにぎりに適しているものを選定）。

今後の展開（将来の目標）

業務用向け（中食・外食）の作付けを拡大し、令和3年産米以降も継続した契約等により実需者を明確にした安定的な販売を目指す。

実需者との協議を重ねニーズに基づく品種を選定

（株）貝沼農場（新潟県）

事前契約概要

- ・中食用（おにぎり、弁当など）を製造する実需者と事前契約を締結。
- ・作付品種は実需者との協議を重ね、炊飯適性のある品種（ちほみのり）を選定。
- ・あらかじめ最低販売価格を設定の上、最終的な取引価格は出来秋以降の相場を踏まえ決定。

事前契約の現状

関係者間の結びつき



【事前契約数量の推移】

平成30年産 約8ha
令和元年産 約12ha
令和2年産 約16ha
（主食用米全体の作付面積は約50ha）

【契約条件】

最低販売価格 12,000円/60kg税抜き
数量ではなく面積で契約（作況変動リスクは実需者側が負う）

取組の経緯

貝沼農場は、経営安定のため販路の多角化を目指し、農水省支援事業の「米マッチングフェア」に参加し、中食事業者と商談。
両者間で炊飯適性のある品種を模索し、早生品種の「ちほみのり」を選定。初年度は種子手当に苦労しつつも何とか確保し、その後取引を拡大・継続。

経営メリット・意義

- 【生産者】
 - ・主食用米の全体需要が減少する中、まとまった数量を安定的に取引できる販路（中食事業者）を確保
 - ・あらかじめ最低販売価格を設定することにより、米価の大幅な下落による手取り減少リスクを回避。
 - ・数量ではなく面積で契約することにより、作況変動リスク（契約不履行リスク）を回避
- 【実需者】
 - ・自社の求める品質の米を安定的に仕入れ・調達することが可能。

今後の展開（将来の目標）

それぞれの実需者ニーズ（外食・中食用、贈答品用、有機栽培、加工用など）に即した生産・販売を行い経営を安定化。コロナ禍による需要変動を乗り切るため、実需者との協議・合意に基づき事前契約を拡大。

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I 米の需給

- 1 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和2年11月5日)) 需給 1
 (1) 令和元/2年の需要実績(確定値)
 (2) 全国の令和2/3年及び令和3/4年の需要見通し(推計値)
 (3) 令和2/3年及び令和3/4年の需給見通し

II 米の在庫情報

- 1 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報) 在庫 1 Excel

III 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和元年産) 契約 1 Excel
 2 令和元年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報) 契約 4 Excel
 3 備蓄米の買入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和2年産) 契約 10

IV 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和元年産) 価格 1 Excel
 2 米の現物市場の状況 価格 4

V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金 支援 1
 (2) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策) 支援 5
 (3) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策) 支援 7
 (4) 収入保険 支援 9
 (5) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 支援 11
 (6) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト 支援 13

VI その他

- (1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果 検査 1
 (2) 飼料用米の需要量 飼料 1
 (3) 麦・大豆の需要情報 麦 1
 ① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果 大豆 1
 ② 令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果 野菜 1
 (4) 野菜等の需給情報 統計 1
 (5) 令和元年産水稲の収穫量 統計 6
 (6) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)
 (7) 水稲玄米のふり目幅別重量分布状況、
 10a 当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移(全国) 統計 6
 (8) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移 統計 8

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。





MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省




Android
iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>